

管理薬剤師アンケート報告書（その1）

－薬局機能及び体制、薬局の実績、多職種連携の実態に関する調査結果－

一般社団法人 日本保険薬局協会
薬局機能創造委員会

2024年2月

調査概要

- 目的：薬局サービス及び多職種連携の実態と課題等に関する調査
- 内容：報告その1) ①薬局機能等に係る実態(16問)、②薬局の実績(11問)、③多職種連携の実態(12問)
報告その2) ④健康サポート薬局のメリットと課題等(7問)、⑤面処方箋に係る実態(6問)
- 対象：日本保険薬局協会会員薬局 管理薬剤師
- 方法：オンラインWEB調査 1 薬局 1 回答
- 回答期間：2023年12月18日～2024年1月31日
- 回答数：5,415薬局 (29.0%)*
- 実施主体：一般社団法人日本保険薬局協会 薬局機能創造委員会
- 倫理審査：日本薬局学会倫理審査委員会 受付番号23005

調査結果①～③ Summary

2023年11月実績において、マイナ保険証の持参確認や利用の声かけを実施している薬局の割合は91.8%と、薬局現場での働きかけは浸透してきている。一方で、声かけ割合50%以上の薬局は25.3%、マイナ保険証受付割合の中央値は1-3%未満、10%を超える薬局の割合は15.2%であった。今回の調査結果より、マイナ保険証利用の声かけ割合が高いほど、マイナ保険証受付割合が高い傾向が見られていることから、薬局現場におけるより一層の啓発活動が重要であることが示唆された。

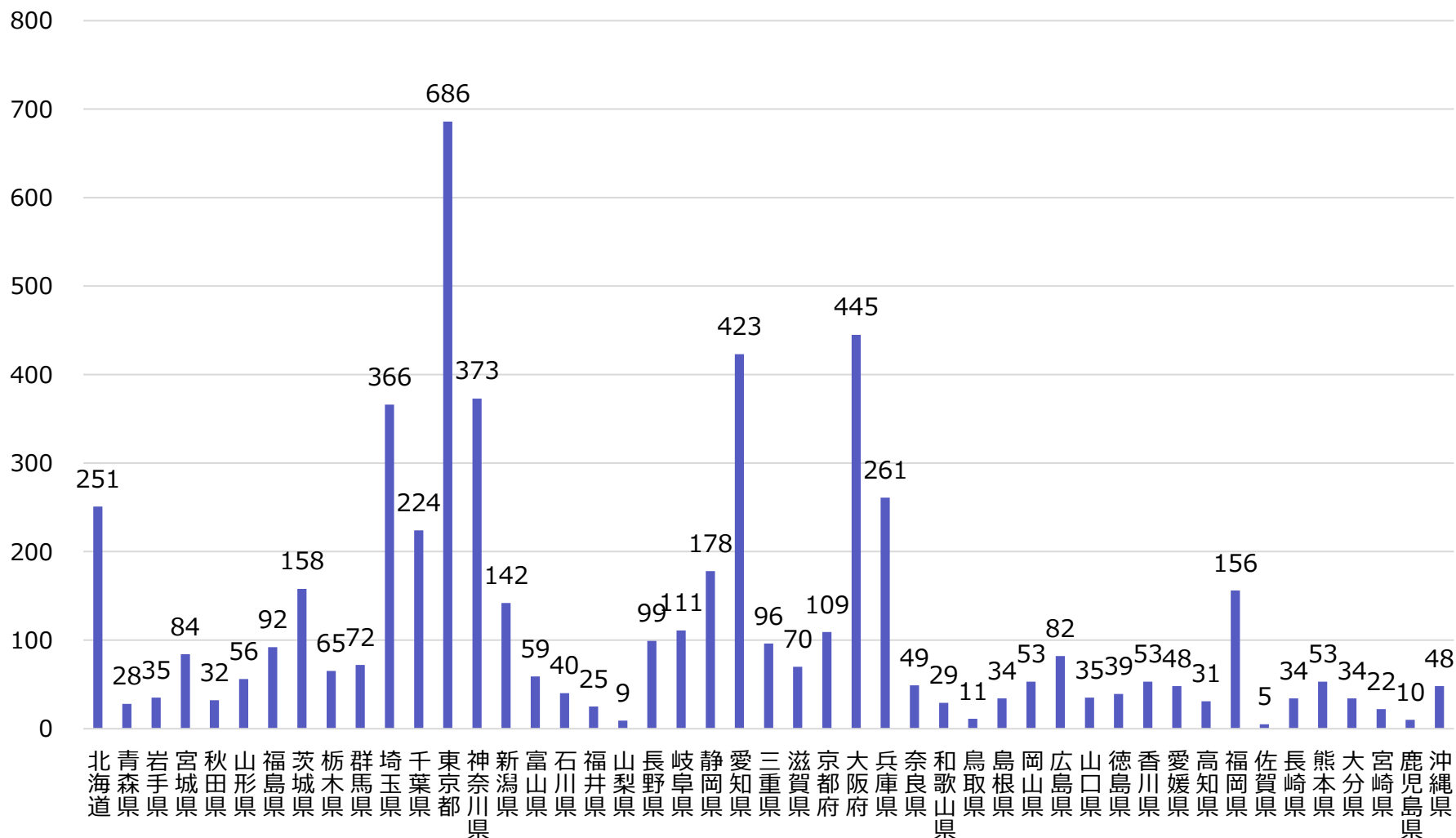
電子処方箋受付体制を有しているのは2,874薬局、53.1%であり、全国の薬局においては2月4日時点で、約20%であるため、全国と比較してNPhA加盟各社の積極的な導入状況が伺えた。受付体制の整備が進む一方で、受付実績がある薬局は72薬局、2.5%、電子処方箋受付回数割合は、0.058%であった。また、オンライン服薬指導機能があるサービスを導入している4,534薬局のうち、服薬管理指導料4の算定実績があった薬局が332薬局、7.4%であり、算定割合は、0.099%であった。どちらも緩やかに伸びており、引き続きその動向を調査する。

多職種連携に関しては、認定薬局や地域支援体制加算算定薬局、離島・へき地にある薬局において頻度が多い傾向が見られ、在宅実績とも相関が見られた。一方で、薬剤師が2人未満の薬局では連携実績なしが増えることから地域によっては地域包括ケアシステムに支障が出ることも懸念される。また、それぞれの施設との連携内容からは、既存患者に係る連携だけでなく、患者の紹介や在宅移行に係る連携等、シームレスな医療を支える連携実態が伺えた。こういった連携が全国で網羅的に行われるようNPhA内だけでなく、業界内で実態や好事例の共有に努めていく。

薬局機能及び体制

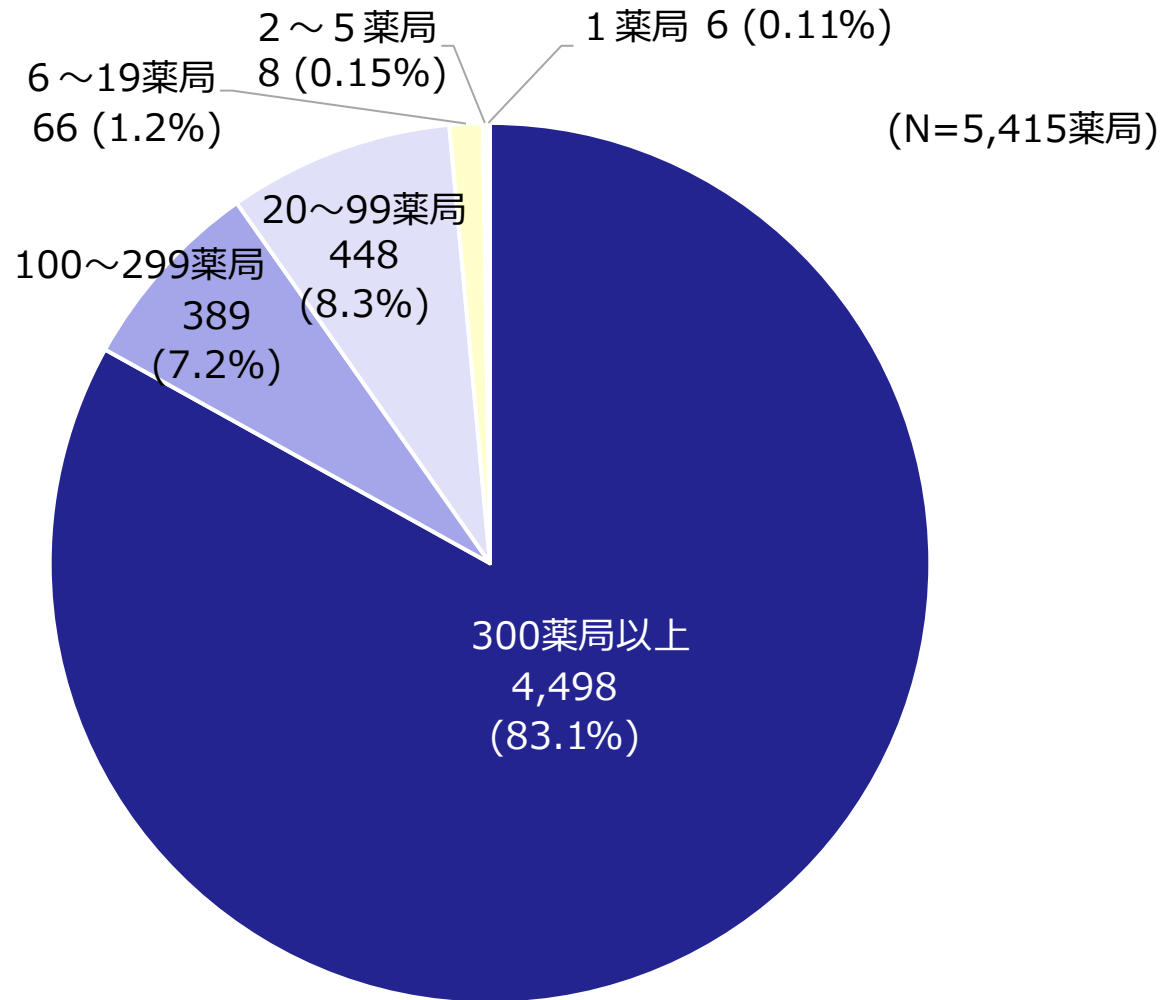
回答薬局数の都道府県分布

(N=5,415薬局)

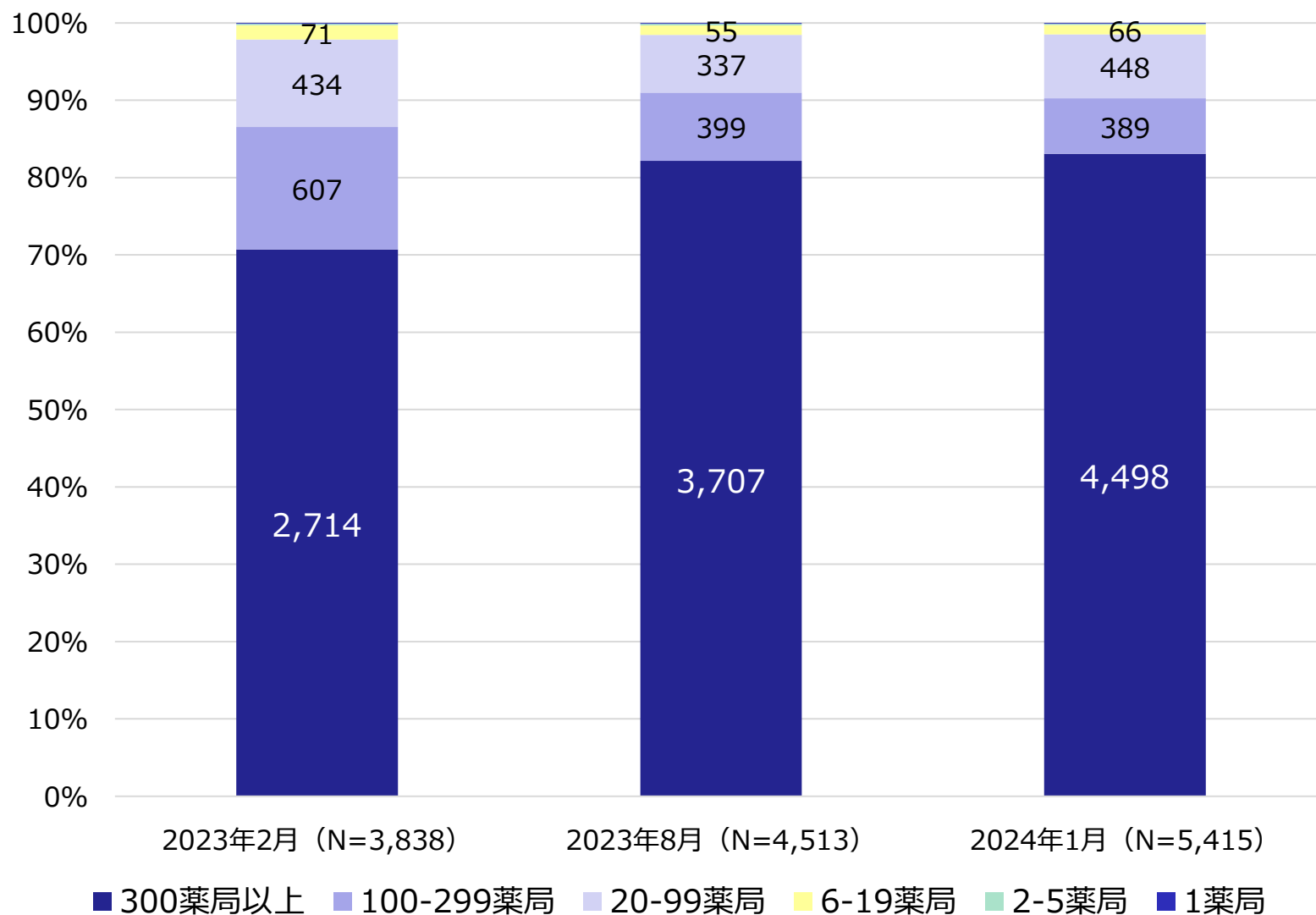


所属グループの規模

■ 貴店が所属する薬局グループ全体の薬局数について教えてください。



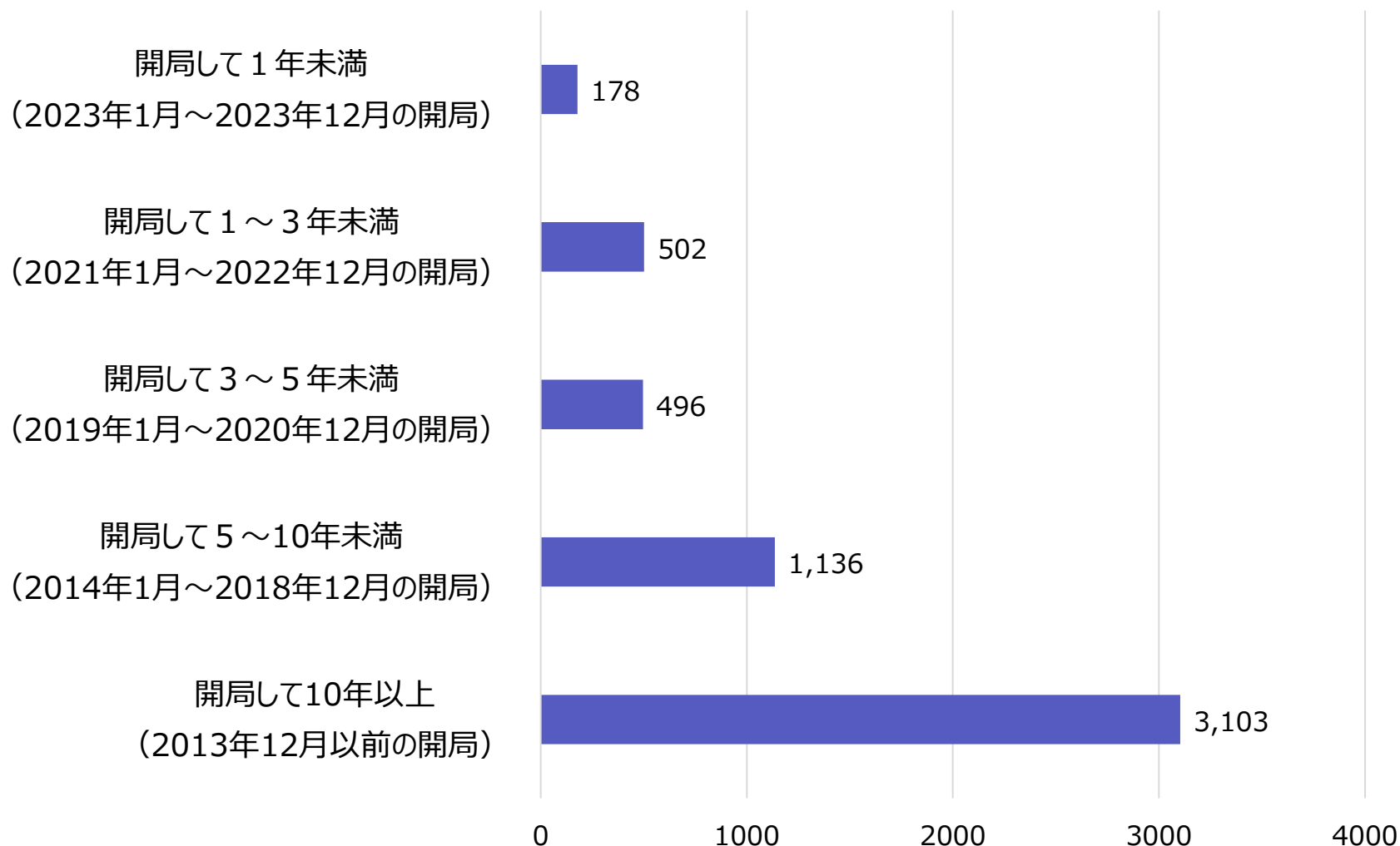
所属グループの規模



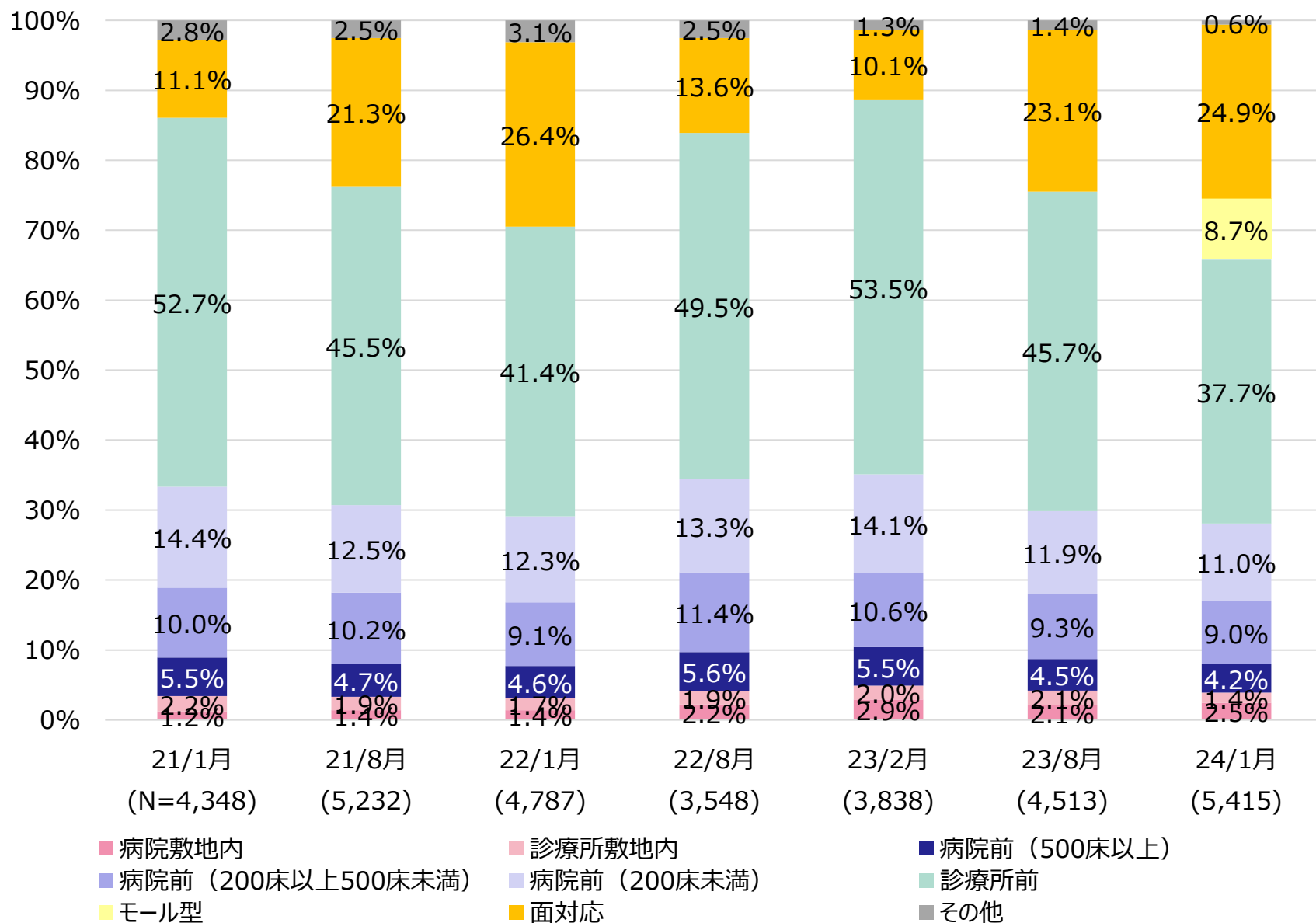
開局時期

■ 貴店の開局時期を教えてください。

(N=5,415薬局)



立地形態



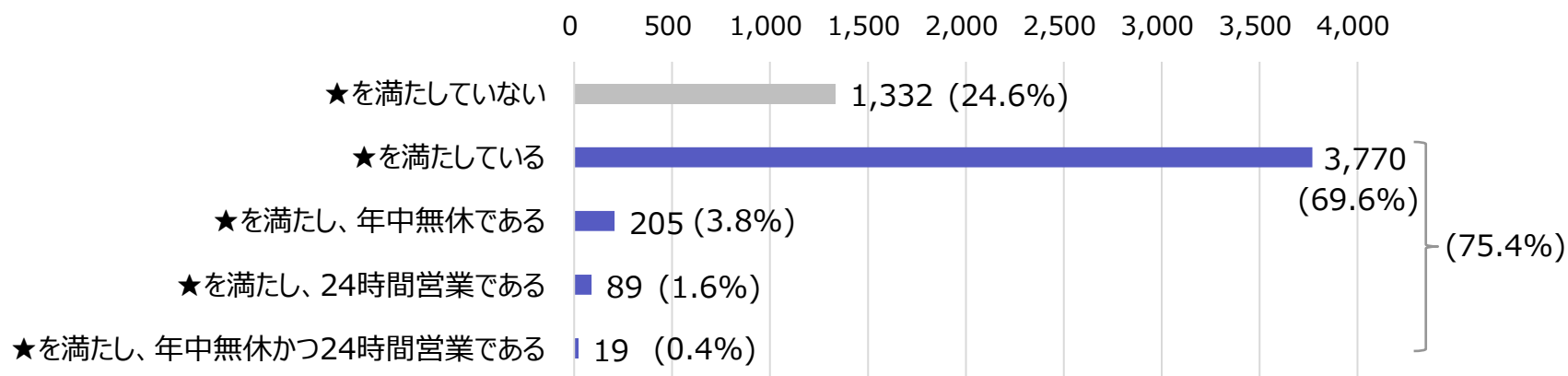
営業時間 / 24時間対応

営業時間が一定基準「★:平日1日8時間以上開局かつ土日いずれかの開局かつ週45時間以上開局」を満たしている薬局は4,083薬局,75.4%。「24時間調剤体制」を有する薬局は3,841薬局,70.9%であった。

■ 営業時間について

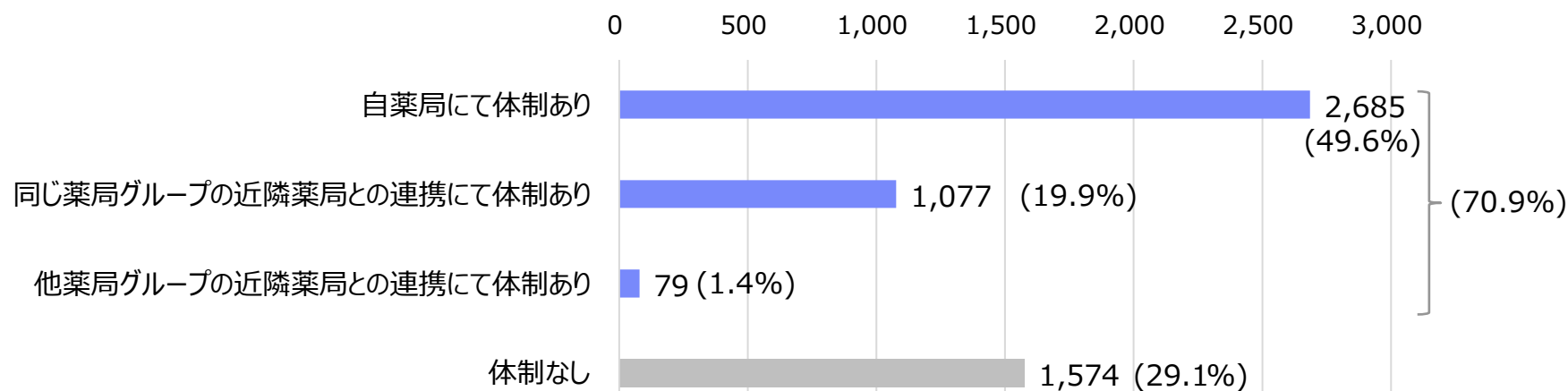
「★:平日1日8時間以上開局かつ土日いずれかの開局かつ週45時間以上開局」

(N=5,415薬局)

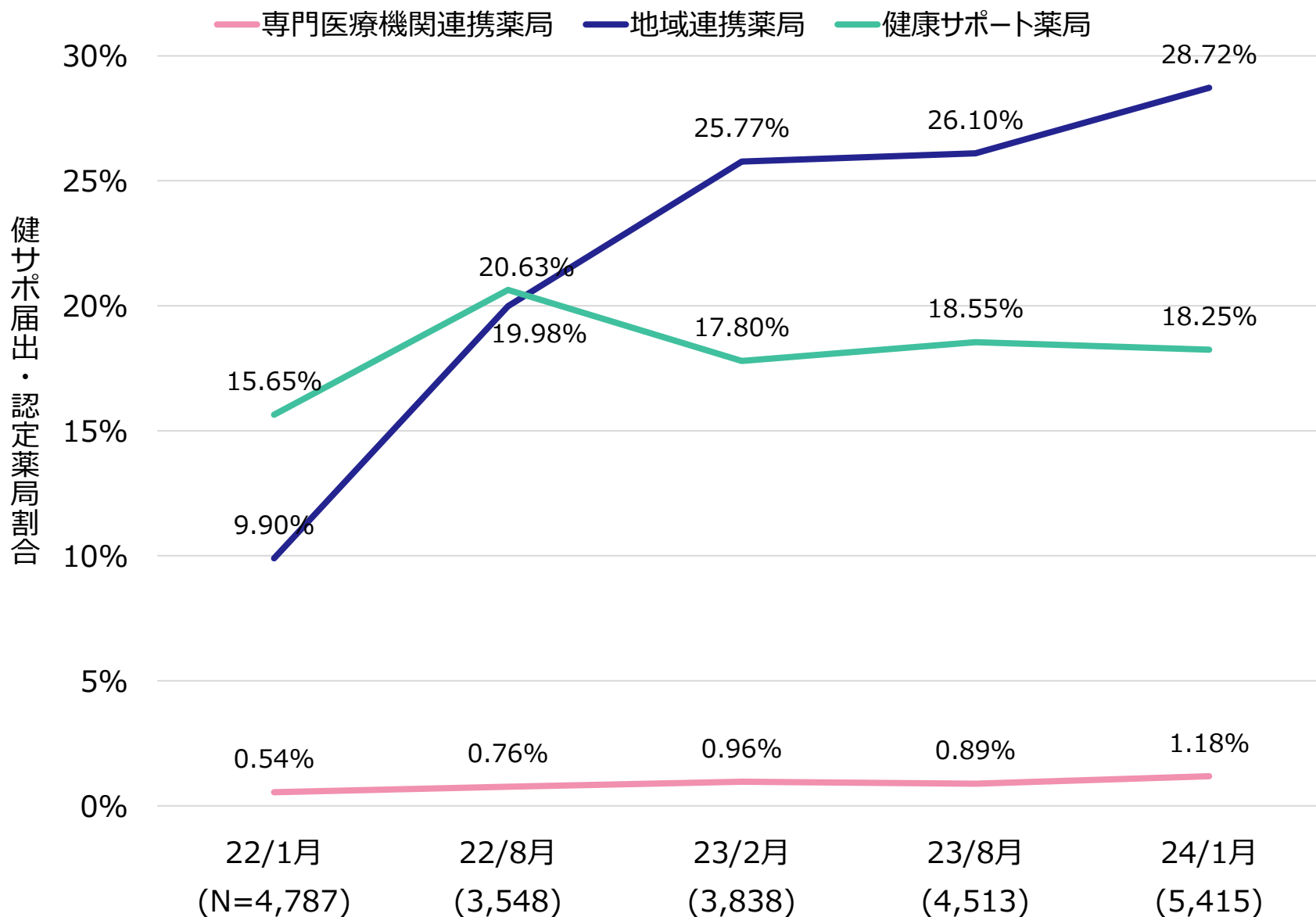


■ 24時間調剤・在宅対応体制の有無

(N=5,415薬局)

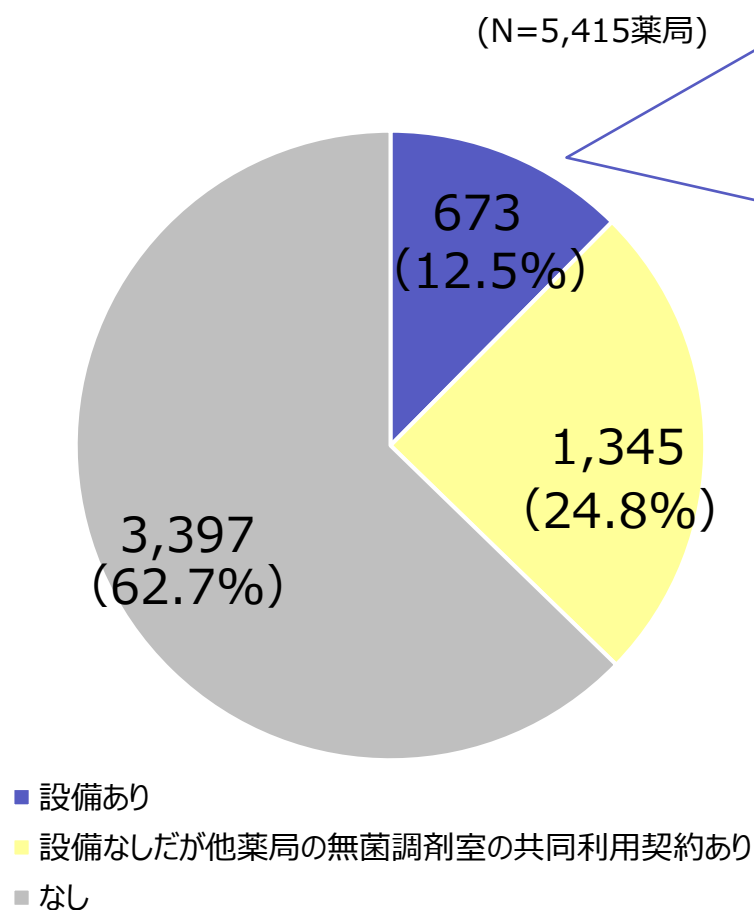


健サポ届出 / 認定薬局

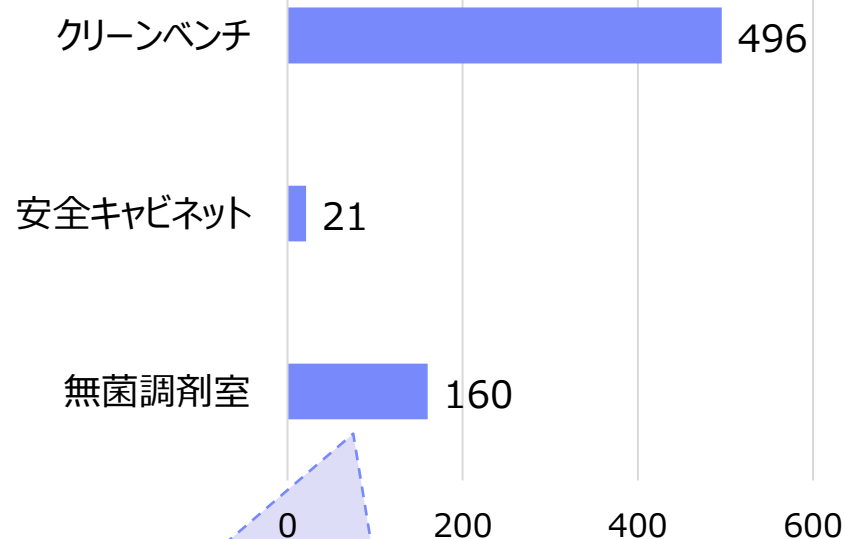


無菌製剤処理設備

■ 貴店は無菌製剤処理設備を有していますか？（複数選択可）



無菌製剤処理設備の内訳（複数選択可）
N = 設備がある673薬局



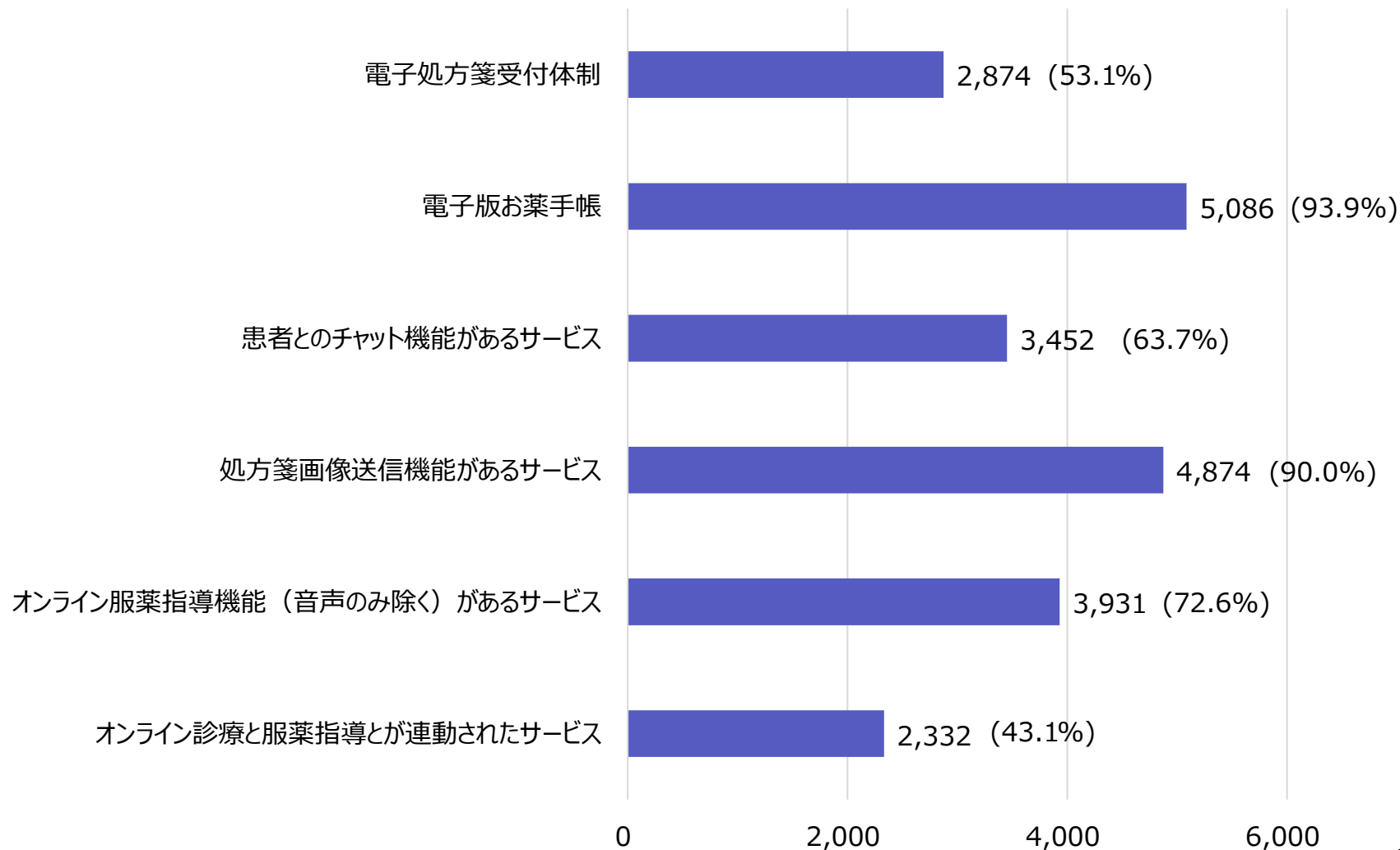
無菌調剤室のある160薬局のうち、
他薬局に貸し出す共同利用契約があるのは65薬局

ICT導入状況

電子処方箋受付体制を有しているのは2,874薬局,53.1%であった。全国の薬局においては2月4日時点で、約20%であるため、全国と比較してNPhA加盟各社の積極的な導入状況が伺えた。

■ 貴店のICTを活用したサービスを教えてください。（複数選択可）

(N=5,415薬局)

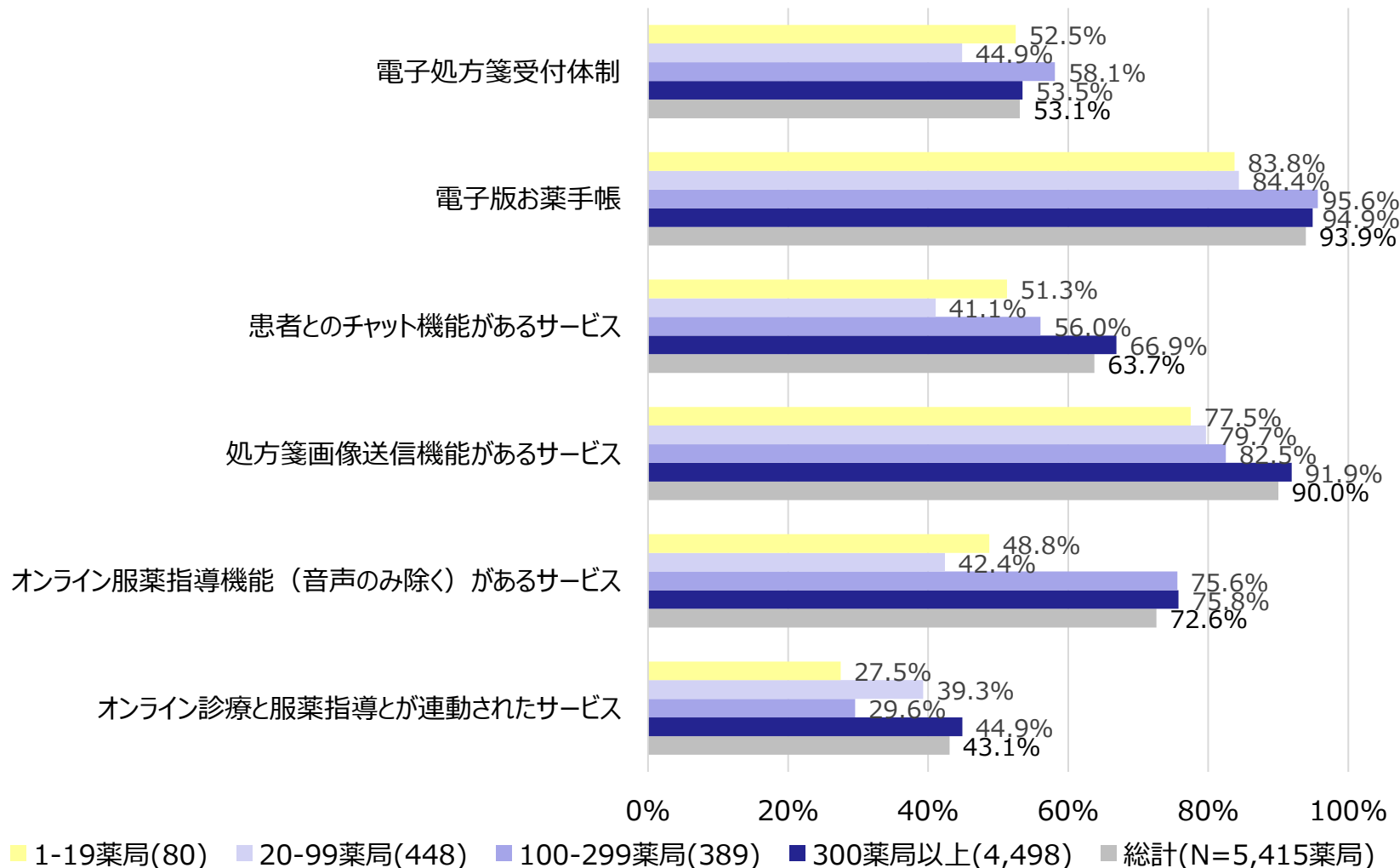


ICT導入状況 × 規模

薬局グループの規模によってICT導入状況に大きな差は見られず、電子処方箋受付体制の導入状況においては、規模による差はほとんどなかった。

■ 貴店のICTを活用したサービスを教えてください。（複数選択可）

(N=5,415薬局)

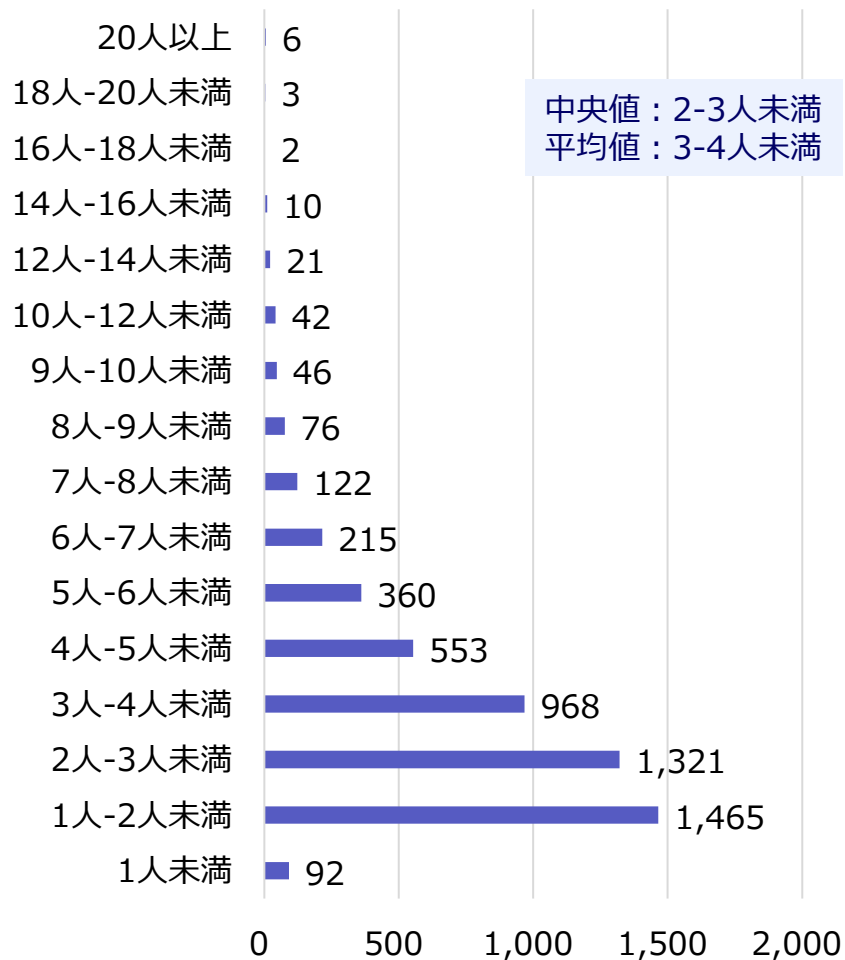


薬剤師の配属数

1 薬局あたりの薬剤師配属数の平均値は3-4未満、中央値は2-3人未満。また、薬剤師 1 人あたりの月間受付回数の平均値は444回であった。

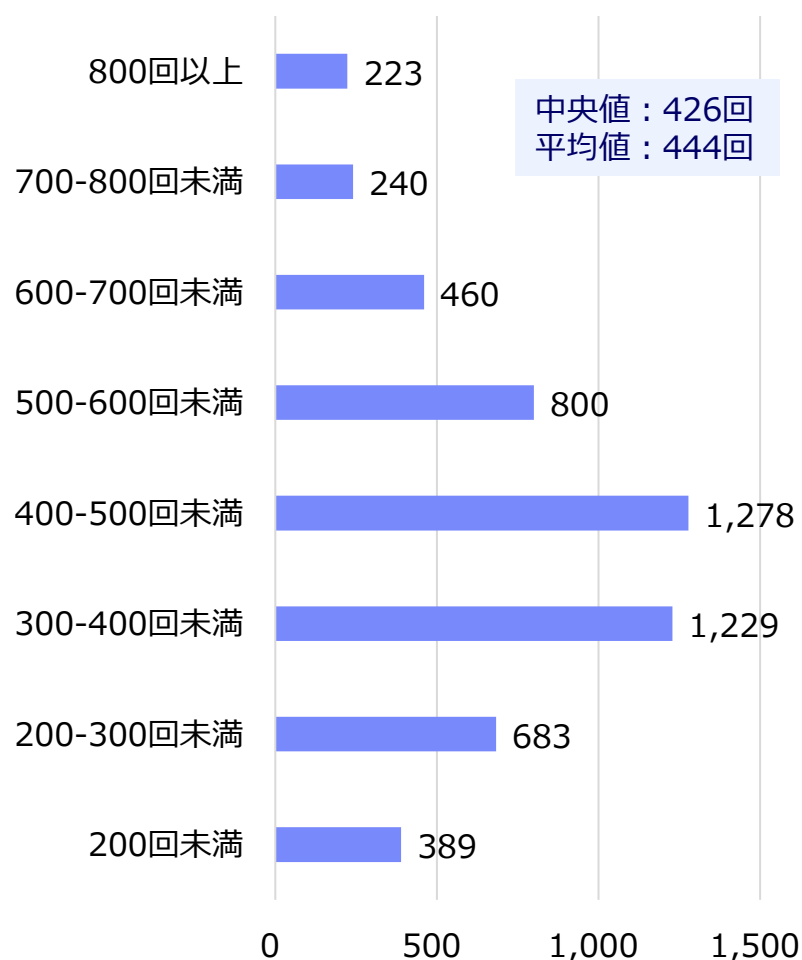
■ 薬剤師の配属数

(N=5,302薬局)



■ 薬剤師 1 人あたりの月間受付回数

(N=5,302薬局)



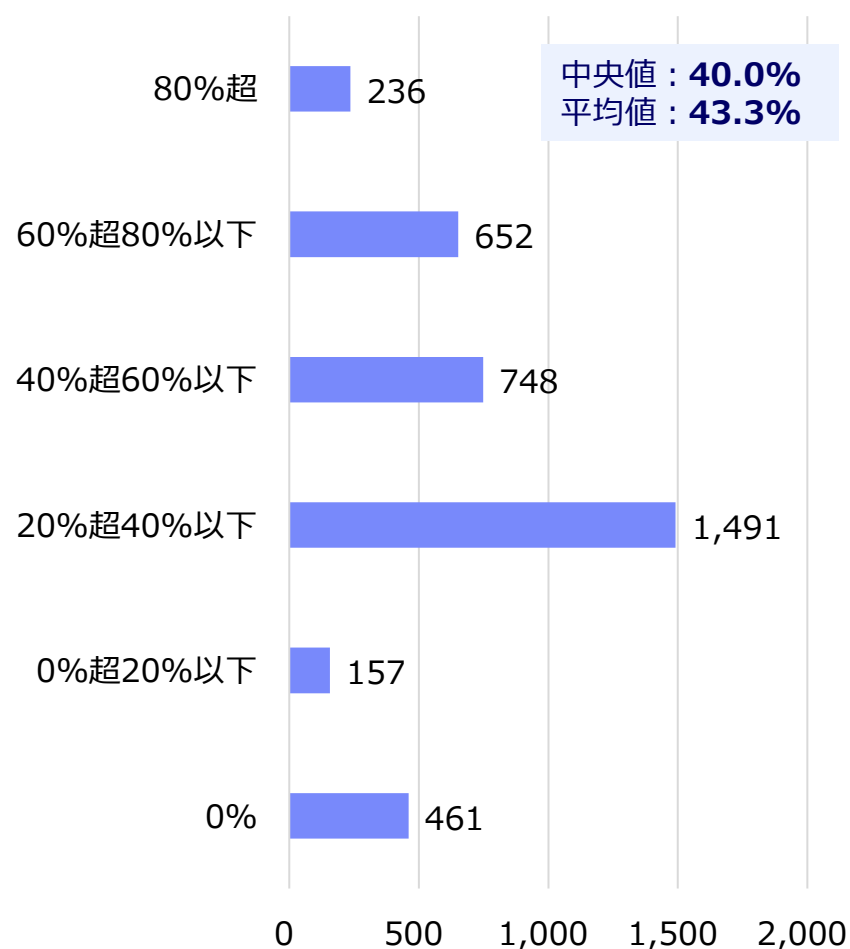
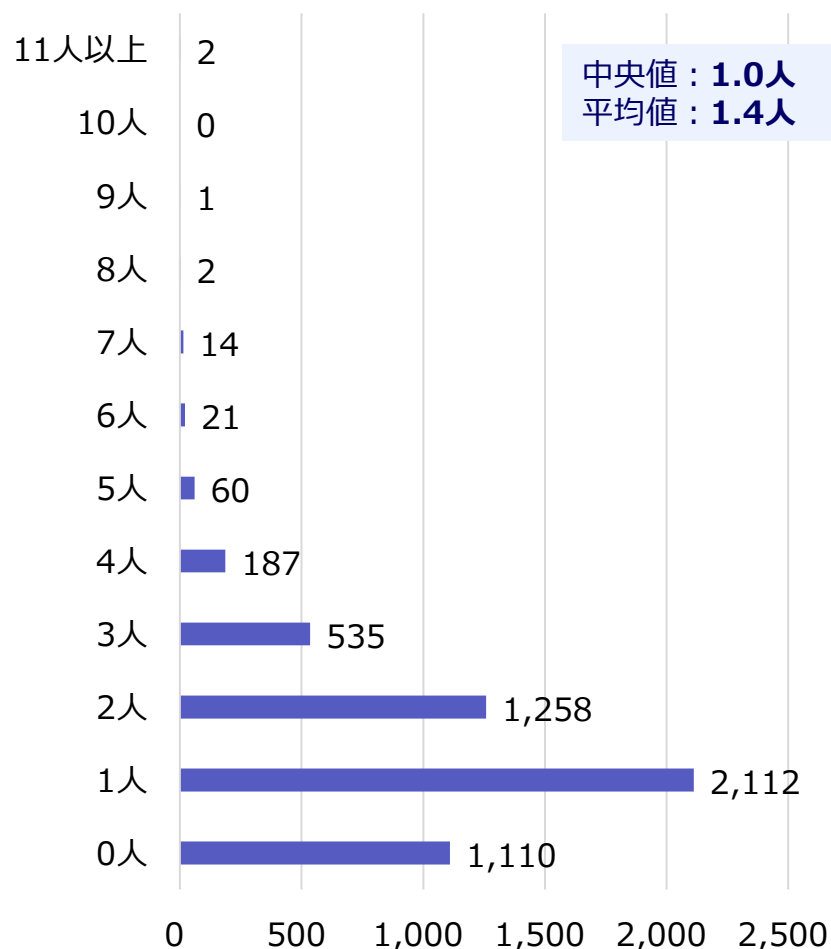
▶ 中央値と平均値は、1人-2人未満ならば1.5人などとして計算。

▶ 1人-2人未満ならば1.5人などとして計算。
2023年11月の受付回数を割って算出。

かかりつけ薬剤師数

1 薬局あたりのかかりつけ薬剤師在籍数の平均値は1.4人、中央値は1.0人であり、薬剤師が複数人配属されている場合のかかりつけ薬剤師数の割合は平均値43.3%、中央値40.0%であった。

■ かかりつけ薬剤師の要件を満たしている薬剤師の在籍数 (N=5,302薬局) ■ 薬剤師の配属数に占めるかかりつけ薬剤師数の割合 (N=薬剤師の配属数が2人以上の3,745薬局)

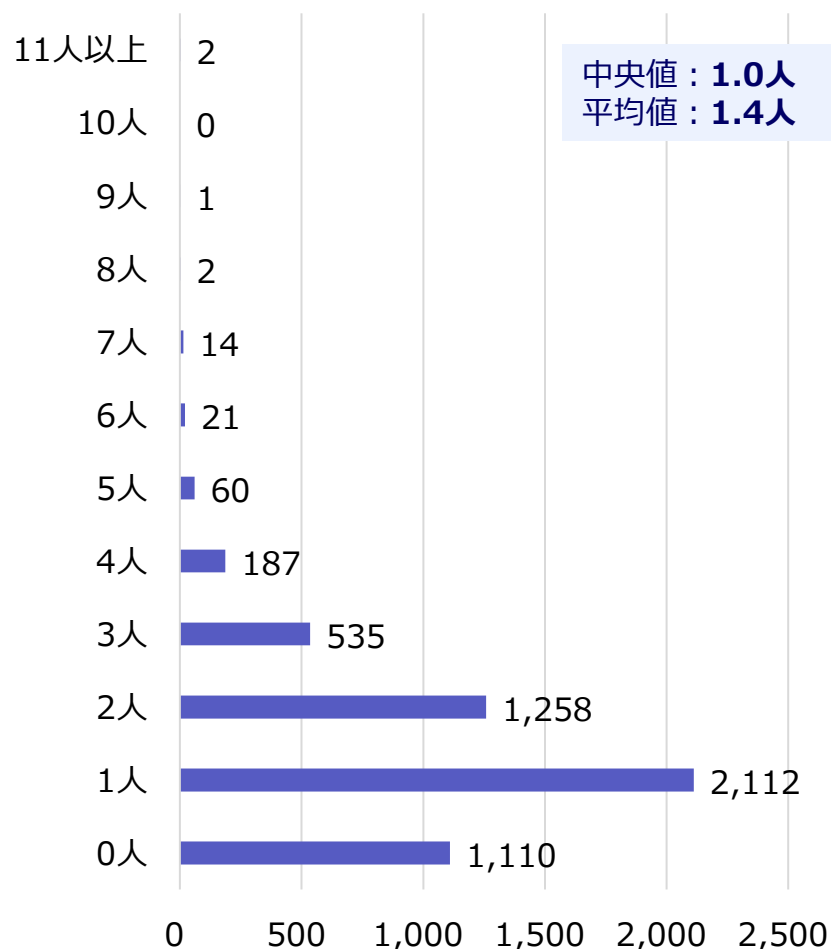


▶ 2人-3人未満ならば2.5人などとして割合を計算。

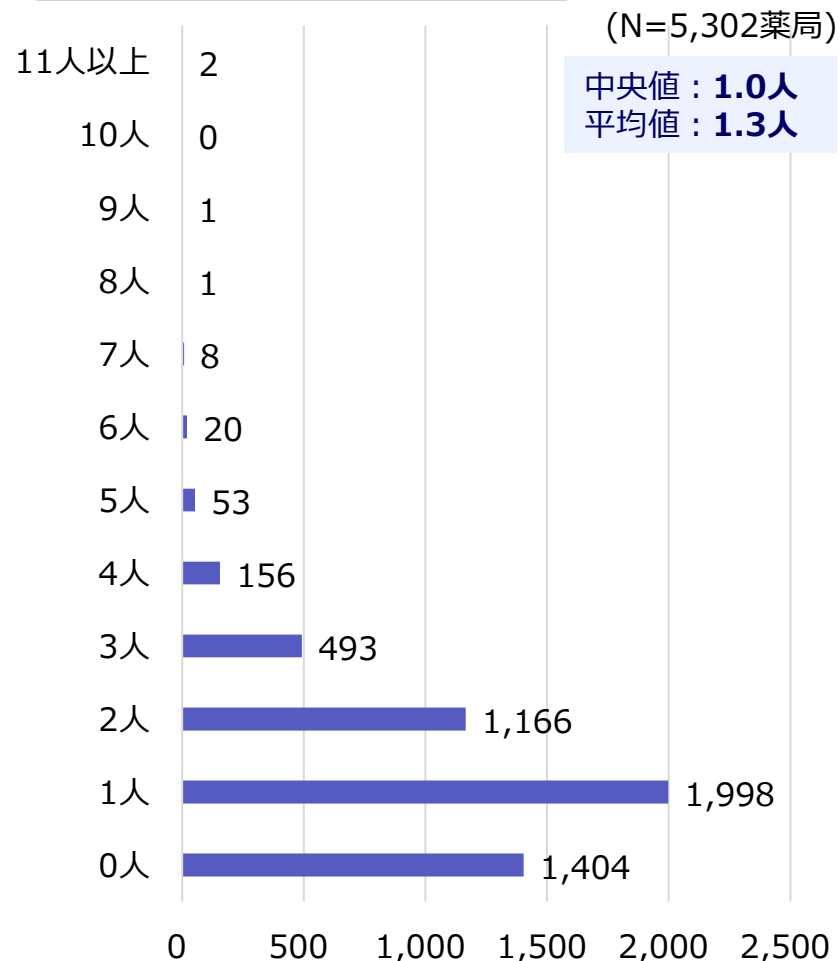
かかりつけの実績がある薬剤師数

「かかりつけ薬剤師の要件を満たしている薬剤師数」と「かかりつけ薬剤師指導料の実績がある薬剤師数」は近い結果であり、要件を満たしている薬剤師は、概ねかかりつけとしての職能を発揮している状況が伺えた。

■ かかりつけ薬剤師の要件を満たしている薬剤師の在籍数
(N=5,302薬局)



■ 直近3カ月（2023年9月～11月）においてかかりつけ薬剤師指導料の実績がある薬剤師の在籍数
(N=5,302薬局)

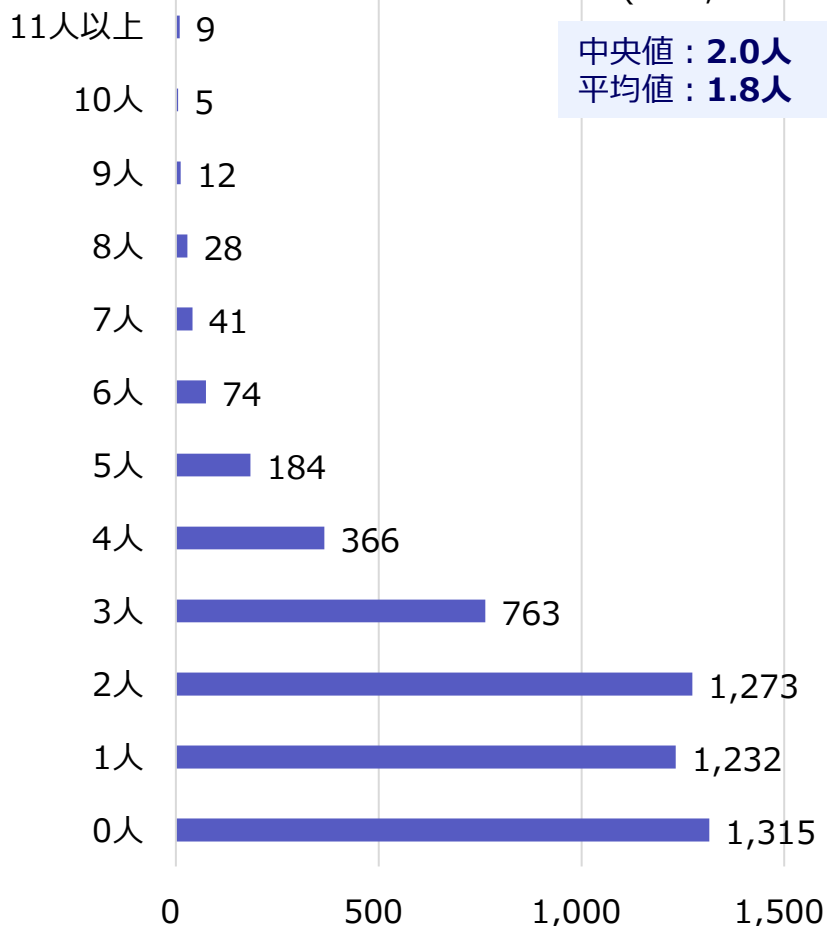


在宅実績のある薬剤師

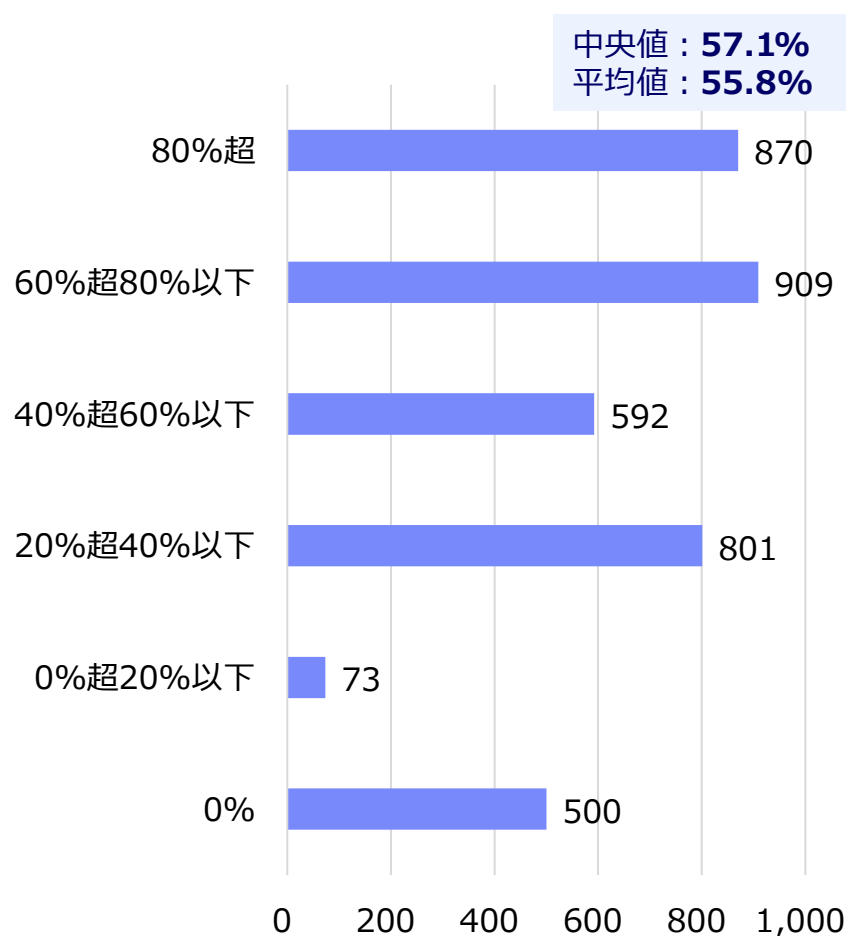
1 薬局あたりの在宅実績がある薬剤師在籍数の平均値は1.8人、中央値は2.0人であり、薬剤師が複数人配属されている場合の当該薬剤師の割合は平均値55.8%、中央値57.1%であった。

■ 直近3カ月（2023年9月～11月）において在宅訪問
薬剤管理の実績がある薬剤師の在籍数

(N=5,302薬局)



■ 薬剤師の配属数に占める在宅実績がある薬剤師の割合
(N=薬剤師の配属数が2人以上の3,745薬局)

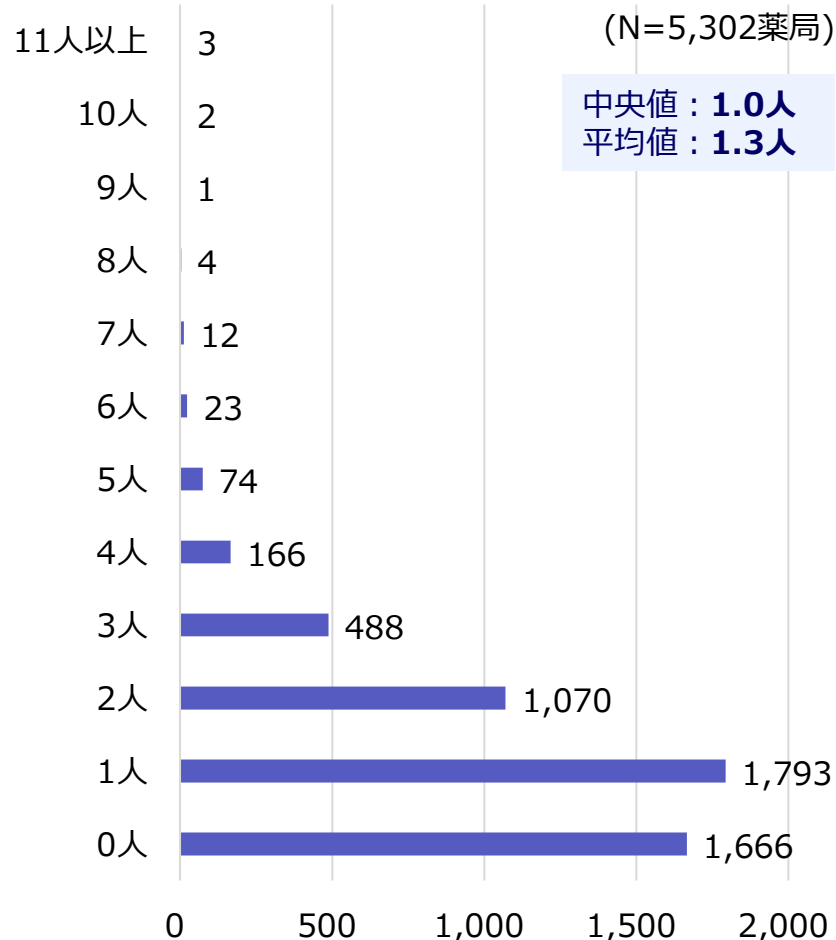


▶ 2人-3人未満ならば2.5人などとして割合を計算。

健サポ研修修了薬剤師

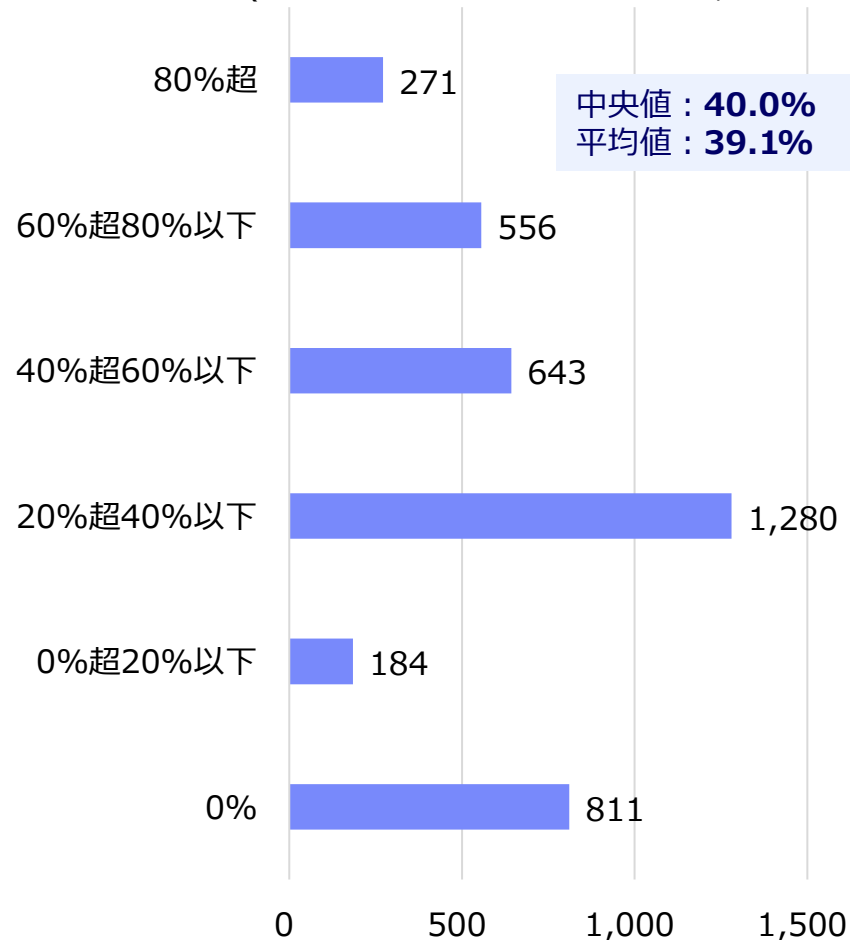
1 薬局あたりの健康サポート薬局修了かつ薬局実務経験5年以上を満たしている薬剤師の在籍数の平均値は1.3人、中央値は1.0人であり、薬剤師が複数人配属されている場合の当該薬剤師の割合は平均値39.1%、中央値40.0%であった。

■ 健康サポート薬局研修を修了、かつ、薬局実務経験5年以上を満たしている薬剤師の在籍数



■ 薬剤師の配属数に占める健サポ研修修了薬剤師の割合

(N=薬剤師の配属数が2人以上の3,745薬局)



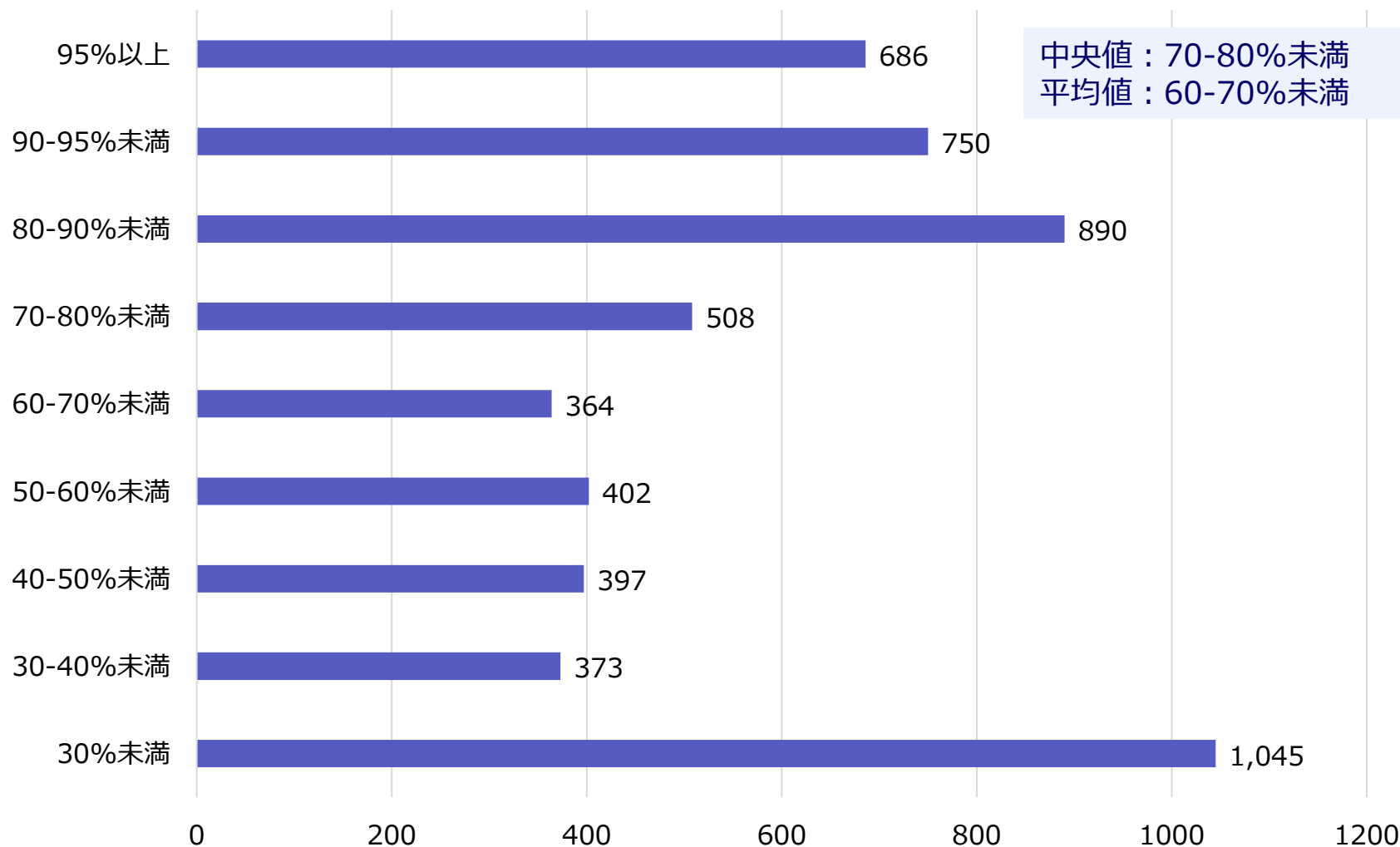
▶ 2人-3人未満ならば2.5人などとして割合を計算。

薬局の実績

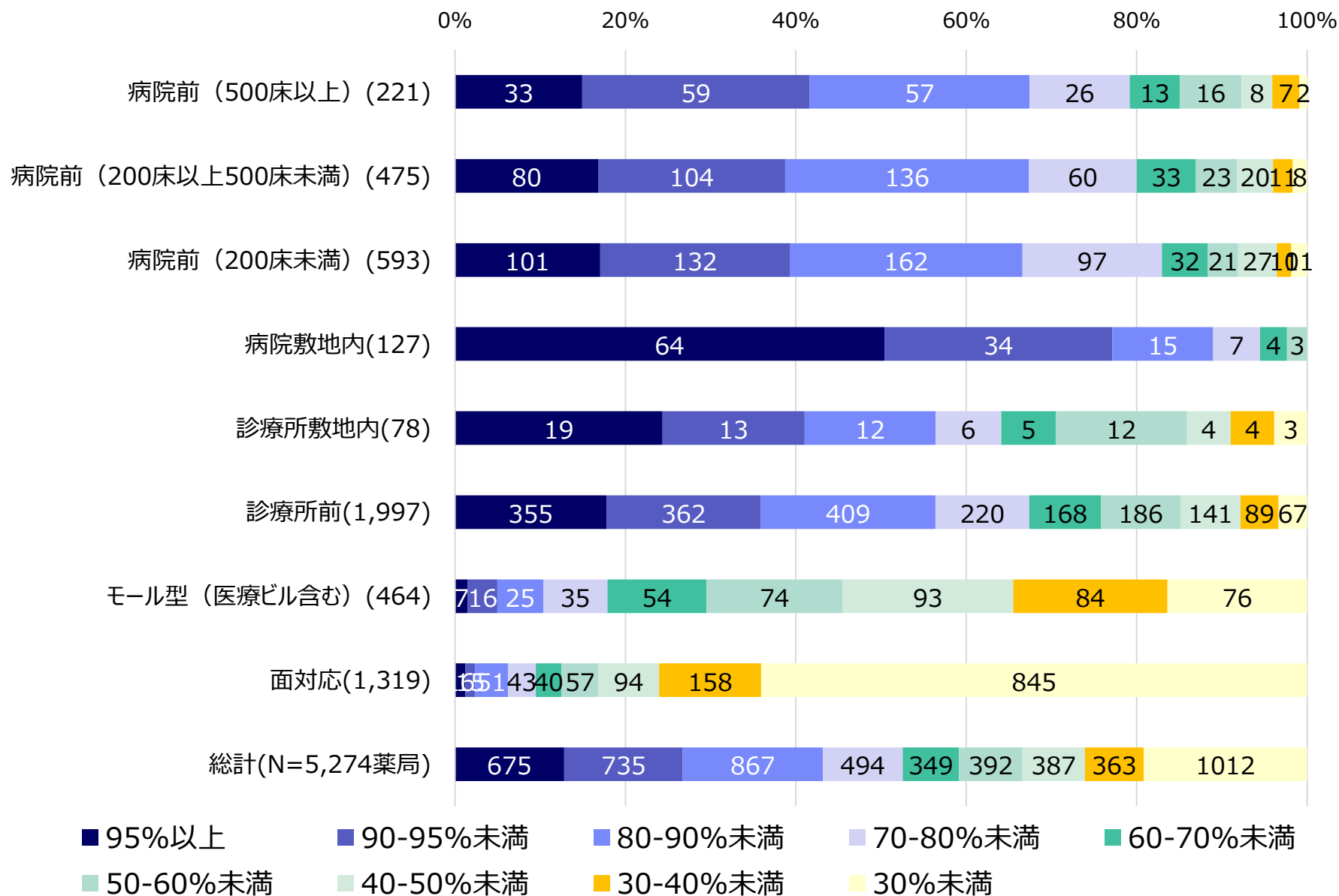
処方箋集中度

■ 貴店の処方せん集中度について教えてください。

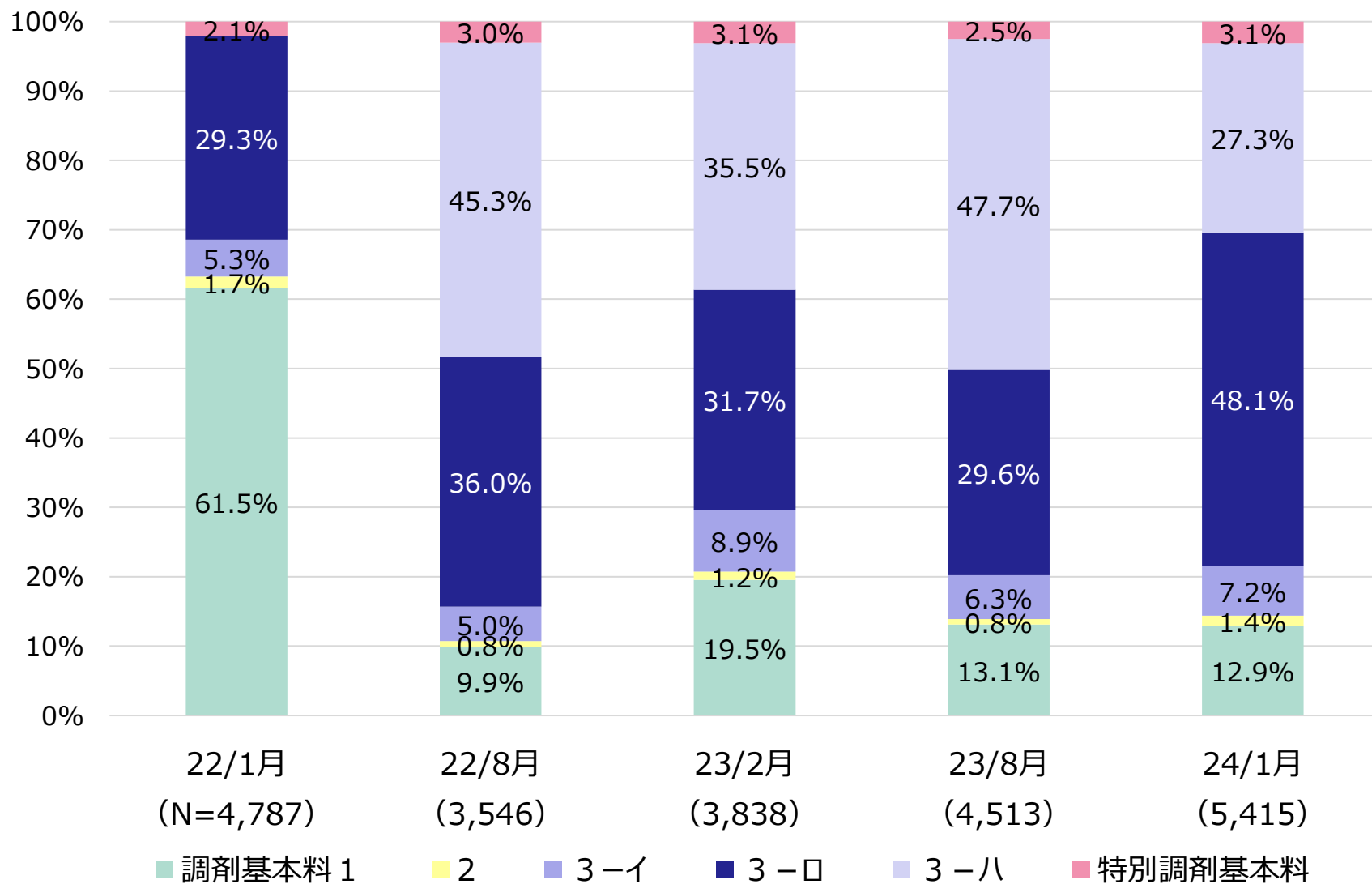
(N=5,415薬局)



処方箋集中度 × 立地



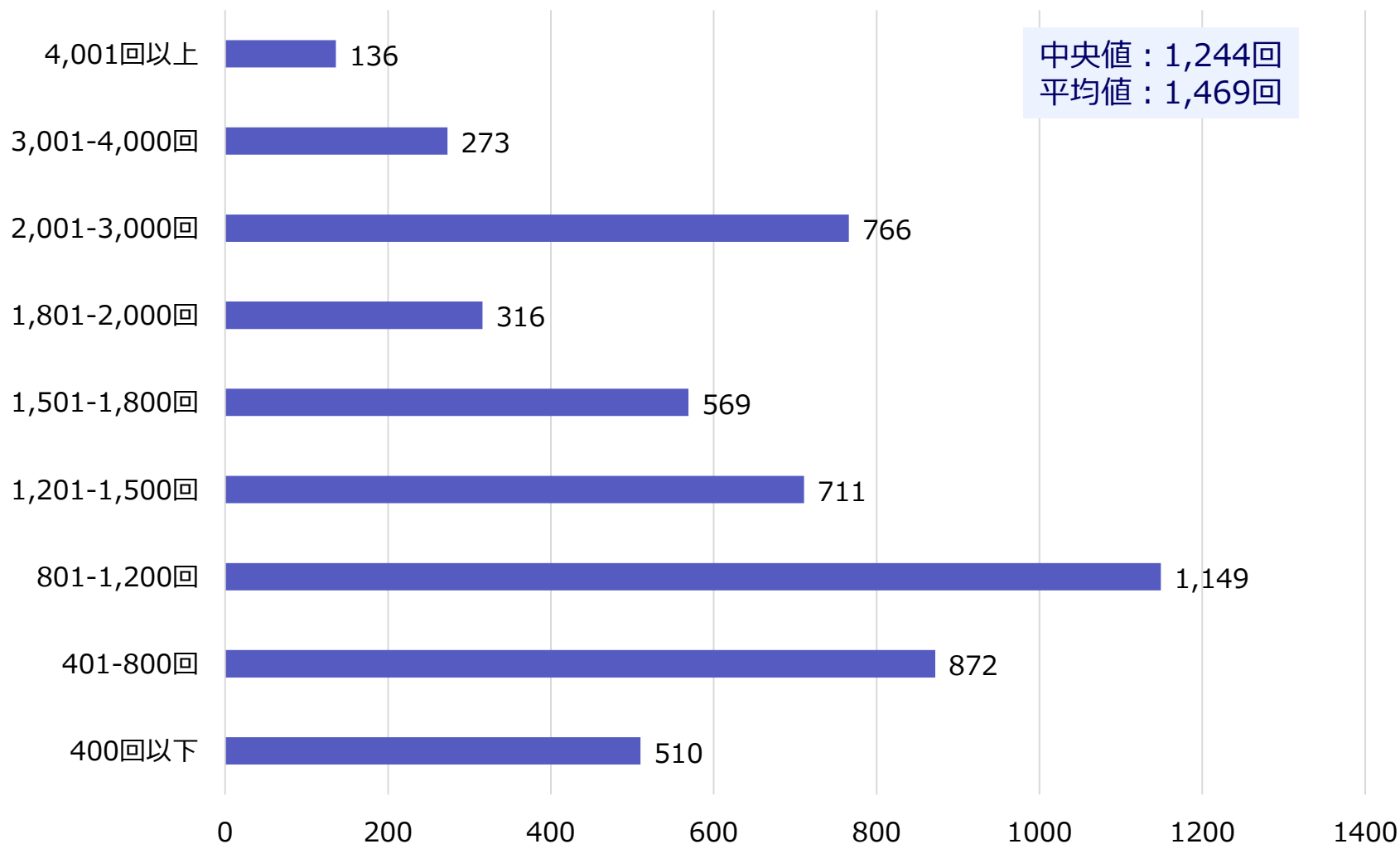
調剤基本料



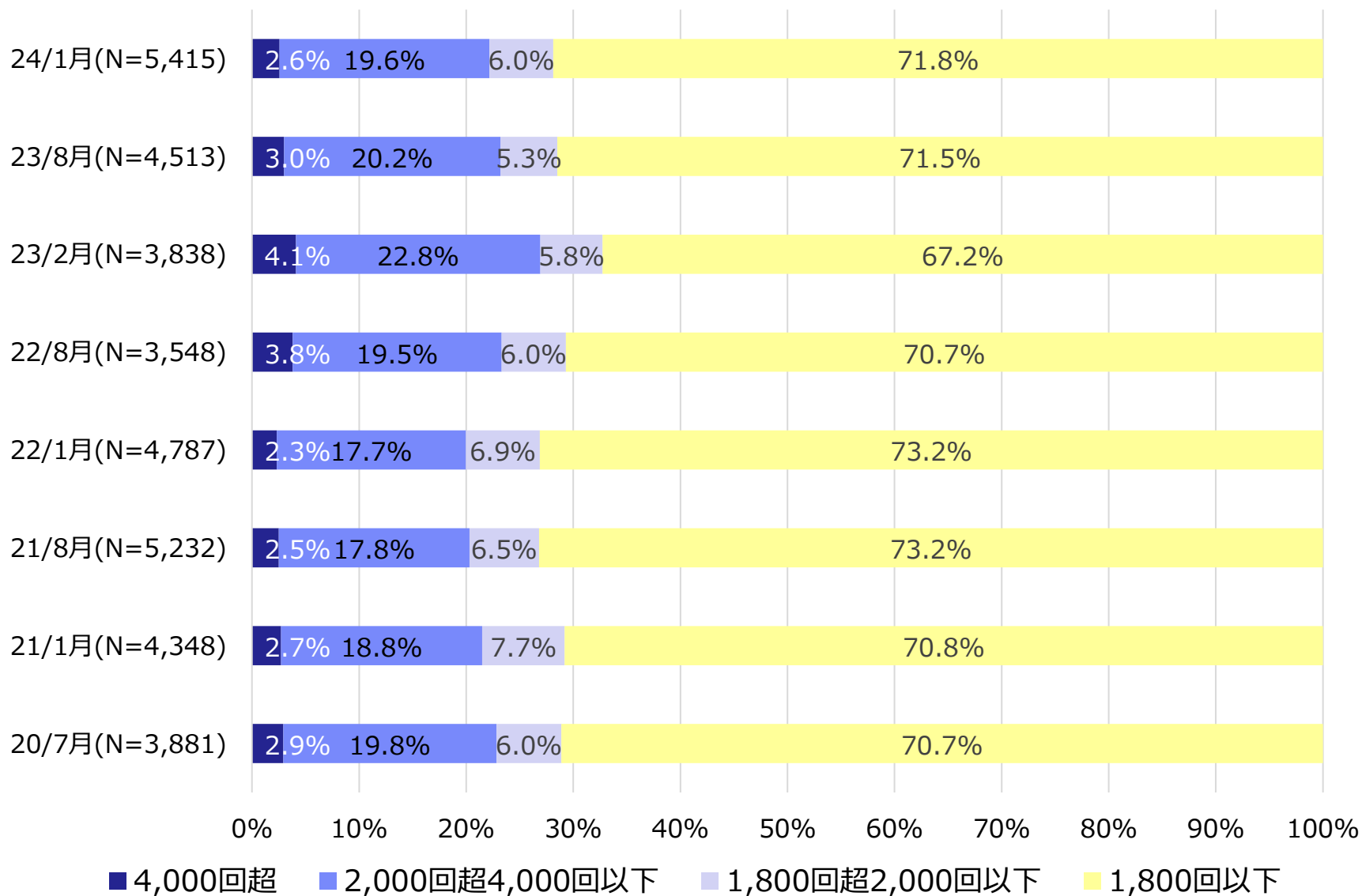
月間受付回数 23/11月実績

■ 2023年11月の月間処方せん受付回数を教えてください。（半角整数 単位:回）

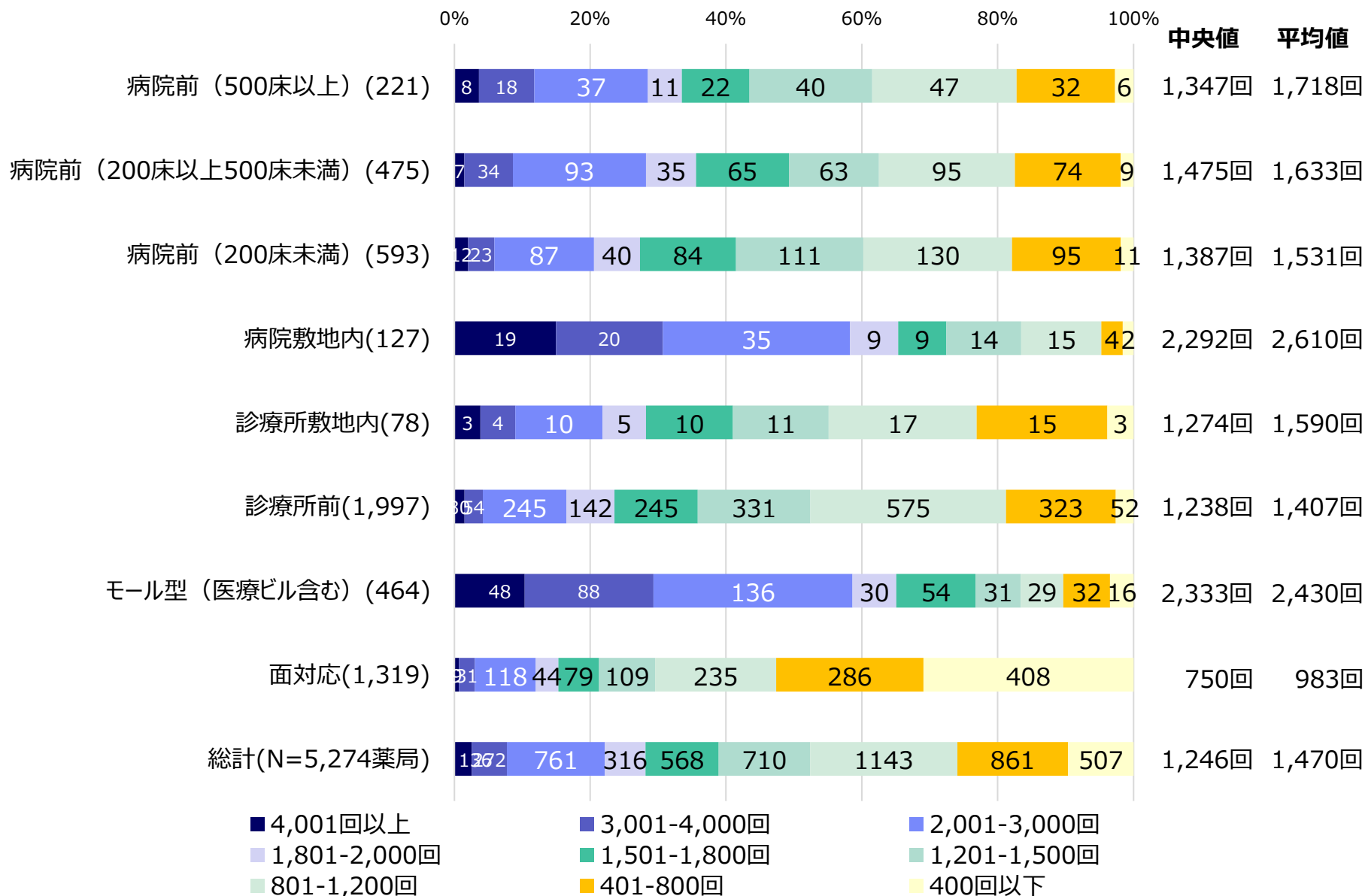
(N=5,302薬局)



月間受付回数の推移



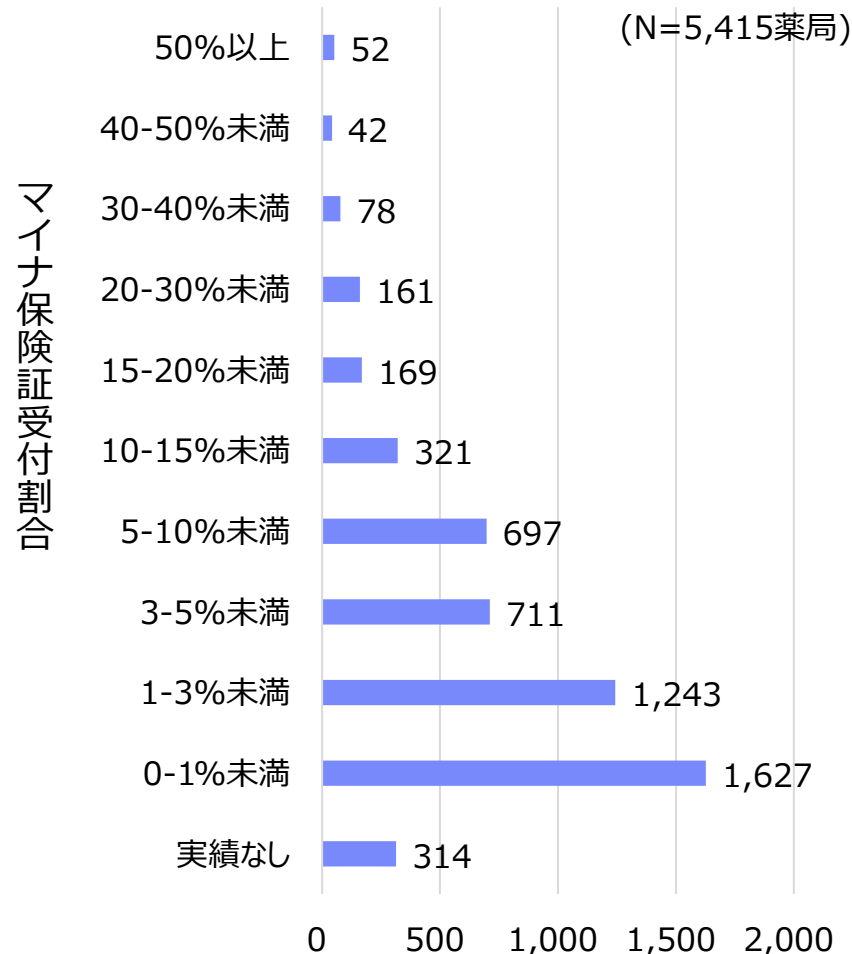
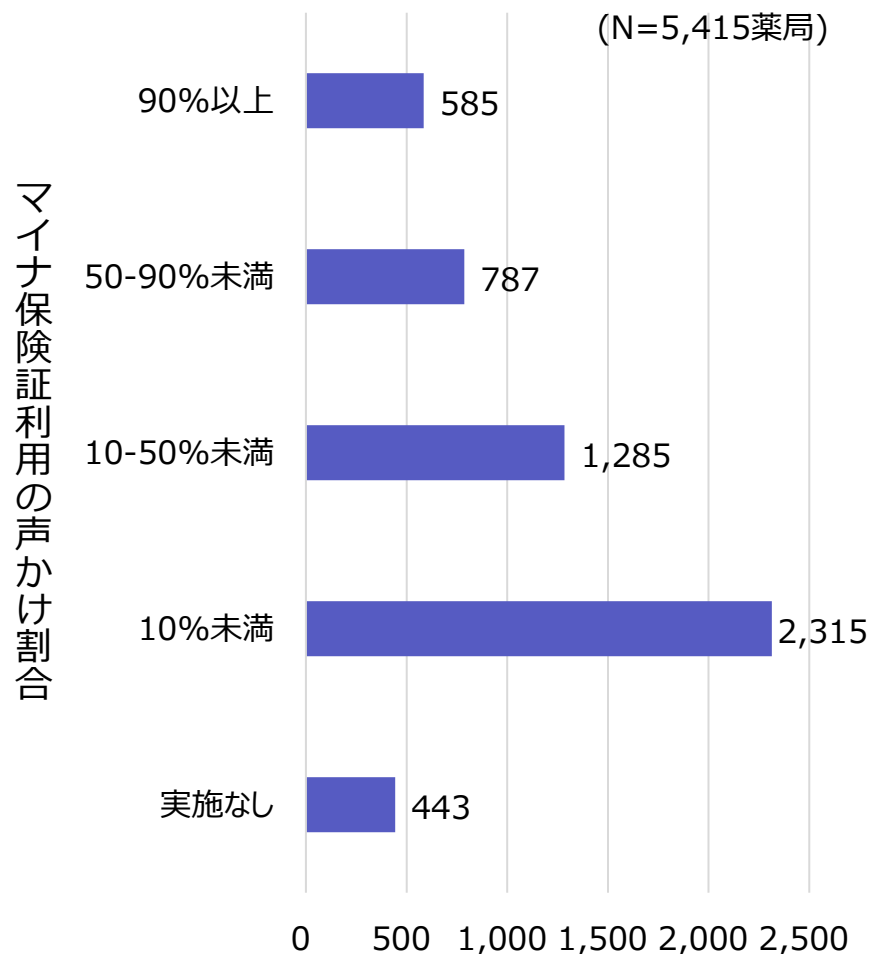
月間平均受付回数 × 立地



マイナ保険証 23/11月実績

マイナ保険証の持参確認や利用の声かけを実施している薬局の割合は91.8%と、薬局現場での働きかけは浸透してきている。一方で、声かけ割合50%以上の薬局は25.3%、マイナ保険証受付割合の中央値は1-3%未満、10%を超える薬局の割合は15.2%であった。

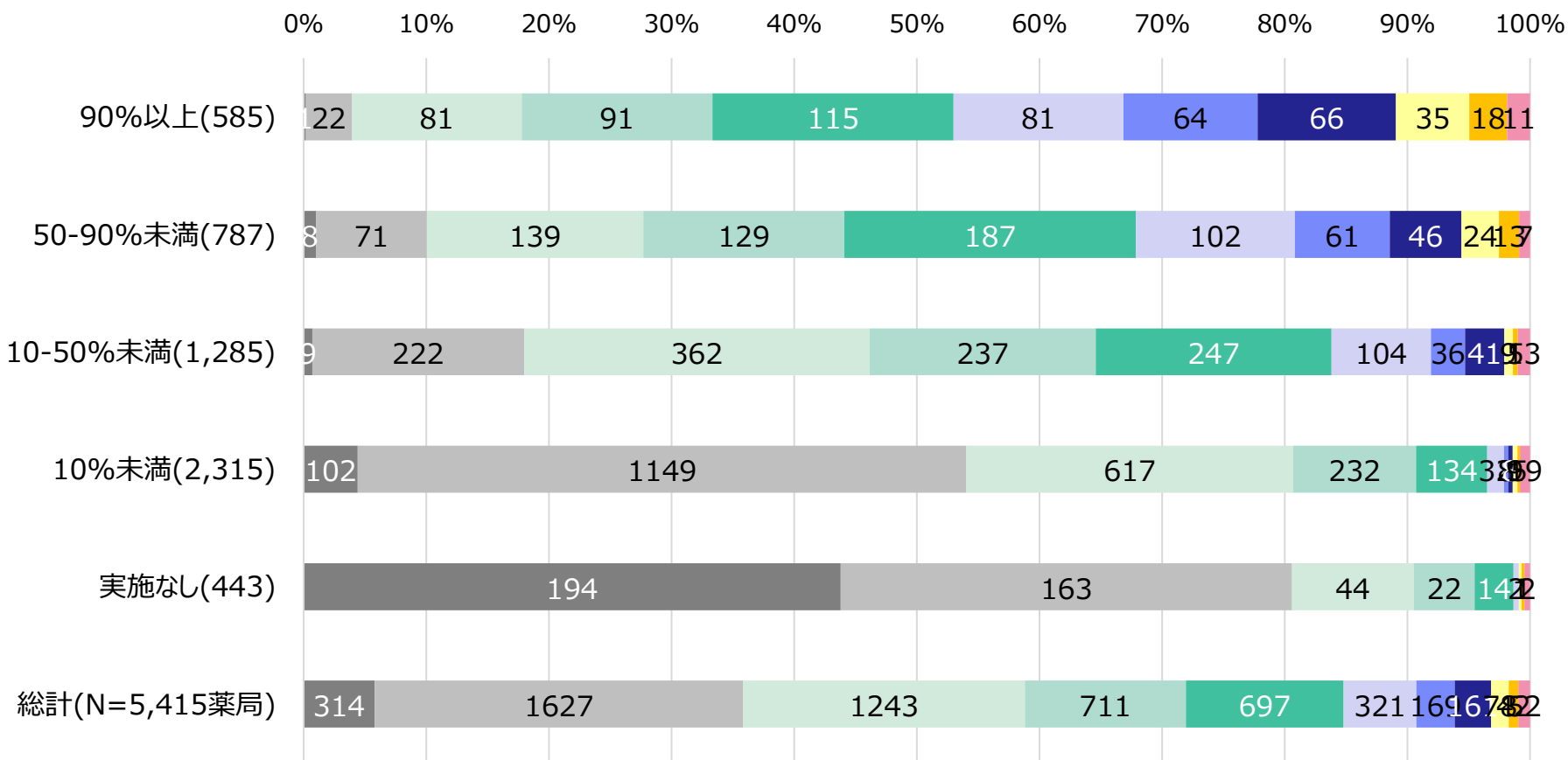
- マイナ保険証の持参確認や、受付での利用の声かけを実施したおおよその割合を教えてください。 ■ マイナ保険証受付を実施したおおよその割合を教えてください。



マイナ保険証 声かけ × 23/11月実績

マイナ保険証の持参確認や利用の声かけ割合が高いほど、マイナ保険証受付割合が高い傾向が見られた。

マイナ保険証利用の声かけ割合

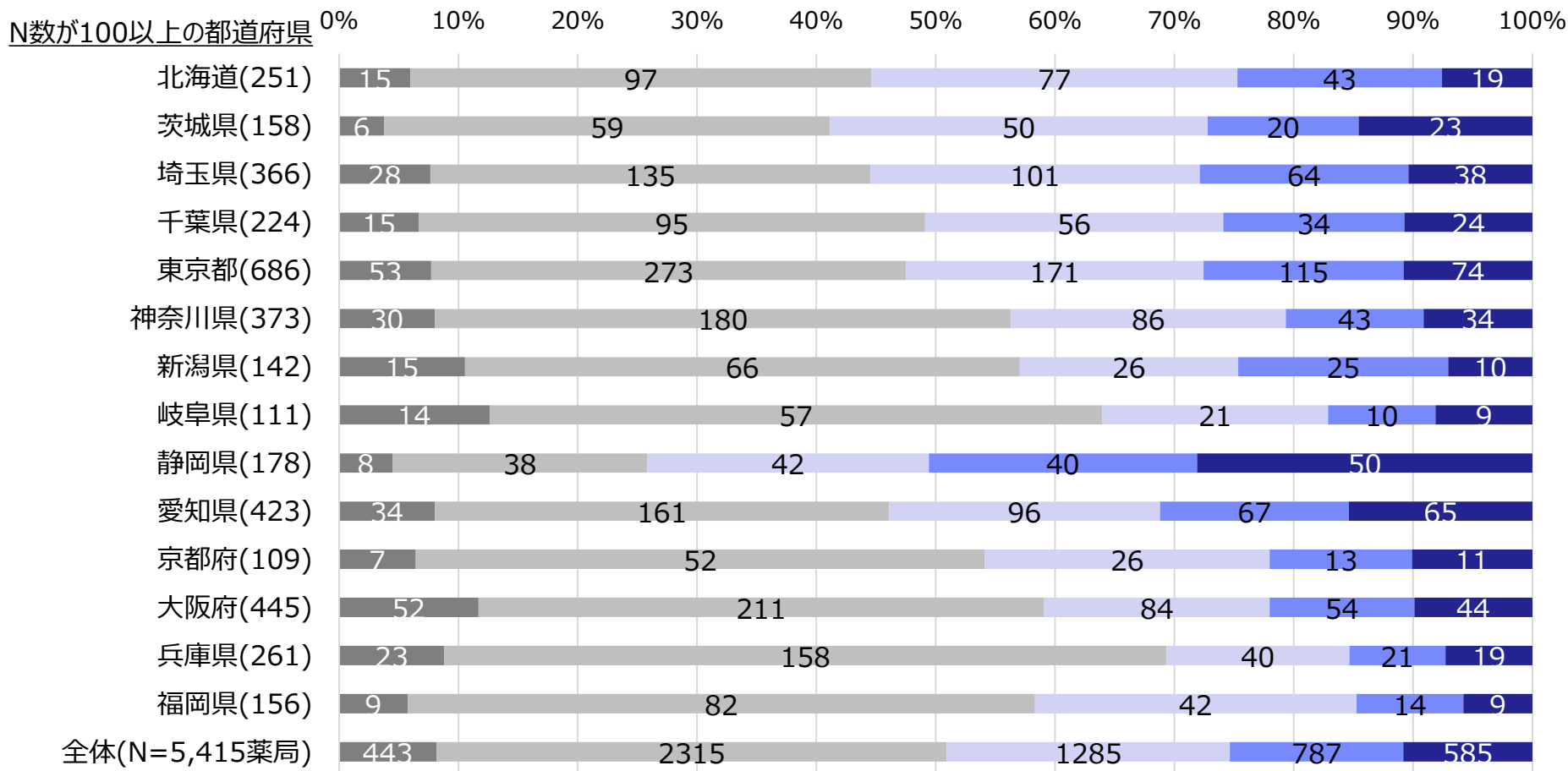


マイナ保険証受付割合

■ 実績なし ■ 0-1%未満 ■ 1-3%未満 ■ 3-5%未満 ■ 5-10%未満 ■ 10-15%未満
 ■ 15-20%未満 ■ 20-30%未満 ■ 30-40%未満 ■ 40-50%未満 ■ 50%以上

マイナ保険証 都道府県 × 23/11月声かけ

マイナ保険証の持参確認や利用の声かけ割合は、都道府県によって大きな差は見られなかった。

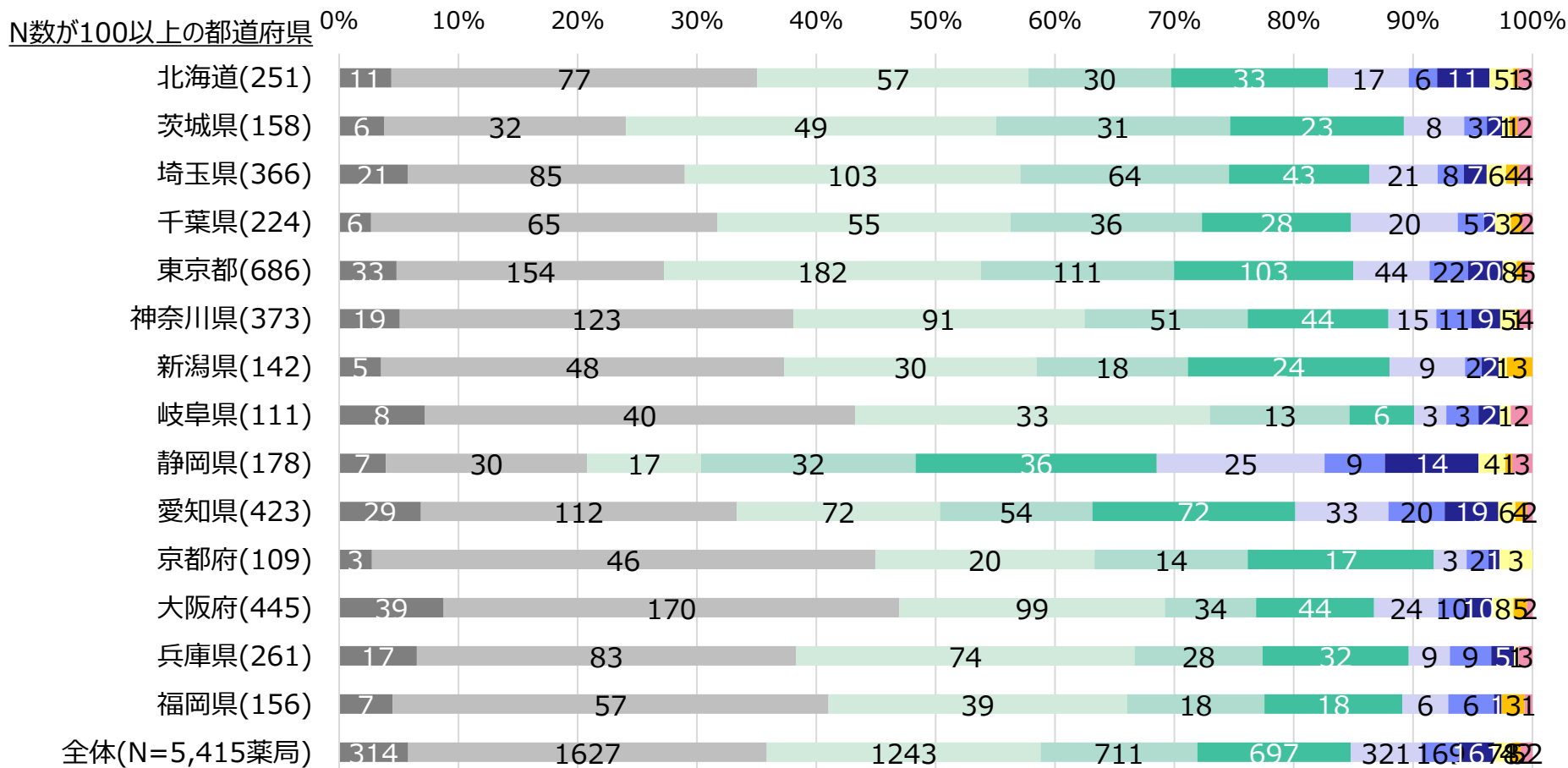


マイナ保険証利用声掛け割合

■ 実施なし ■ 10%未満 ■ 10-50%未満 ■ 50-90%未満 ■ 90%以上

マイナ保険証 都道府県 × 23/11月実績

マイナ保険証受付割合は、都道府県によって大きな差は見られなかった。



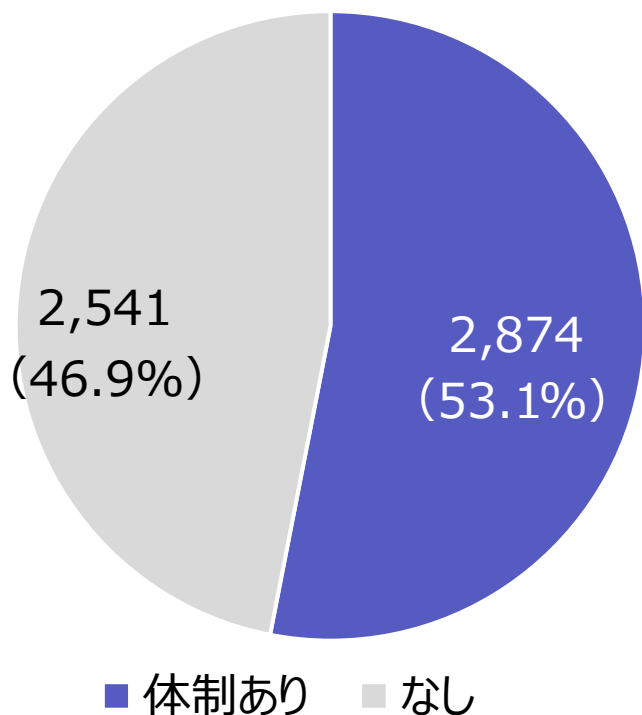
マイナ保険証受付割合



電子処方箋 23/11月実績

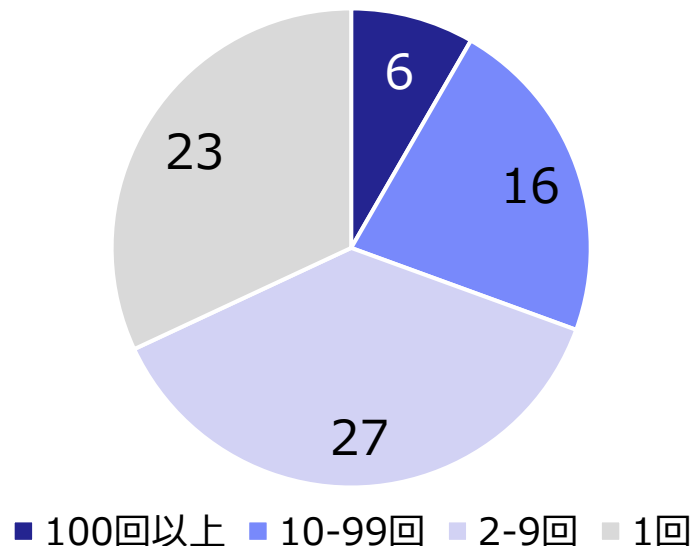
電子処方箋受付体制がある2,858薬局のうち、23/11月単月において、実績があった薬局が72薬局、2.5%であった。総受付回数の中の電子処方箋受付回数割合は、0.058%であった。

電子処方箋受付体制がある薬局 (N=5,415薬局)



電子処方箋受付実績分布

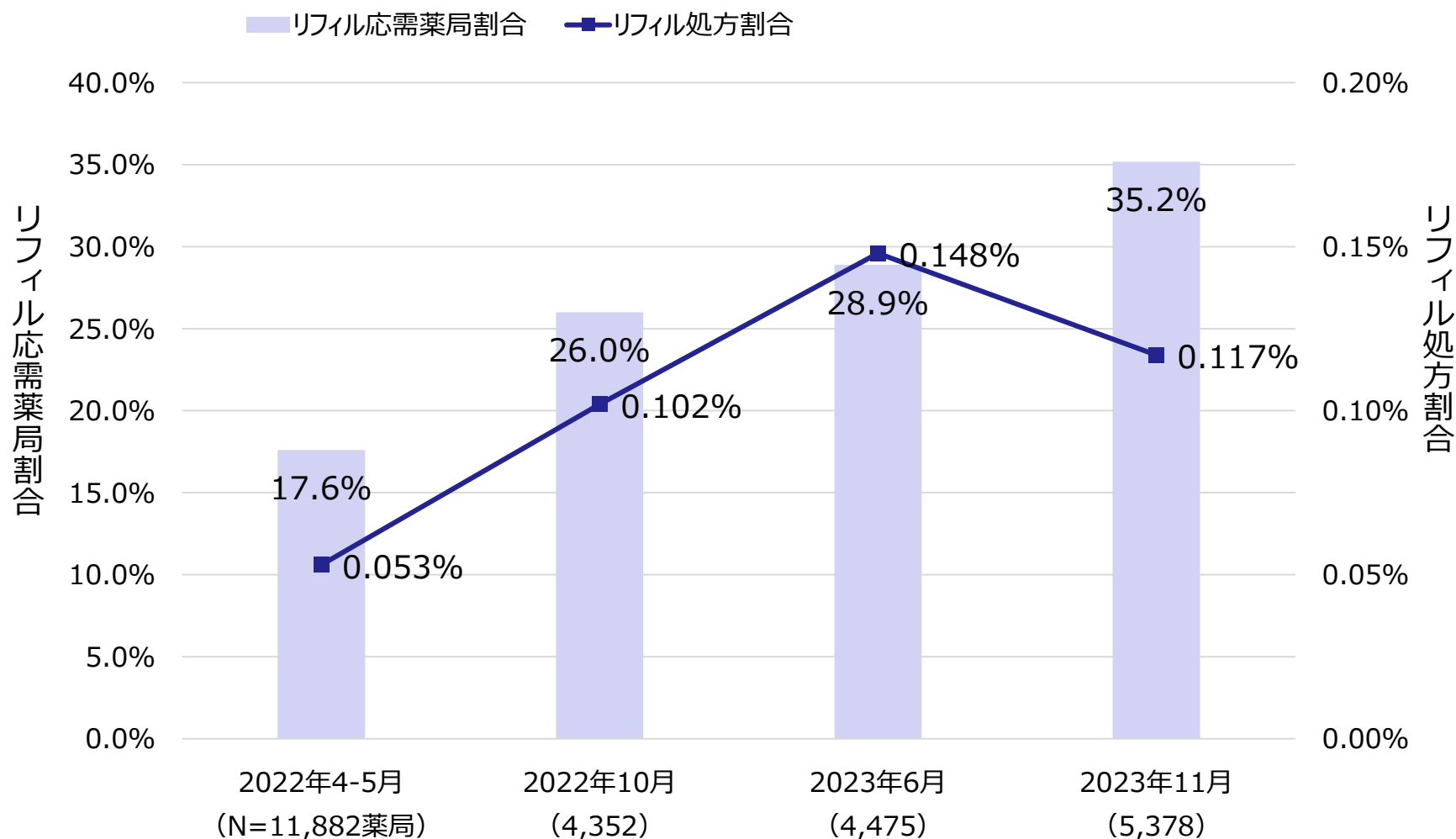
N = 受付体制がある2,858薬局のうち
23/11月において実績ありが、72薬局 (2.5%)



2,858薬局における2023年11月単月の
電子処方箋受付回数/総受付回数 =
2,670/4,624,059 = **0.058%**

リフィル実績推移

リフィル処方箋の応需実績がある薬局割合は、35.2%（前回調査と比べて+6.3%）。総受付件数に対するリフィル処方箋応需割合は、0.117%であった。



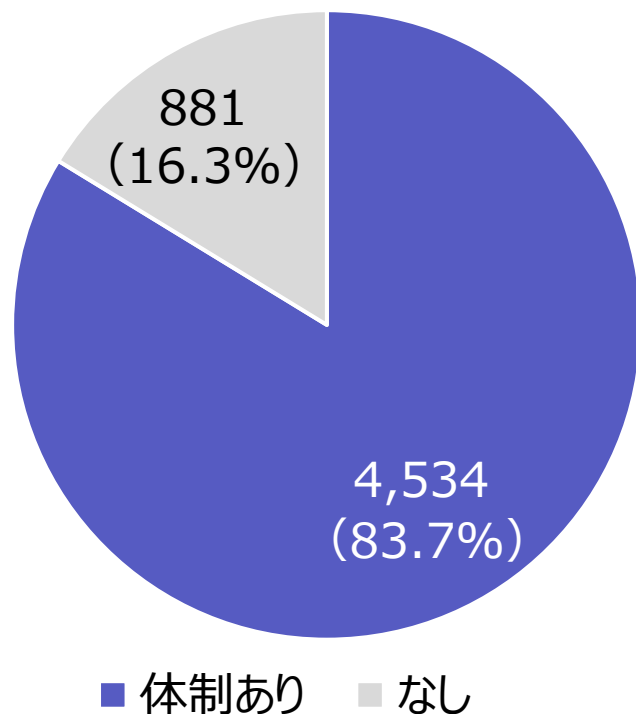
▶ 2022年4-5月：2022年6月NPhA医療制度検討委員会_リフィル処方箋応需に関する調査報告書（N=103社,11,881薬局）

▶ 2022年10月：2022年12月NPhA医療制度検討委員会_リフィル処方箋応需の実態調査報告書（N=4,352薬局）

オンライン服薬指導 23/11月実績

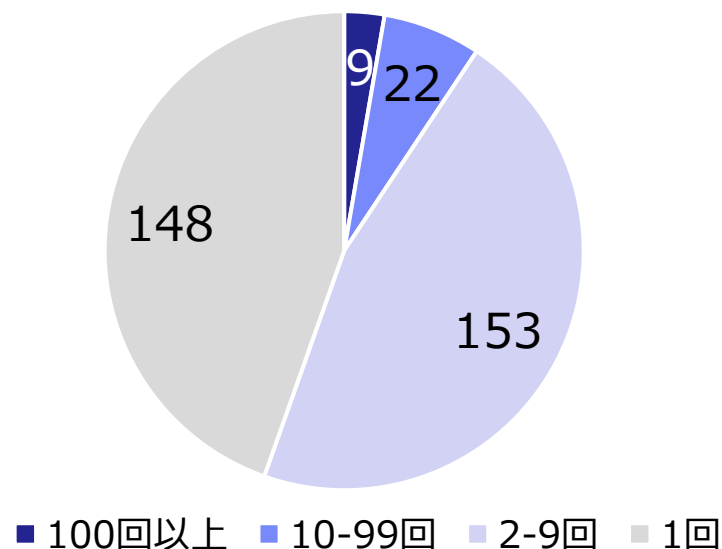
オンライン服薬指導機能があるサービスを導入されている4,534薬局のうち、23/11月単月において、実績があった薬局が332薬局、7.4%であった。総受付回数の中の服薬管理指導料 4 の算定割合は、0.099%であった。一年前の類似の調査の際には、0.045%であった。（2023年3月管理薬剤師アンケート報告書参照）

オンライン服薬指導機能（音声のみは除く）があるサービスもしくは、オンライン診療とオンライン服薬指導とが連動されたサービスが導入されている薬局
(N = 5,415薬局)



オンライン服薬指導受付実績分布

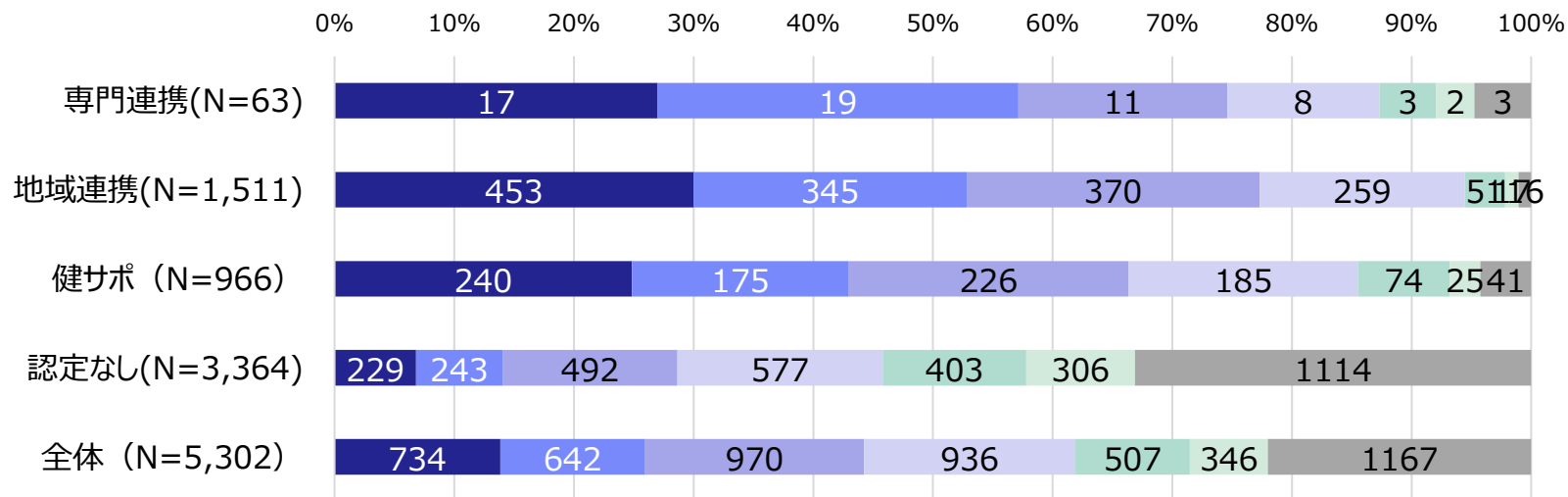
N = オンライン服薬指導ができる体制がある4,507薬局
のうち23/11月において実績ありが、332薬局(7.4%)



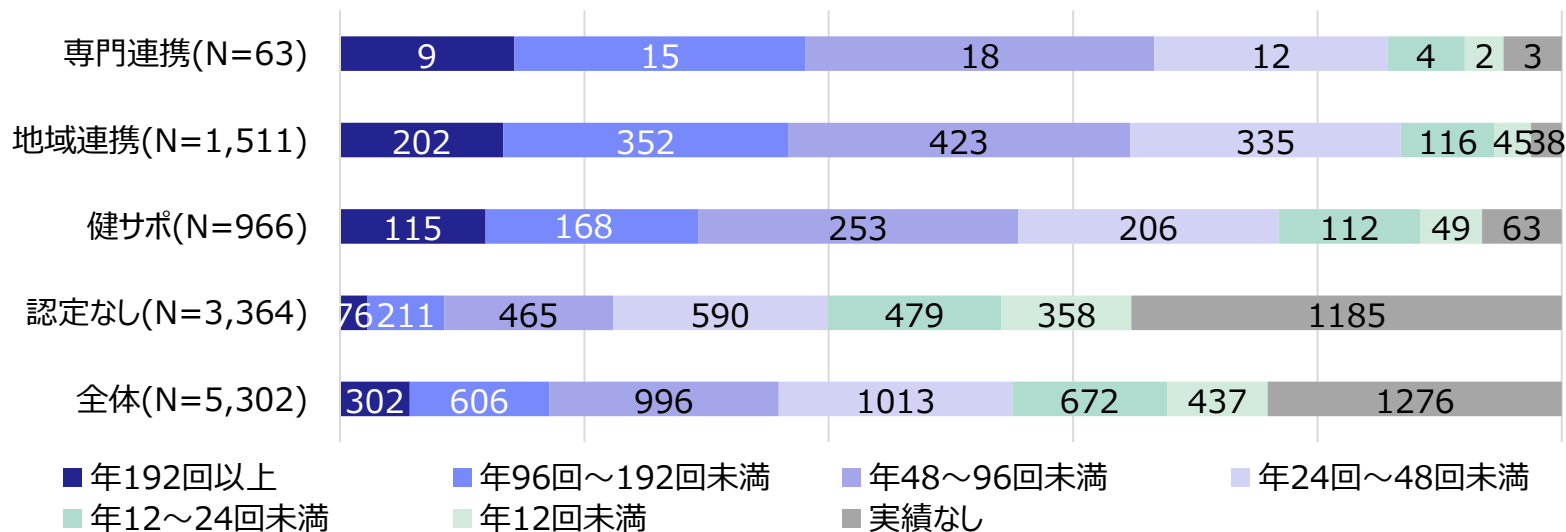
4,507薬局における2023年11月単月の
服薬管理指導料 4 の算定回数/総受付回数 =
 $6,712 / 6,801,392 = \mathbf{0.099\%}$

在宅訪問の実績① 認定別

■ 直近1年間の在宅訪問回数

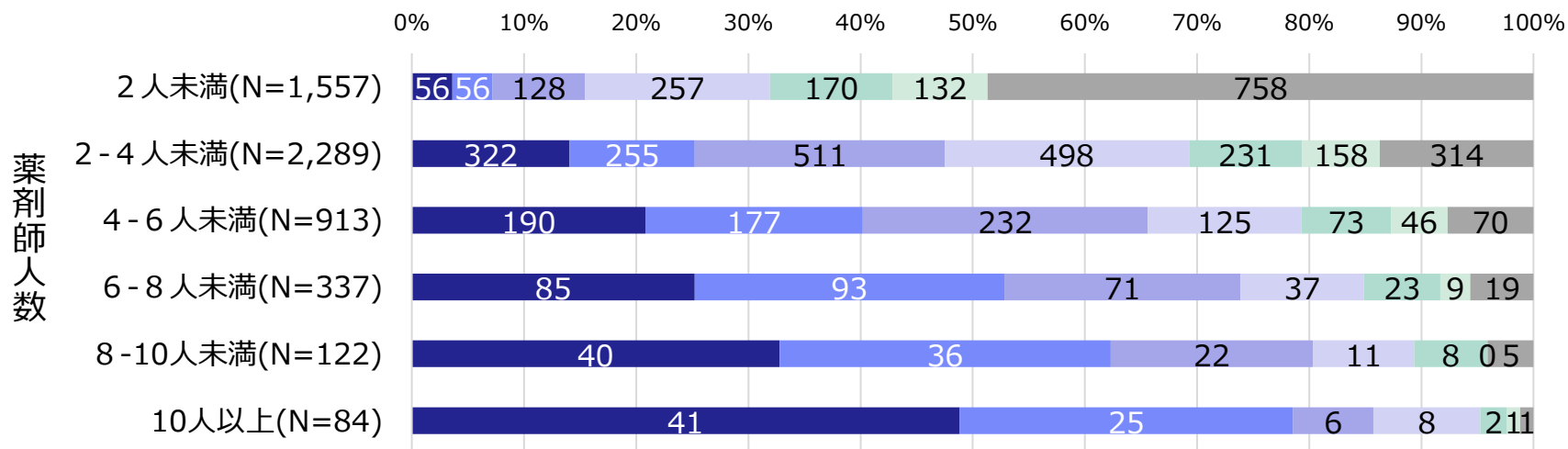


■ 上記のうち単一建物診療患者が一人の場合の在宅訪問回数

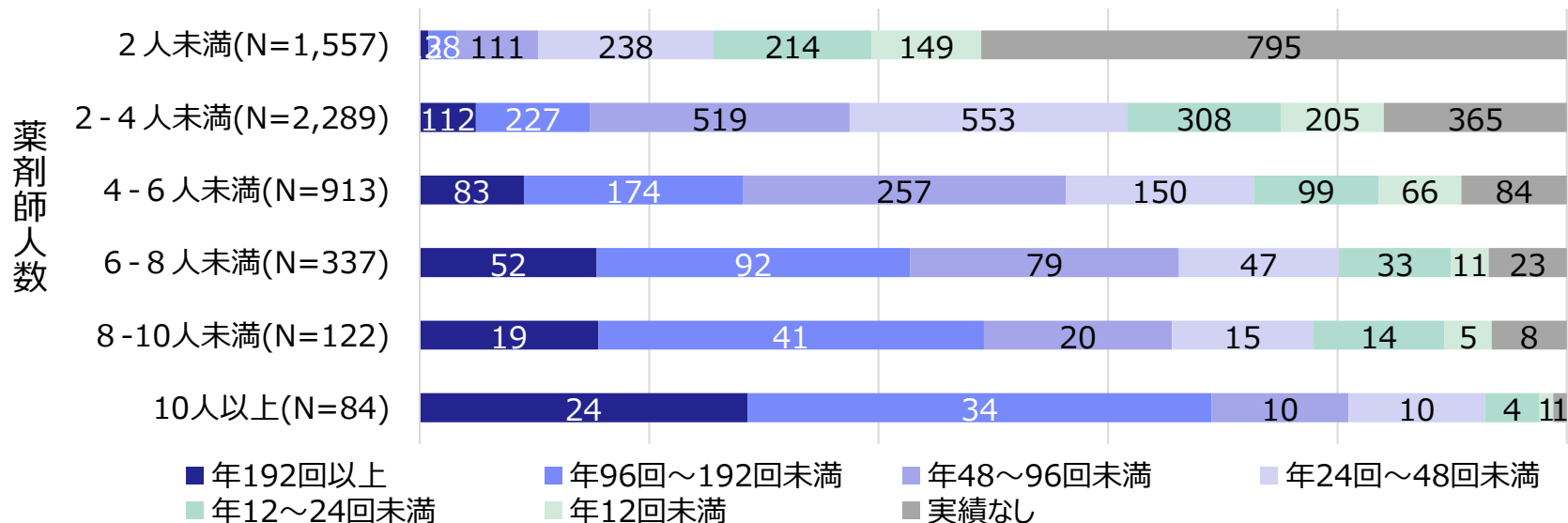


在宅訪問実績② 薬剤師人数別

■ 直近1年間の在宅訪問回数



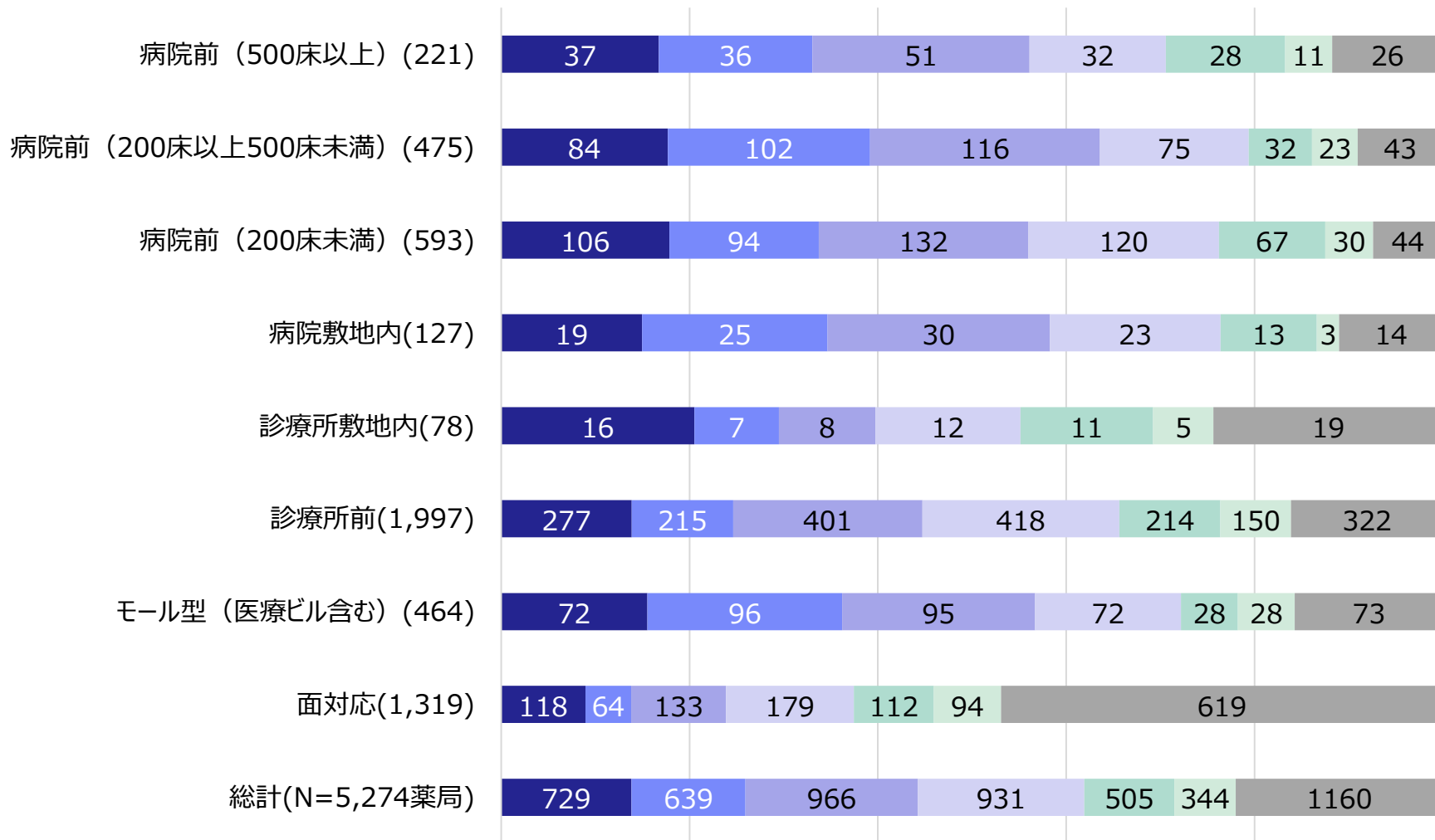
■ 上記のうち単一建物診療患者が一人の場合の在宅訪問回数



在宅訪問実績③ 立地別

■ 直近1年間の在宅訪問回数

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 年192回以上

■ 年96～192回未満

■ 年48～96回未満

■ 年24～48回未満

■ 年12～24回未満

■ 年12回未満

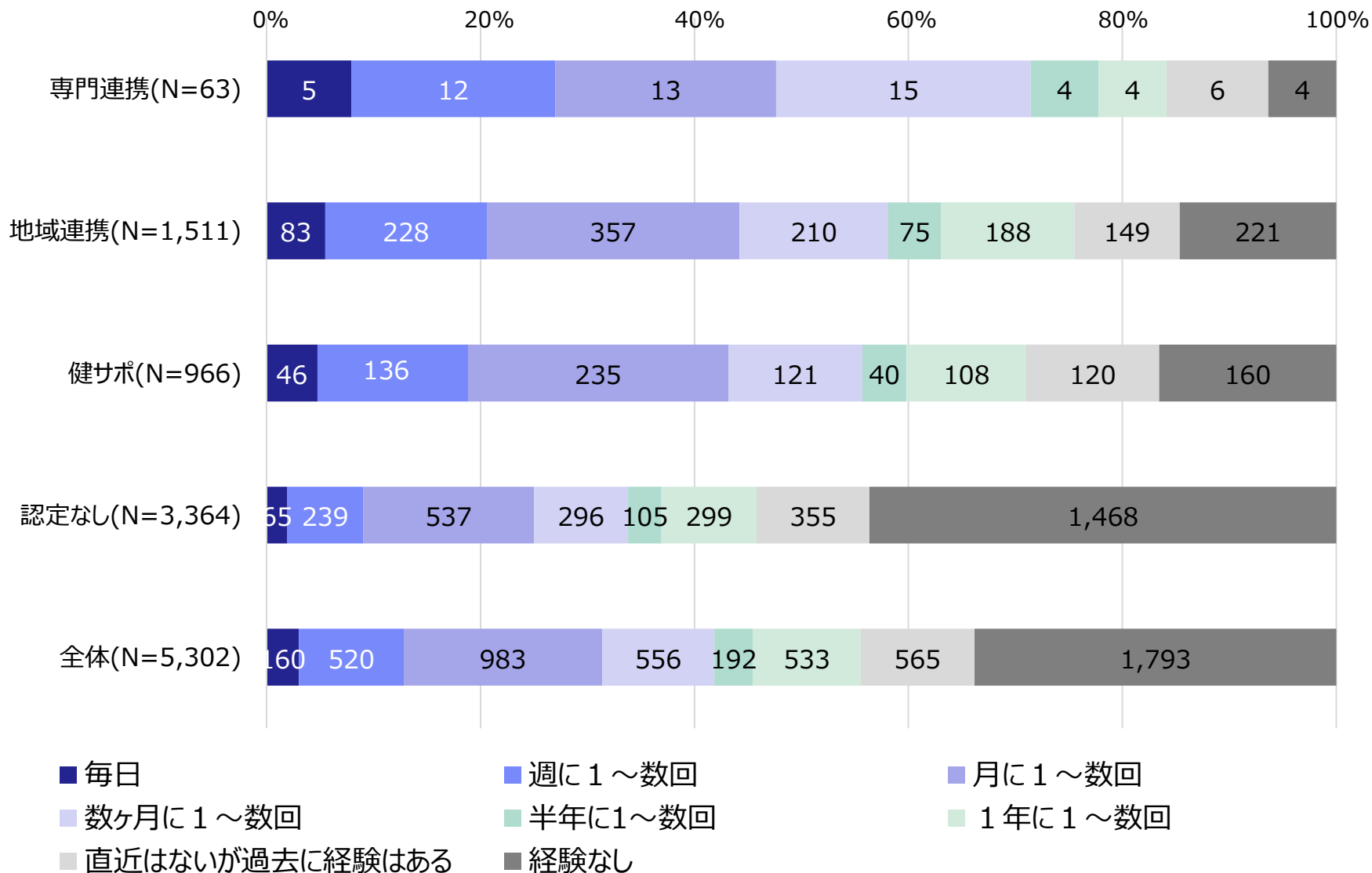
■ 実績なし

多職種連携の実態

- 医療機関の地域連携室（それに類似する部署）との連携
- 他薬局との連携
- 訪問看護ステーションとの連携
- 介護関連支援施設（地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等）との連携

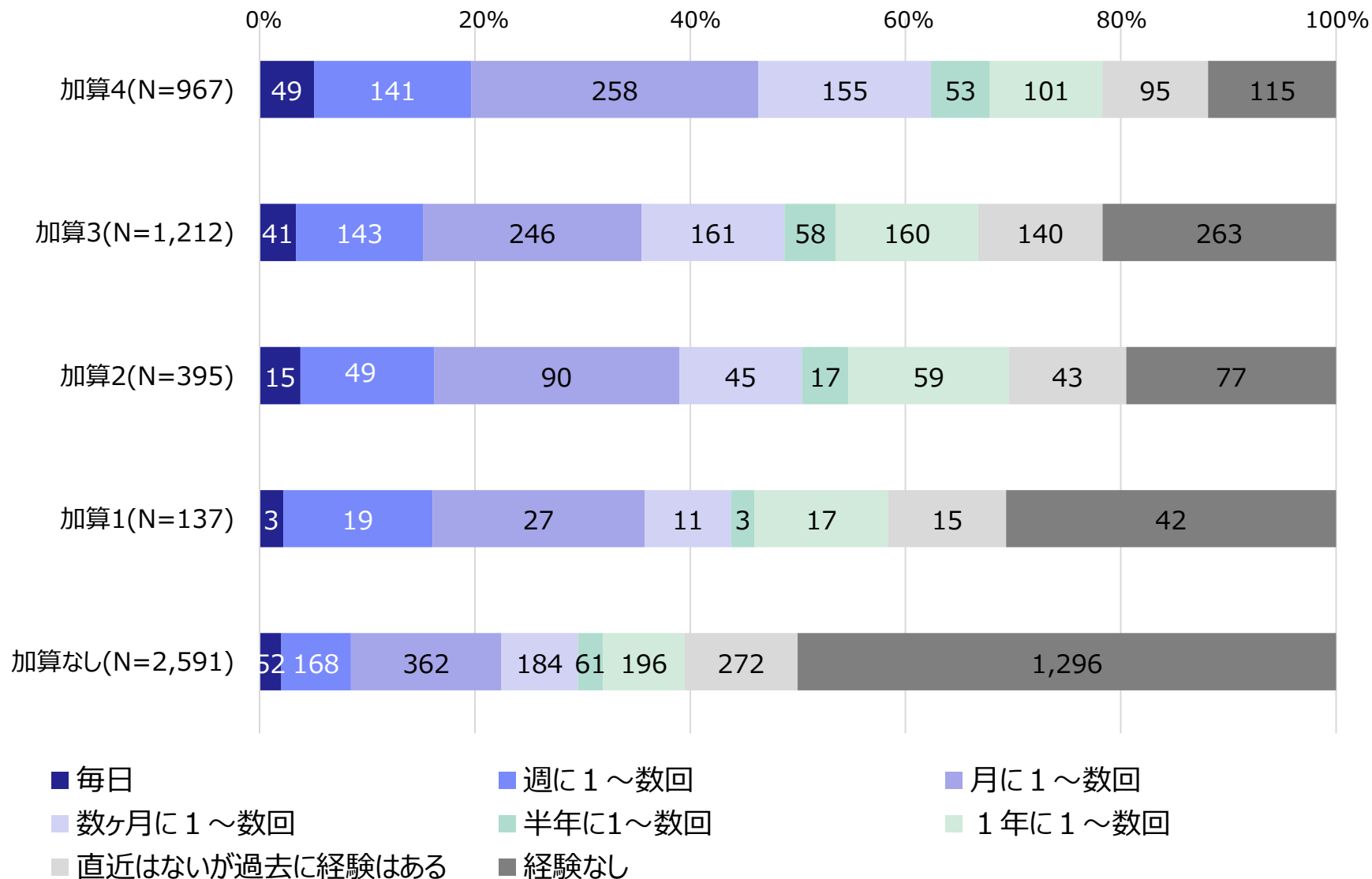
地域連携室との連携頻度① 認定別

■ 医療機関の地域連携室（それに類似する部署）との連携頻度を教えてください。



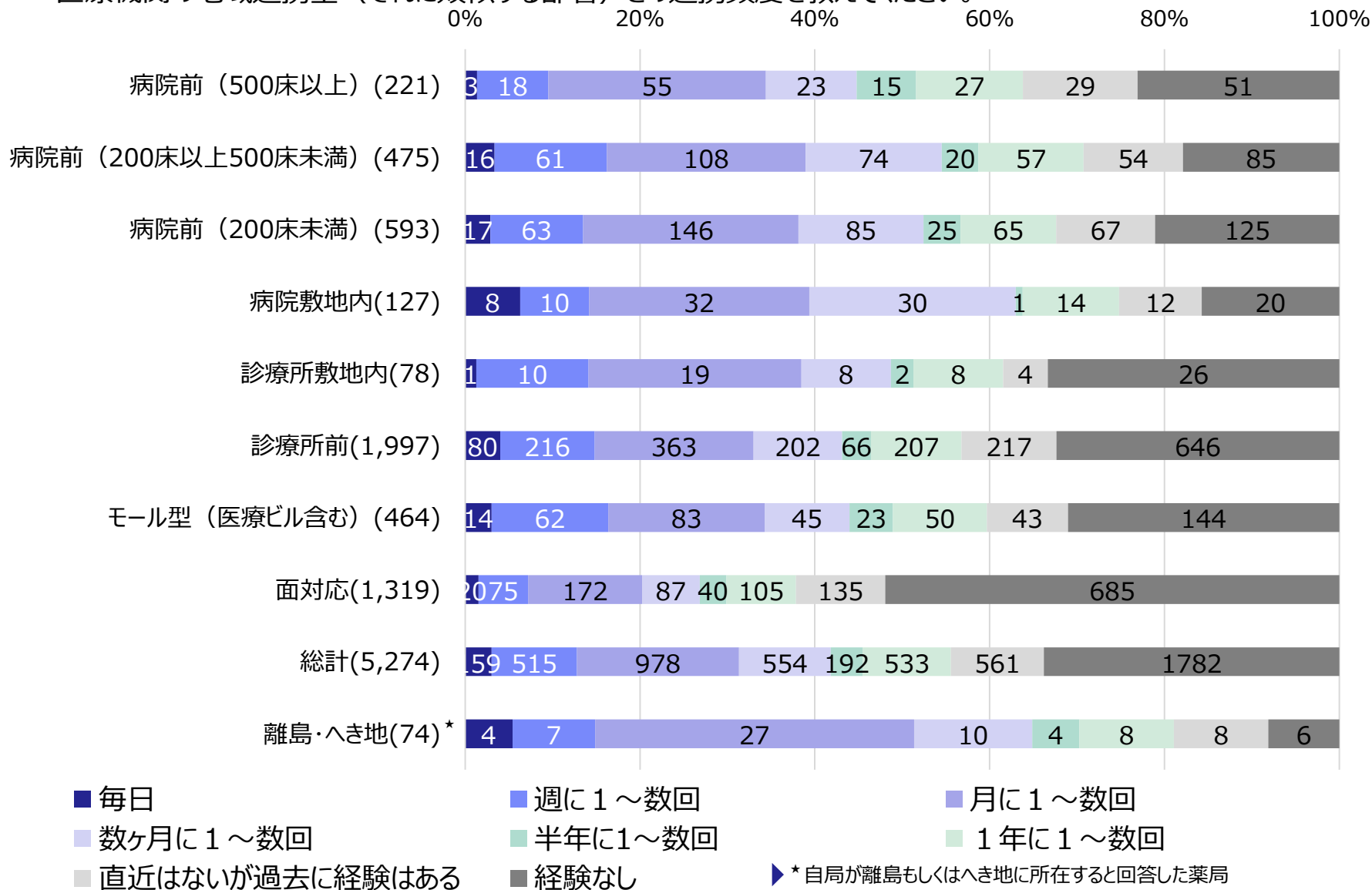
地域連携室との連携頻度② 地域支援体制加算別

■ 医療機関の地域連携室（それに類似する部署）との連携頻度を教えてください。



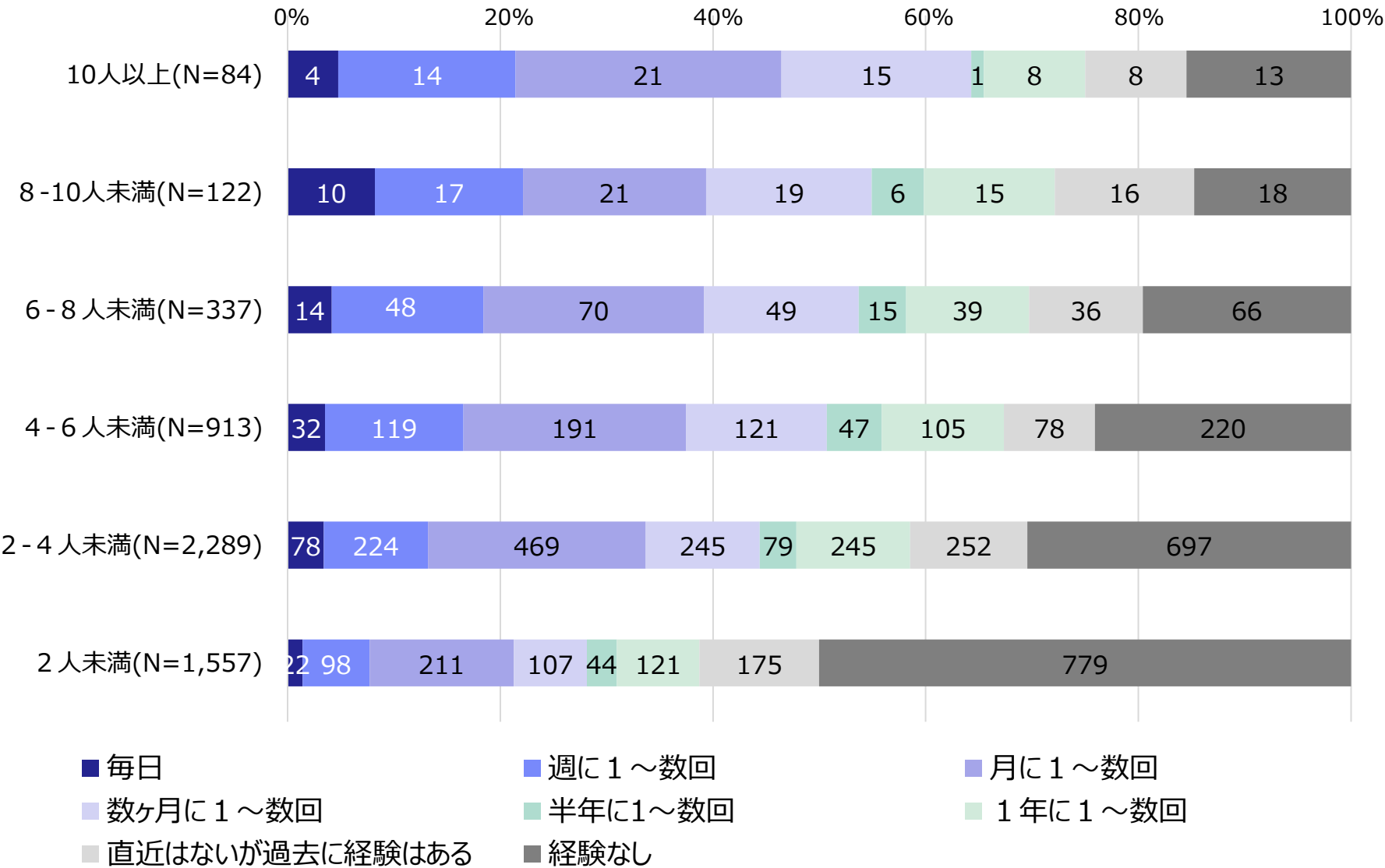
地域連携室との連携頻度③ 立地別

■ 医療機関の地域連携室（それに類似する部署）との連携頻度を教えてください。



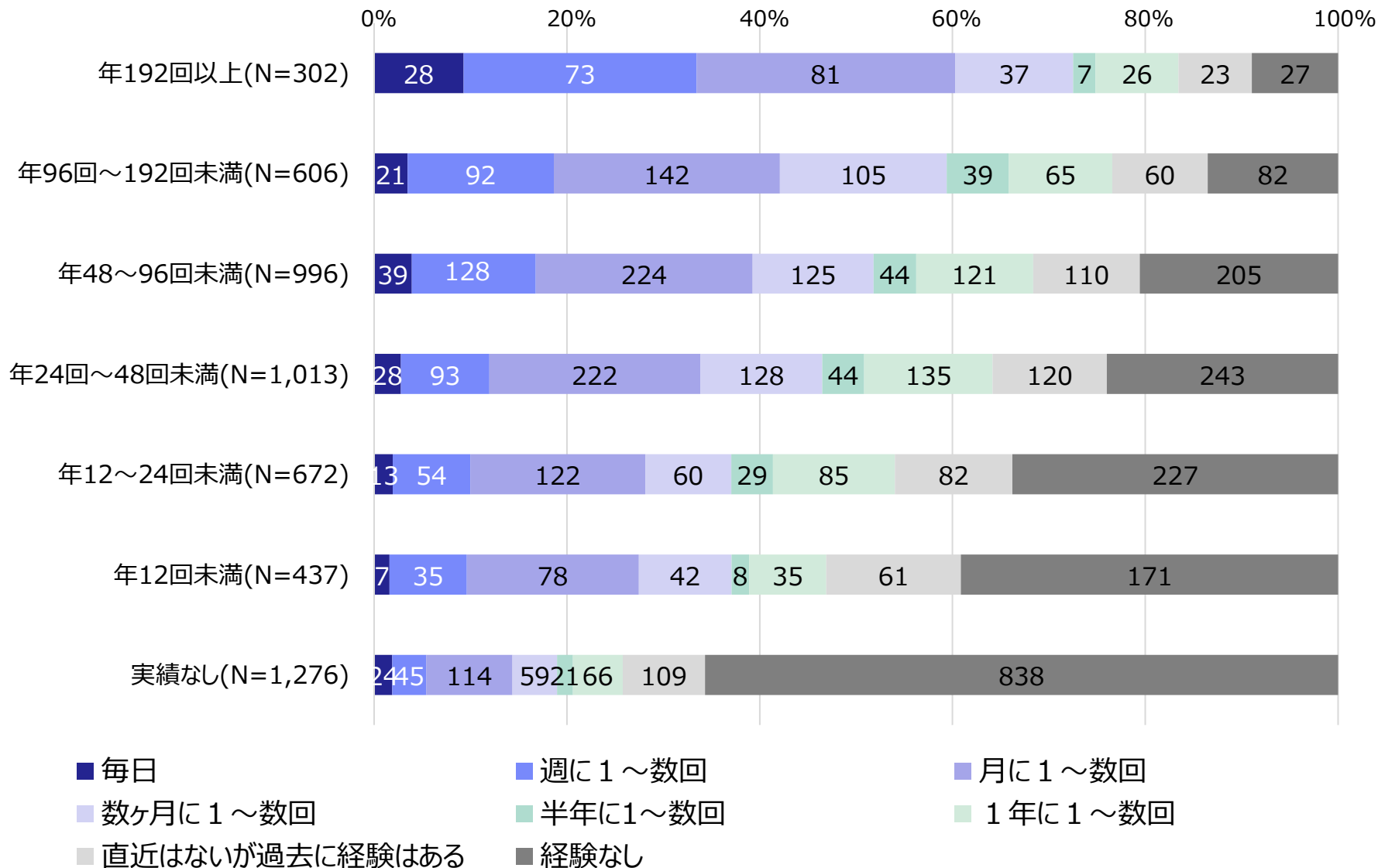
地域連携室との連携頻度④ 薬剤師人数別

■ 医療機関の地域連携室（それに類似する部署）との連携頻度を教えてください。



地域連携室との連携頻度⑤ 単一建物診療患者が一人の場合の在宅訪問回数別

■ 医療機関の地域連携室（それに類似する部署）との連携頻度を教えてください。

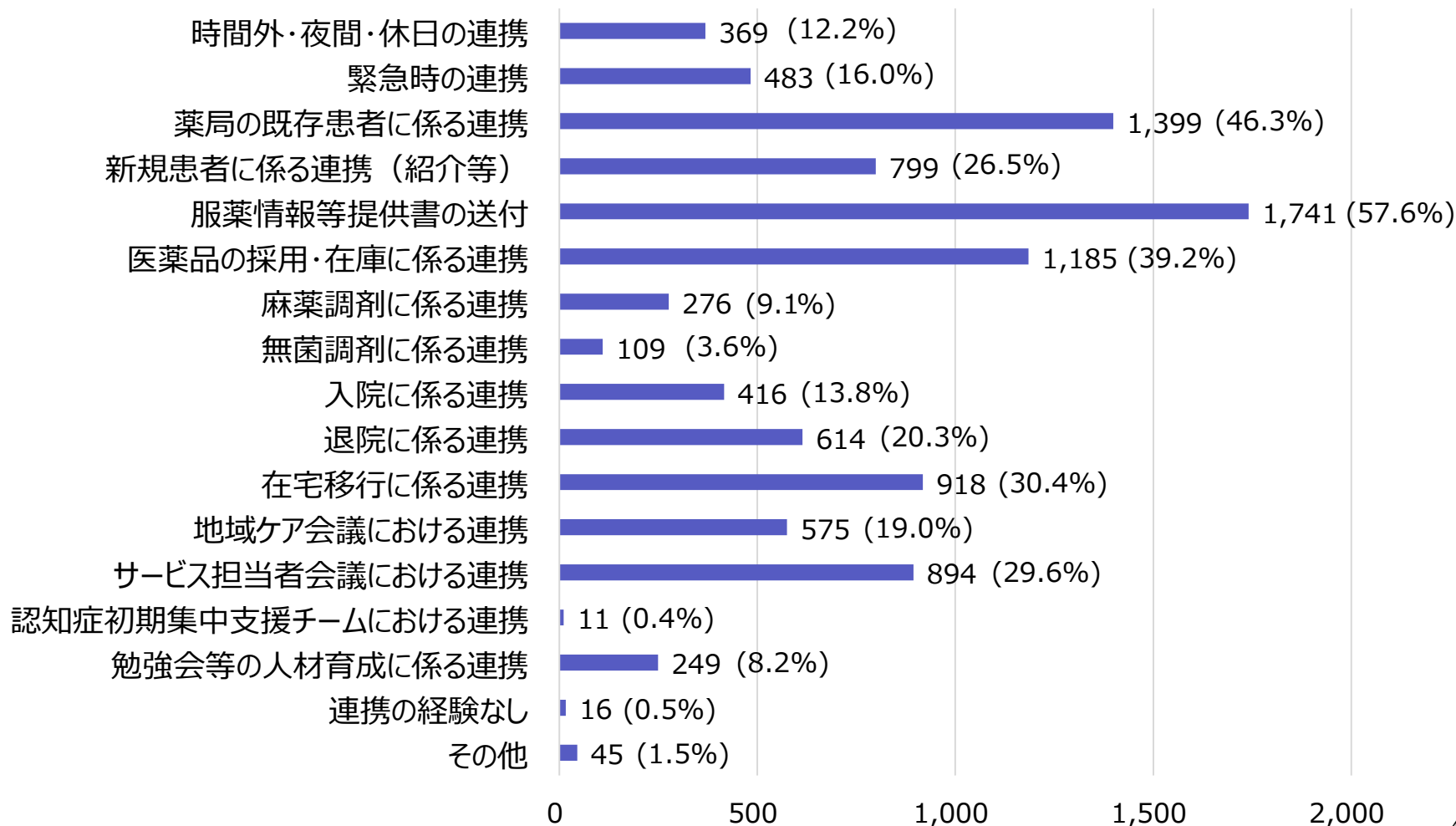


地域連携室との連携内容

医療機関の地域連携室とは「服薬情報等提供書の送付」や「既存患者に係る連携」の回答が多かったが、その他にも入退院時連携や、在宅に係る連携、緊急時の連携など、幅広い連携内容において回答が集まった。

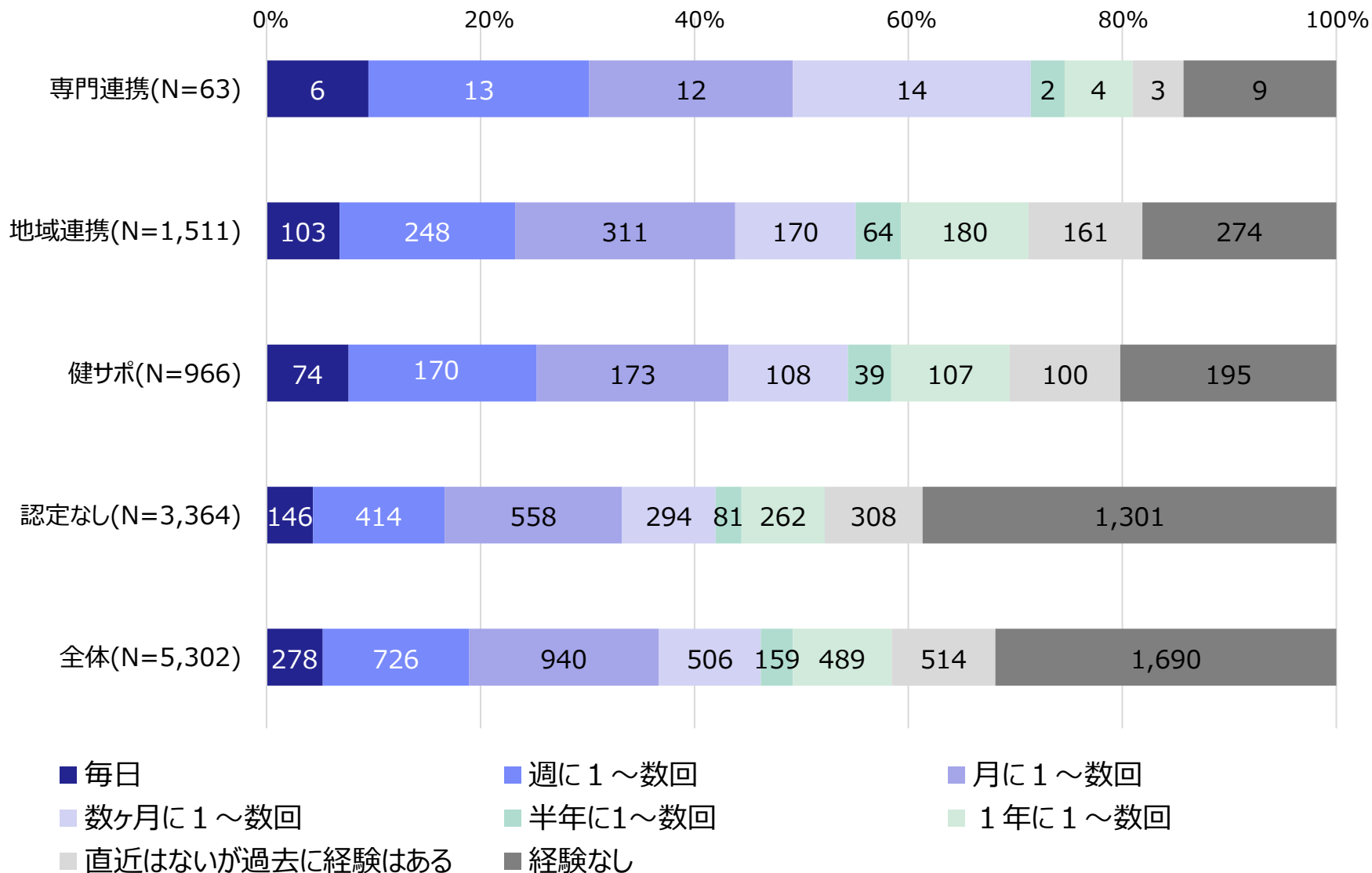
■ 医療機関の地域連携室（それに類似する部署）との連携内容（複数回答可）

（N=直近1年に連携実績あると回答した3,020薬局）



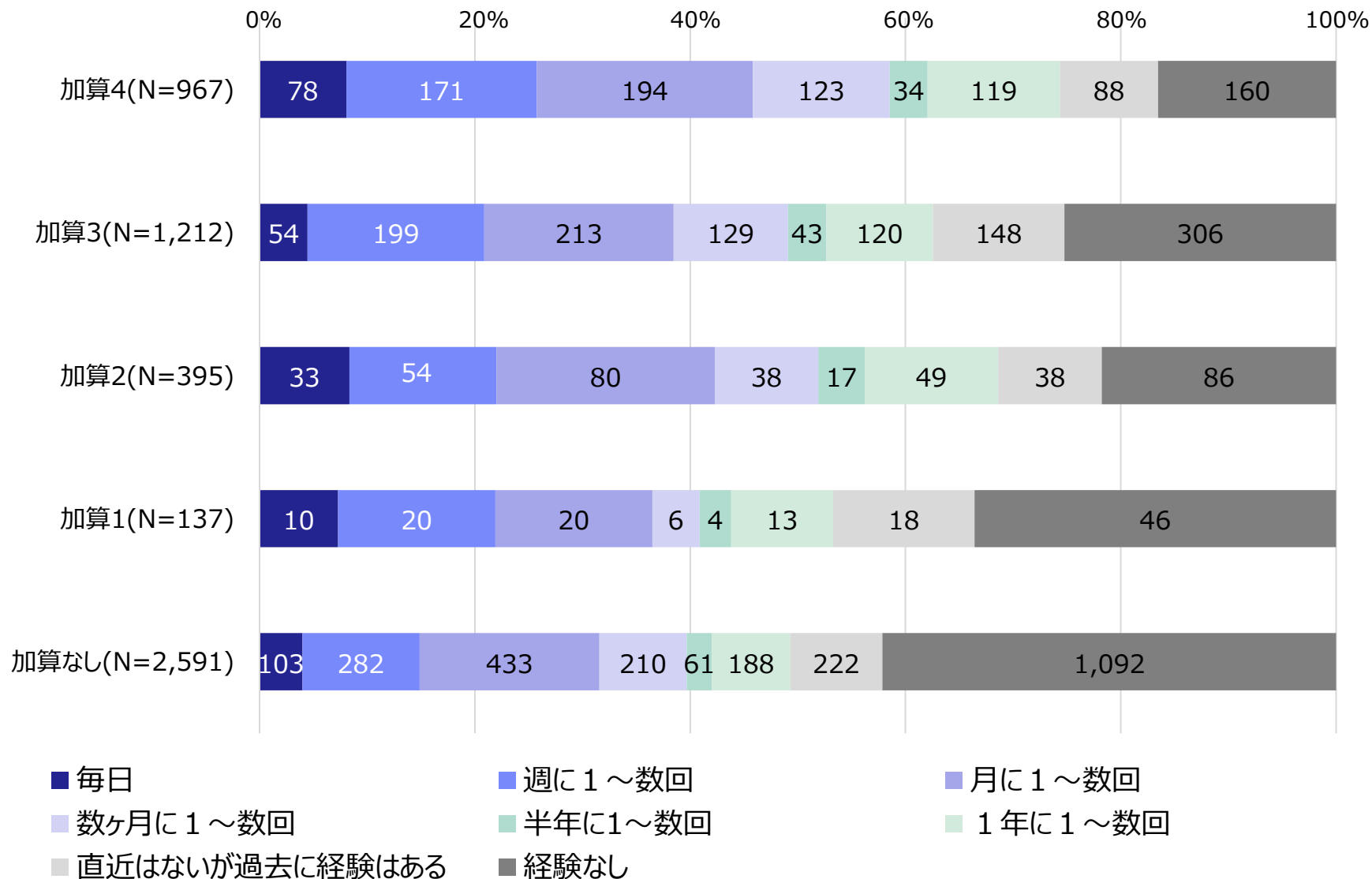
他薬局との連携頻度① 認定別

■ 他薬局との連携頻度を教えてください。



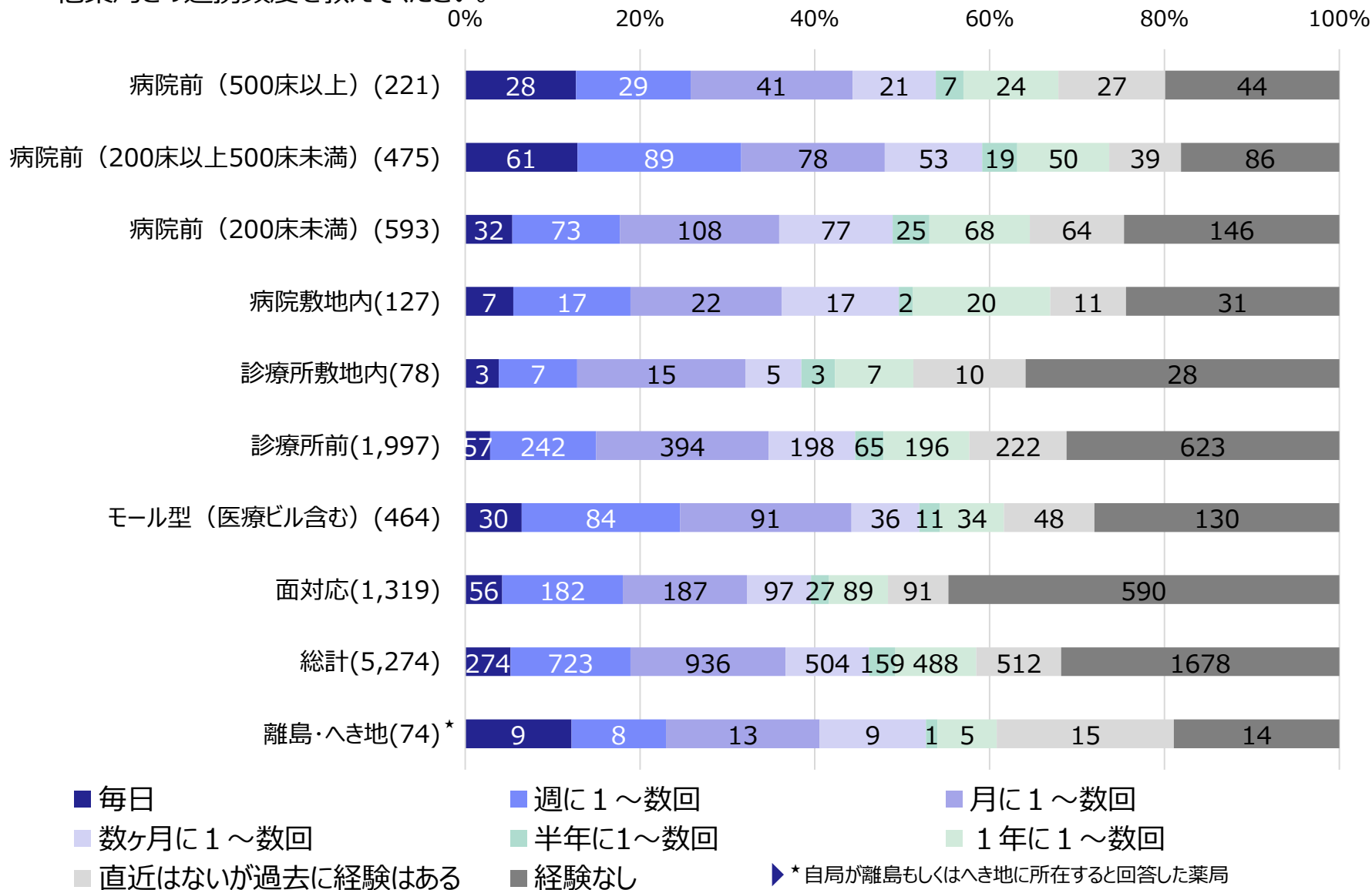
他薬局との連携頻度② 地域支援体制加算別

■ 他薬局との連携頻度を教えてください。



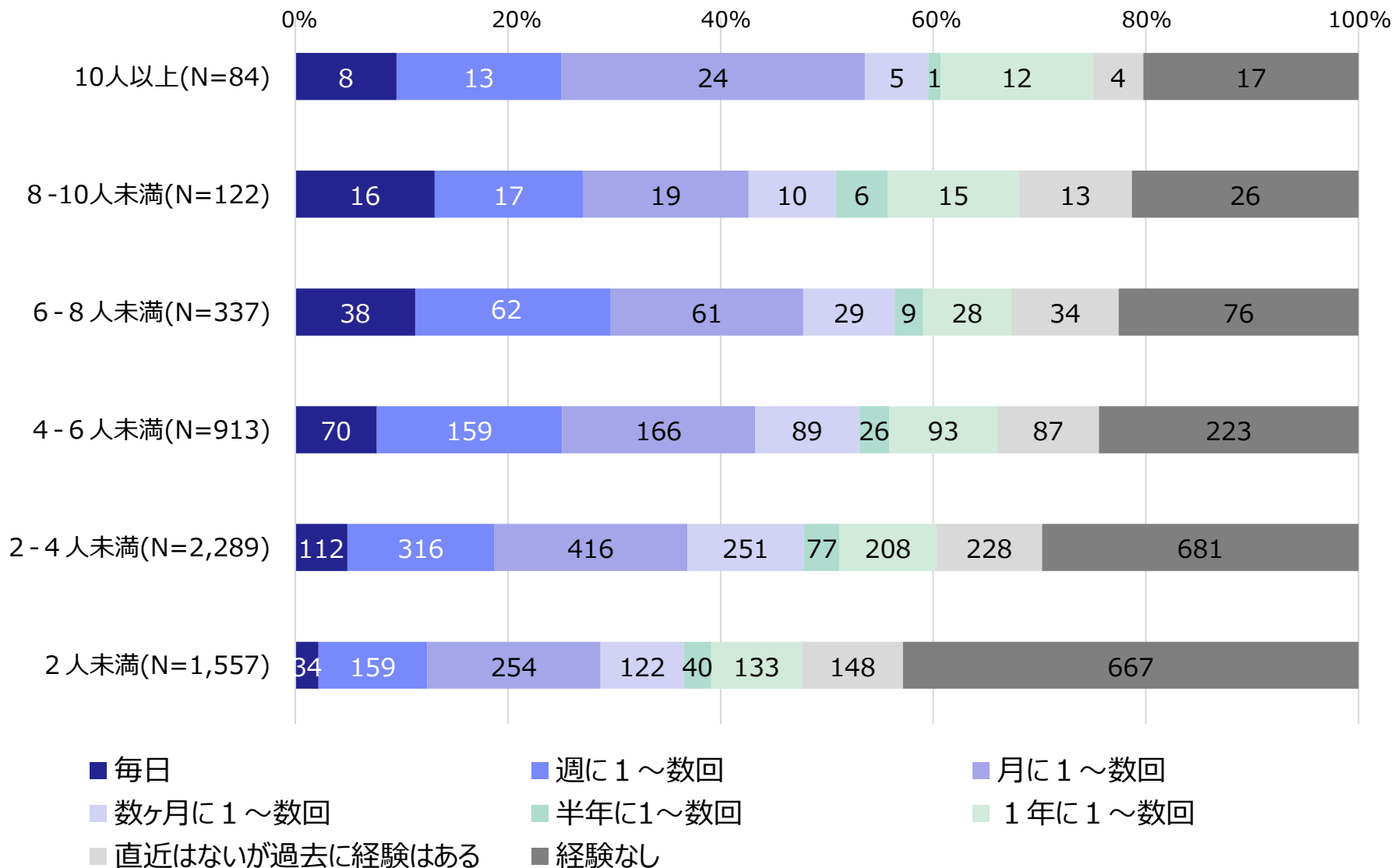
他薬局との連携頻度③ 立地別

■ 他薬局との連携頻度を教えてください。



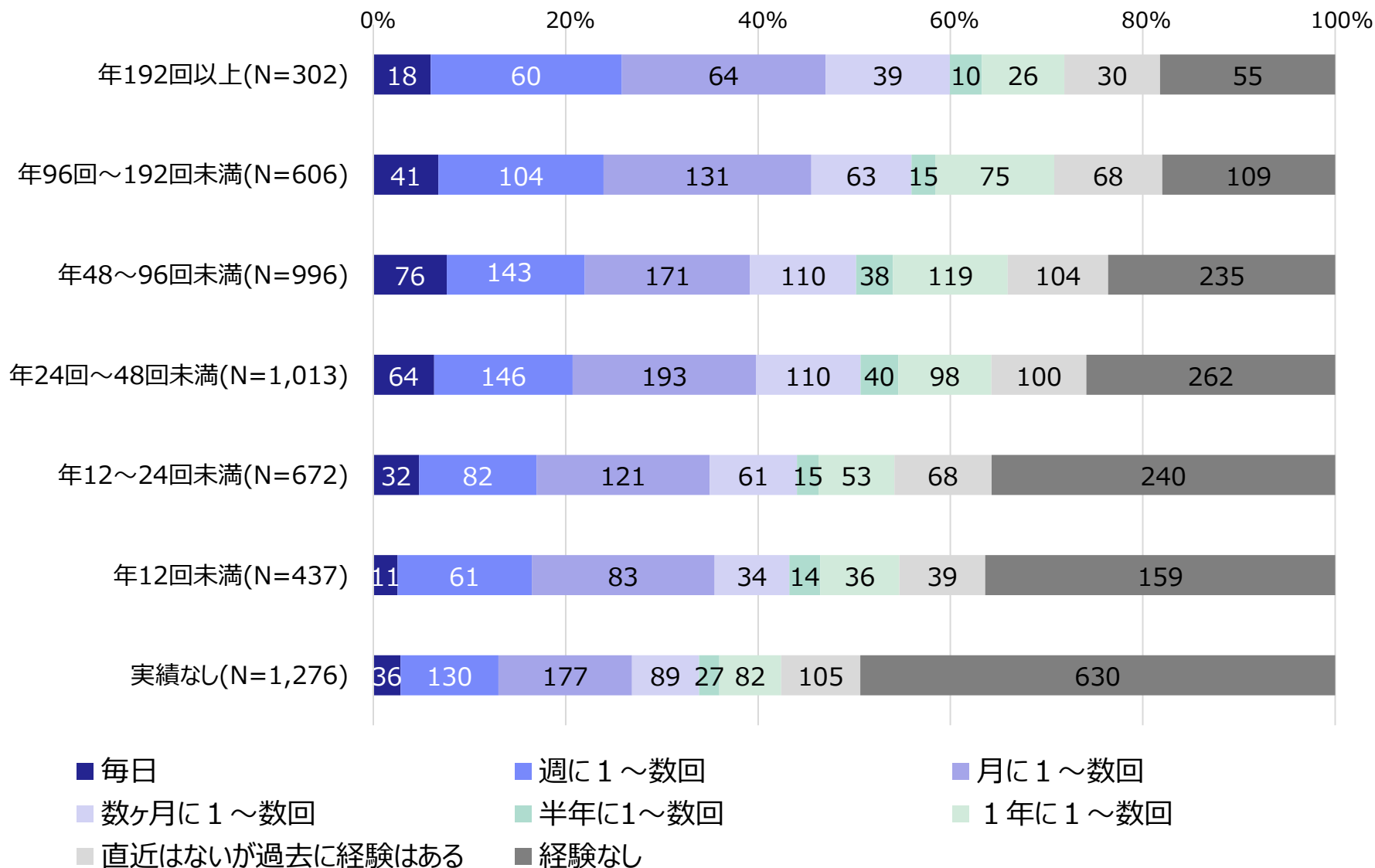
他薬局との連携頻度④ 薬剤師人数別

■ 他薬局との連携頻度を教えてください。



他薬局との連携頻度⑤ 単一建物診療患者が一人の場合の在宅訪問回数別

■ 他薬局との連携頻度を教えてください。

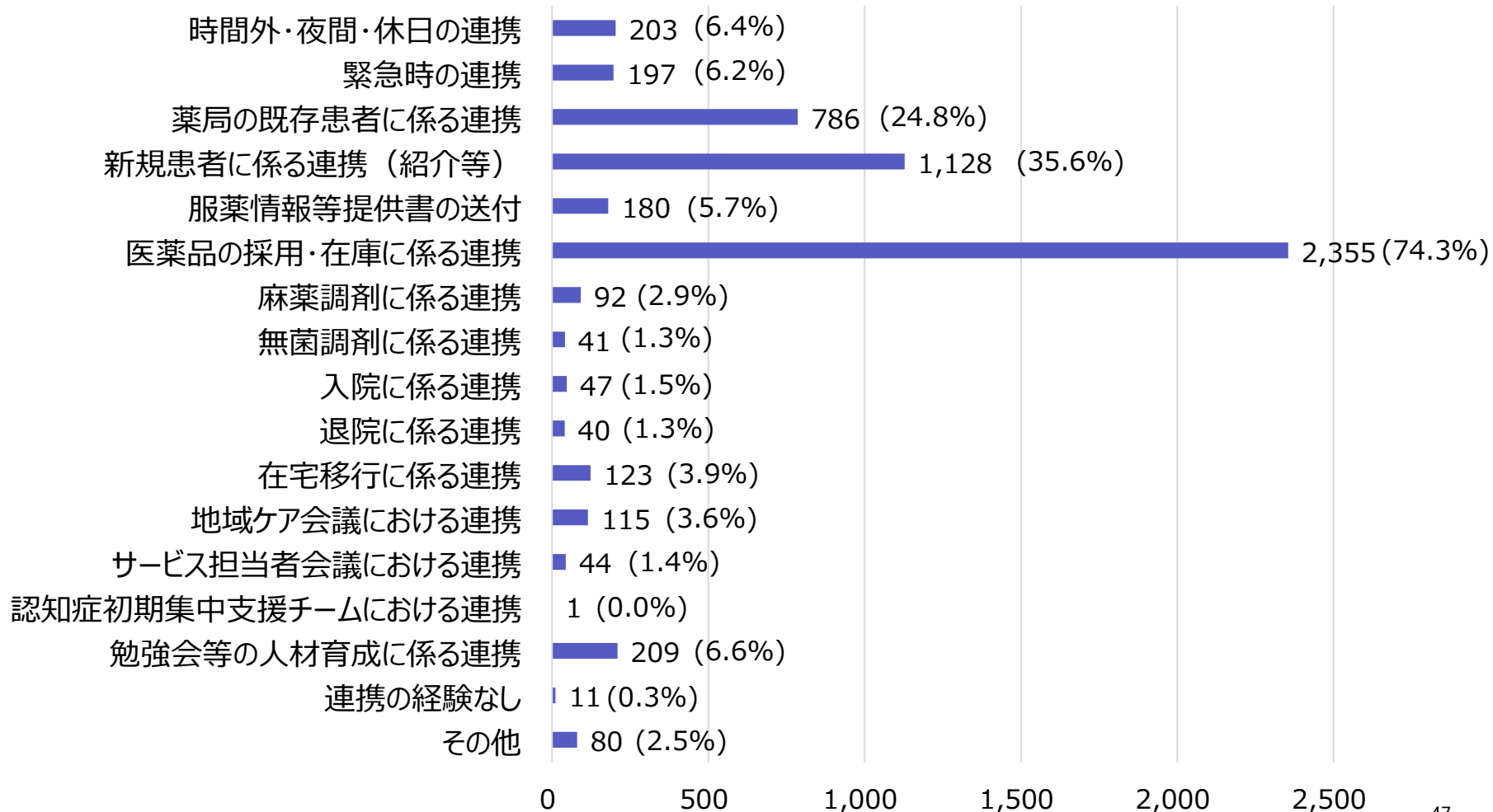


他薬局との連携内容

他薬局とは「医薬品の採用・在庫に係る連携」の回答が最も多く、次いで「新規患者に係る連携（紹介等）」の回答が多く見られた。

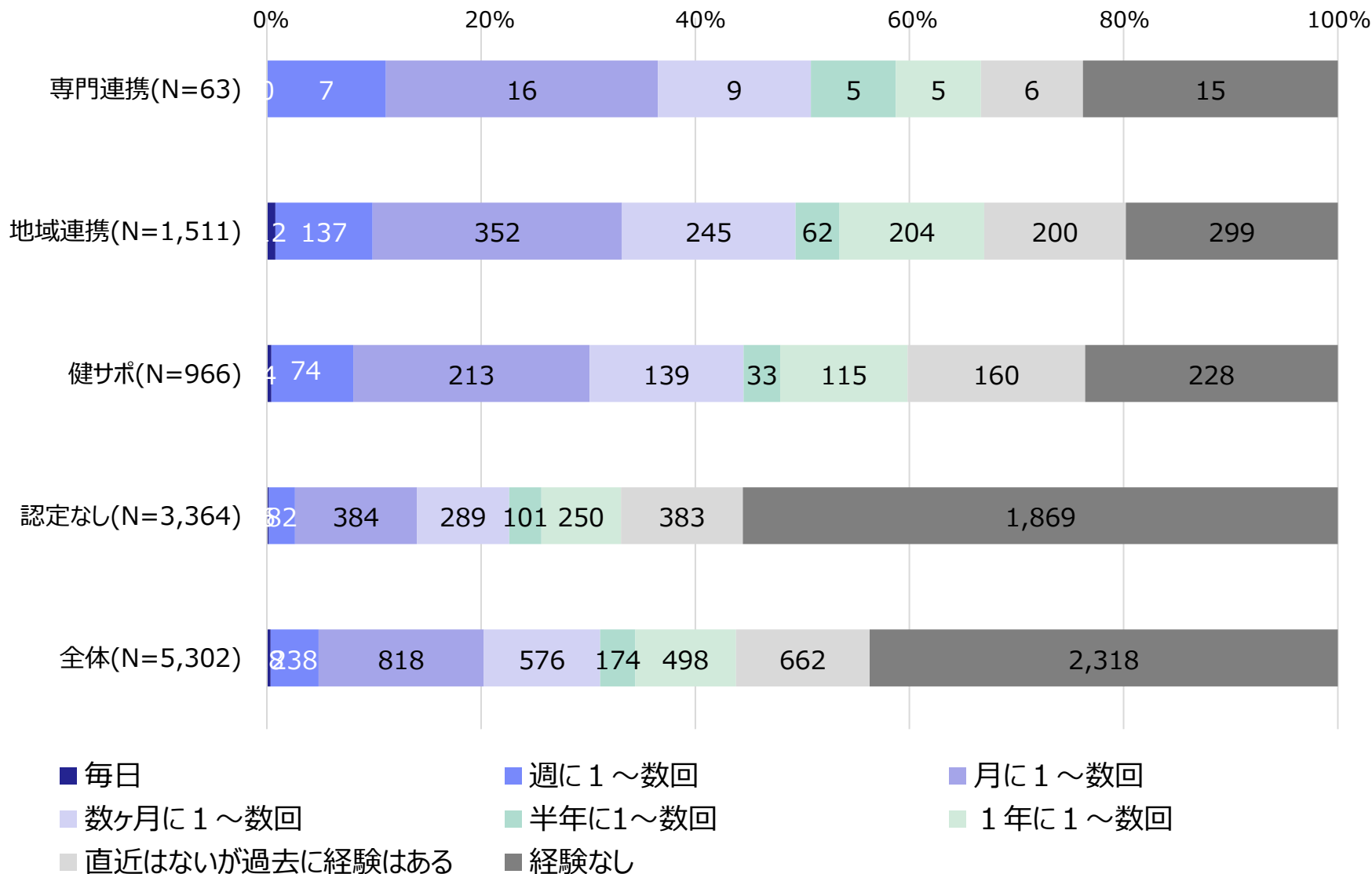
■ 他薬局との連携内容（複数回答可）

(N=直近1年に連携実績あると回答した3,168薬局)



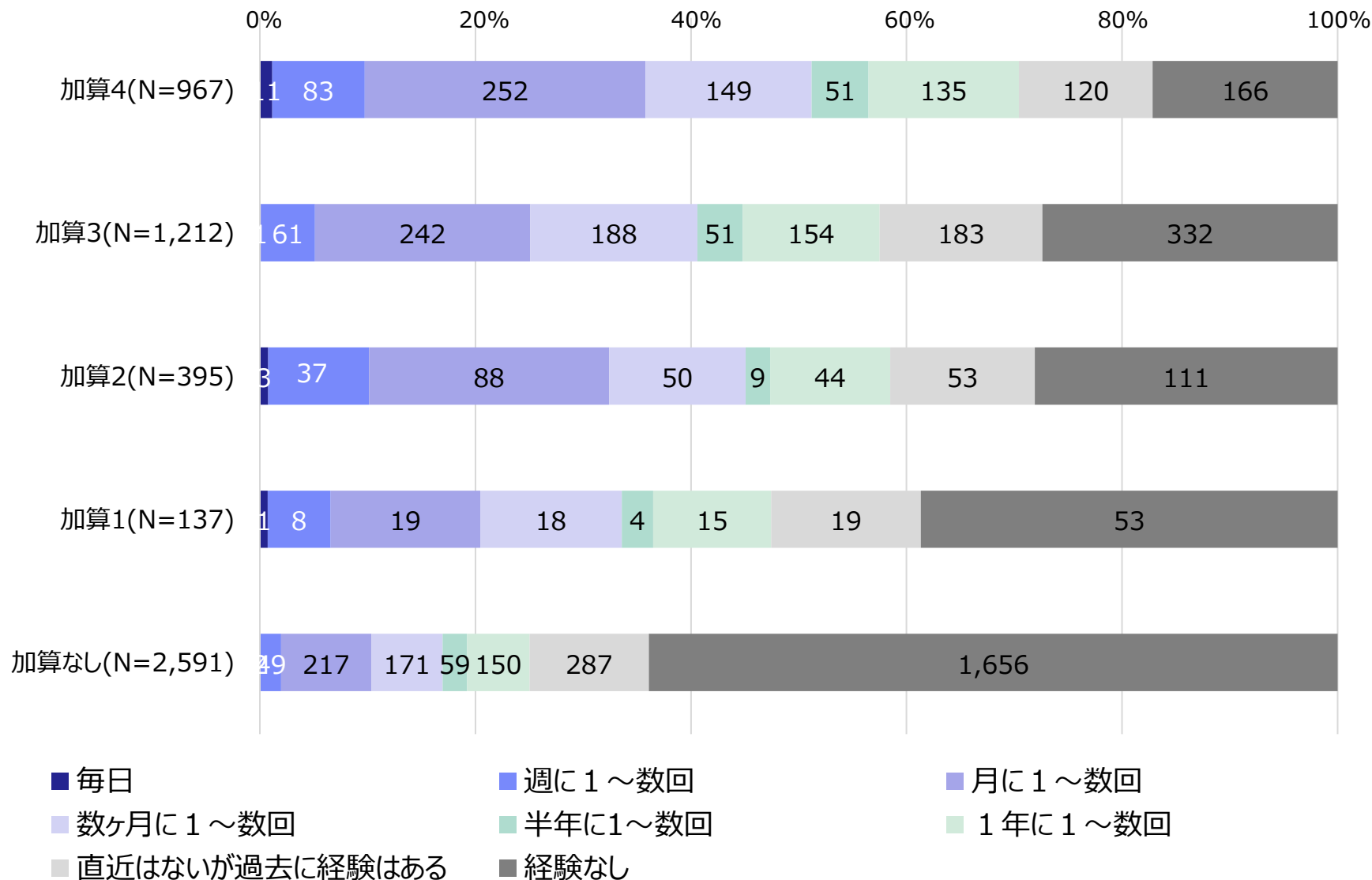
訪問看護ステーションとの連携頻度① 認定別

■ 訪問看護ステーションとの連携頻度を教えてください。



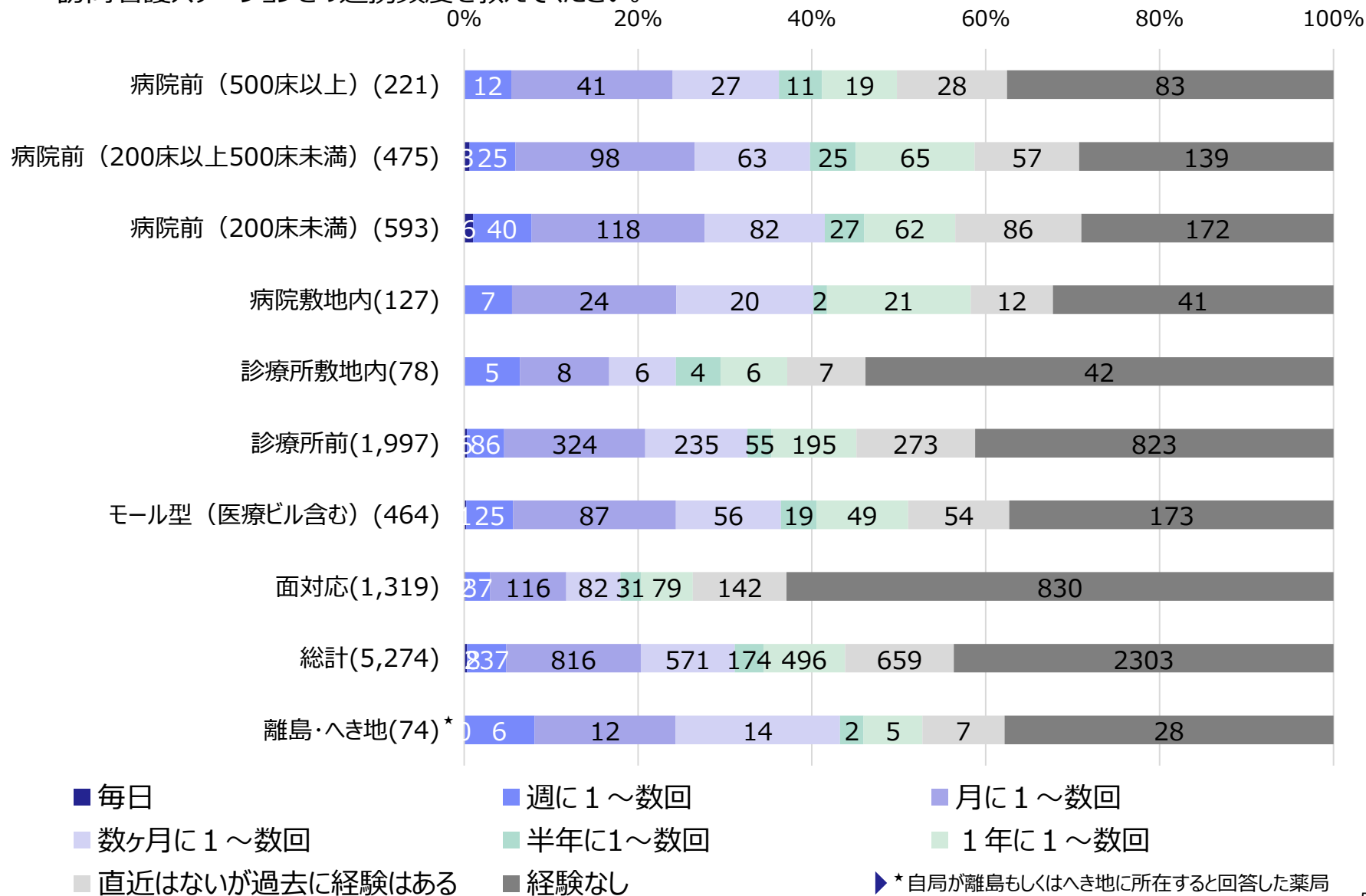
訪問看護ステーションとの連携頻度② 地域支援体制加算別

■ 訪問看護ステーションとの連携頻度を教えてください。



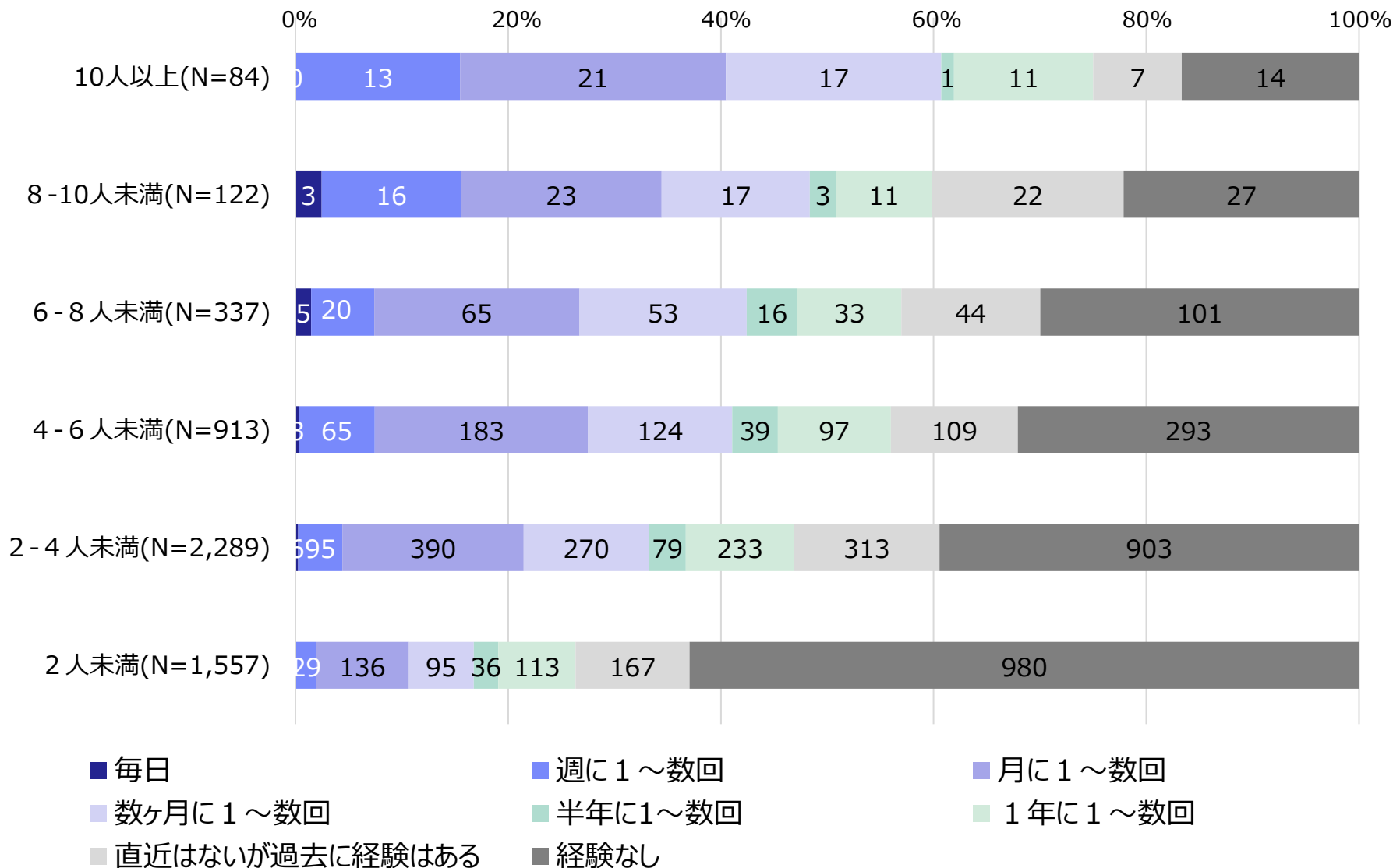
訪問看護ステーションとの連携頻度③ 立地別

■ 訪問看護ステーションとの連携頻度を教えてください。



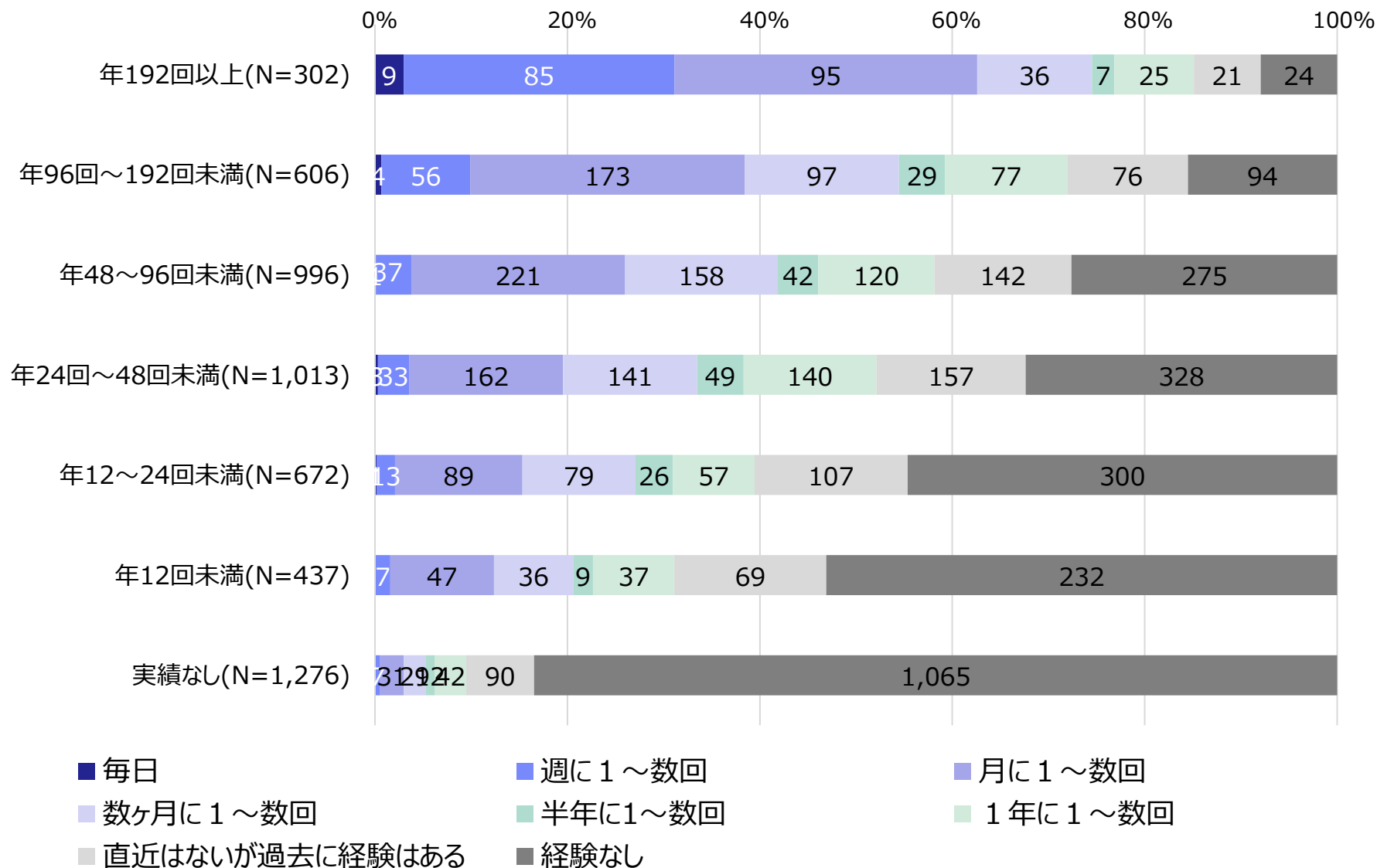
訪問看護ステーションとの連携頻度④ 薬剤師人数別

■ 訪問看護ステーションとの連携頻度を教えてください。



訪問看護ステーションとの連携頻度⑤ 単一建物診療患者が一人の場合の在宅訪問回数別

■ 訪問看護ステーションとの連携頻度を教えてください。

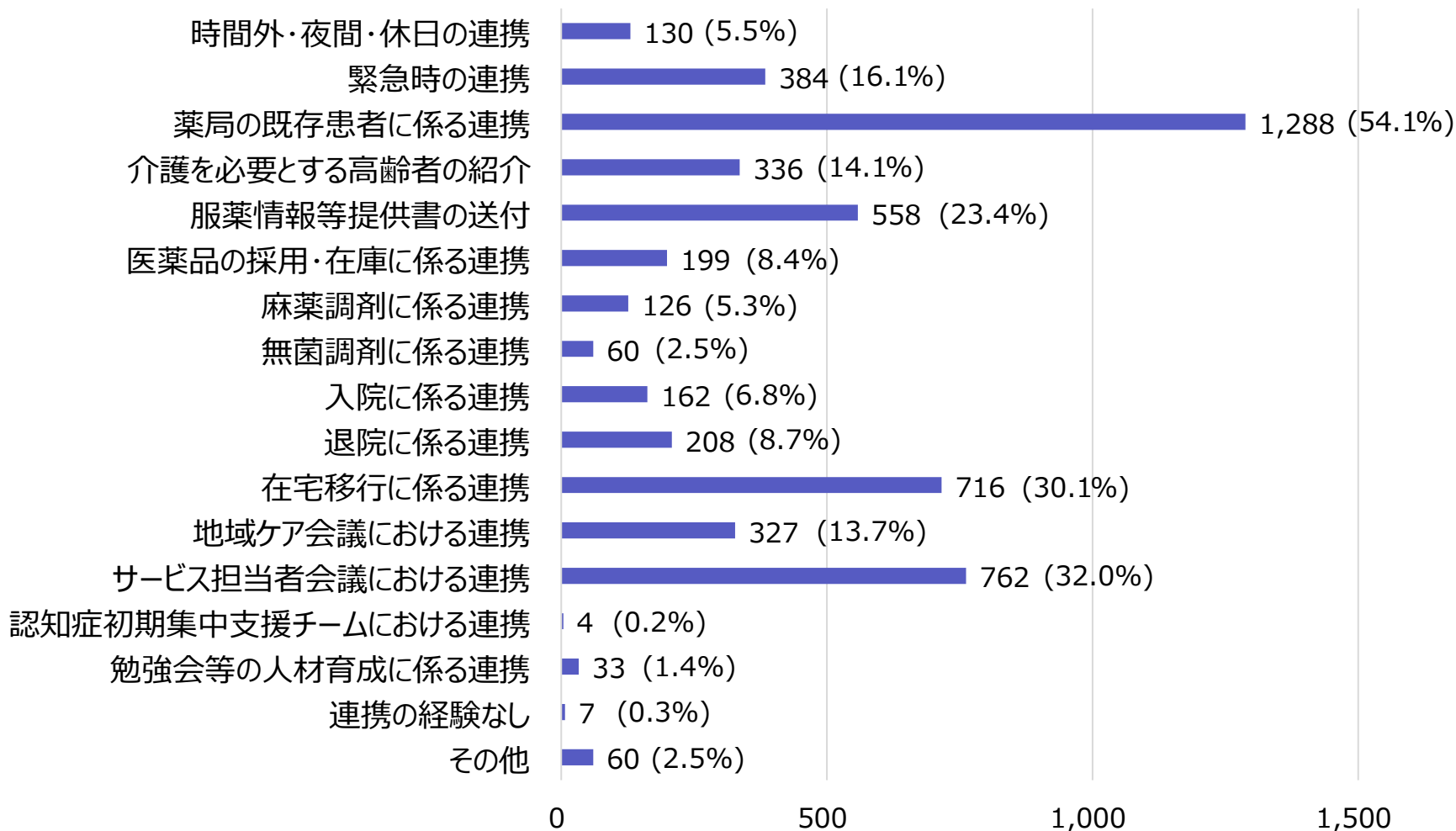


訪問看護ステーションとの連携内容

訪問看護ステーションとは「サービス担当者会議における連携」「在宅移行に係る連携」「服薬情報等提供書の送付」の回答が多く、「緊急時の連携」も一定数の回答が見られた。

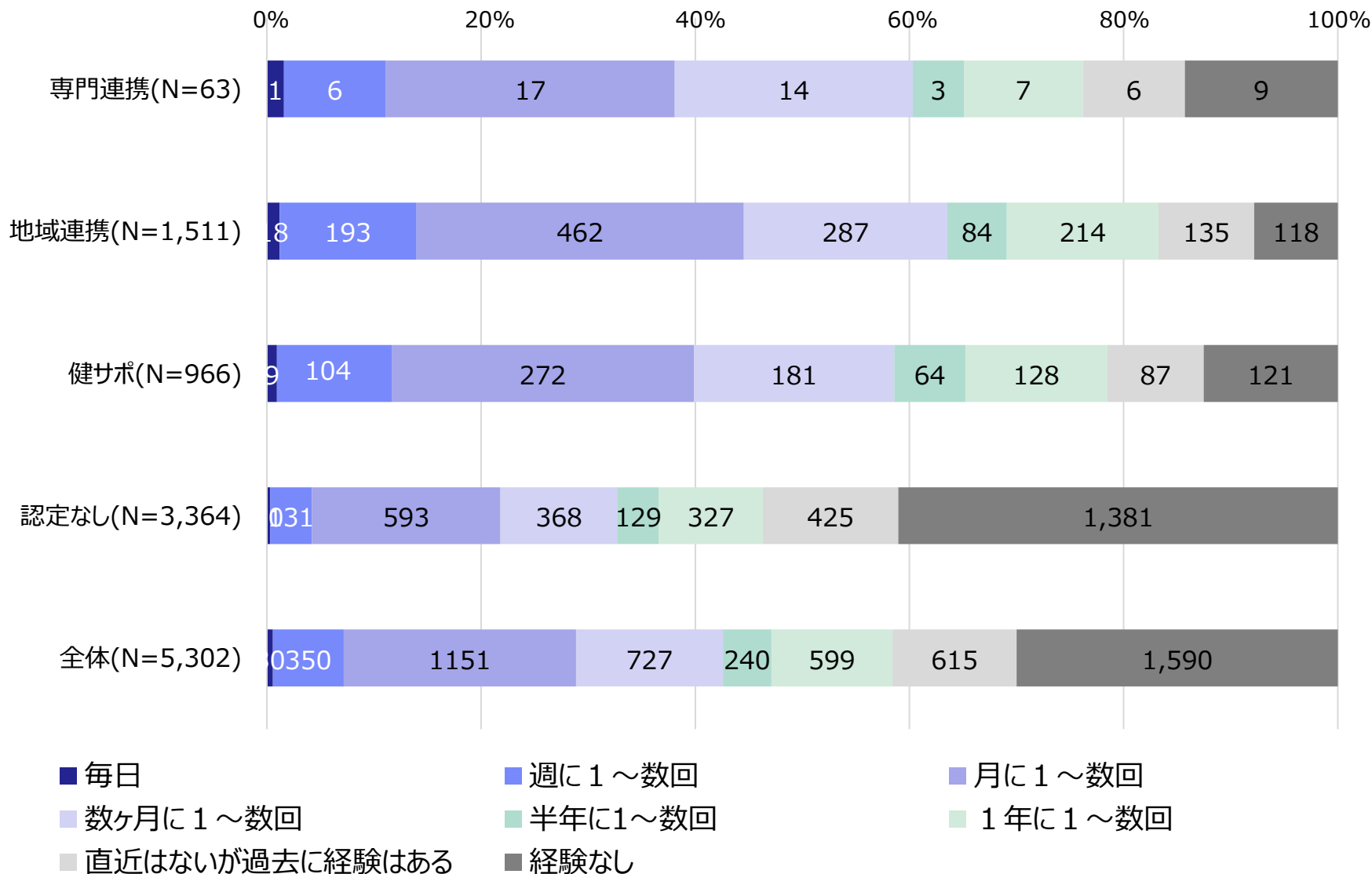
■ 訪問看護ステーションとの連携内容（複数回答可）

（N＝直近1年に連携実績あると回答した2,380薬局）



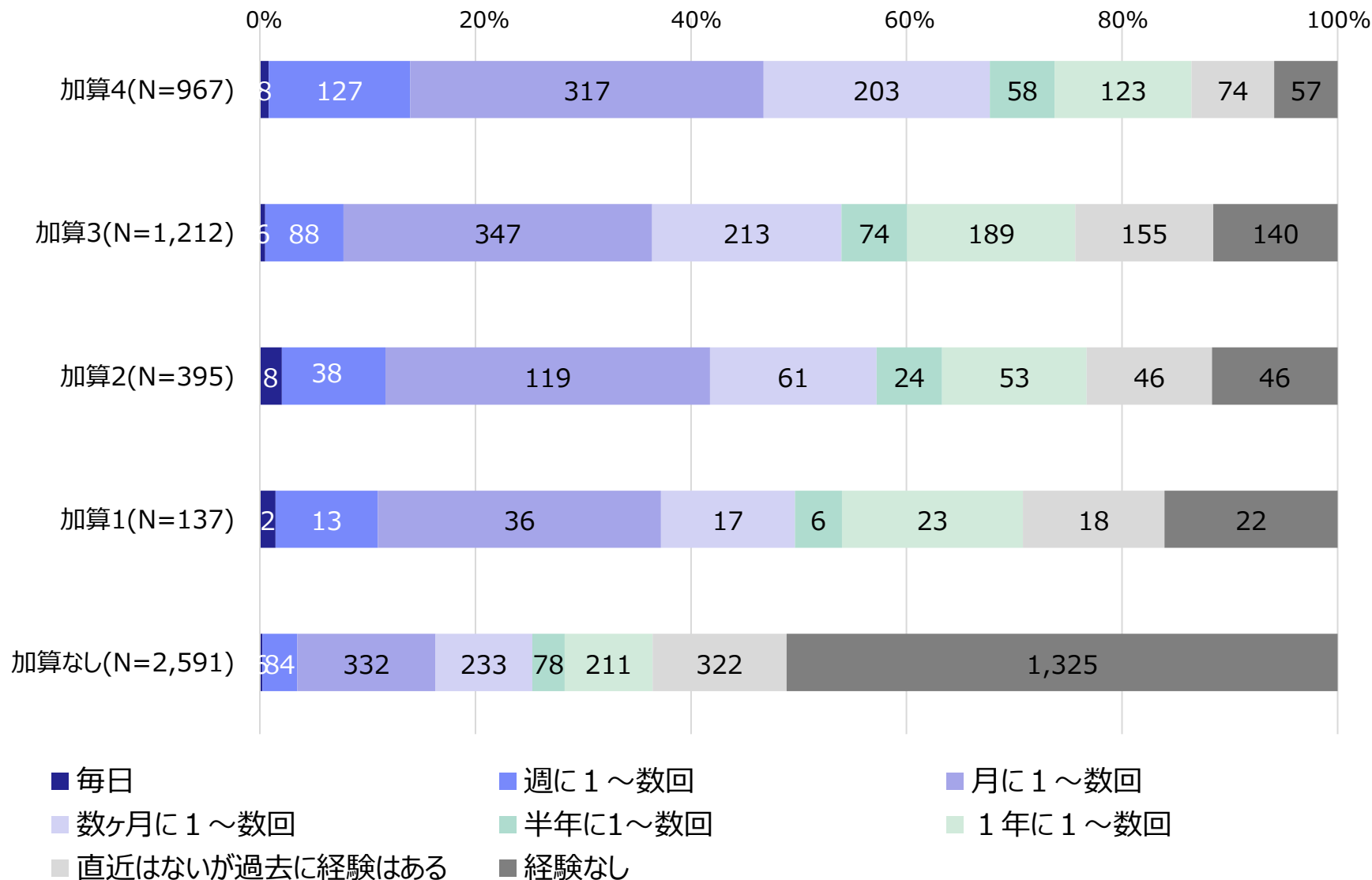
介護関連支援施設との連携頻度① 認定別

■ 介護関連支援施設（地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等）との連携頻度を教えてください。



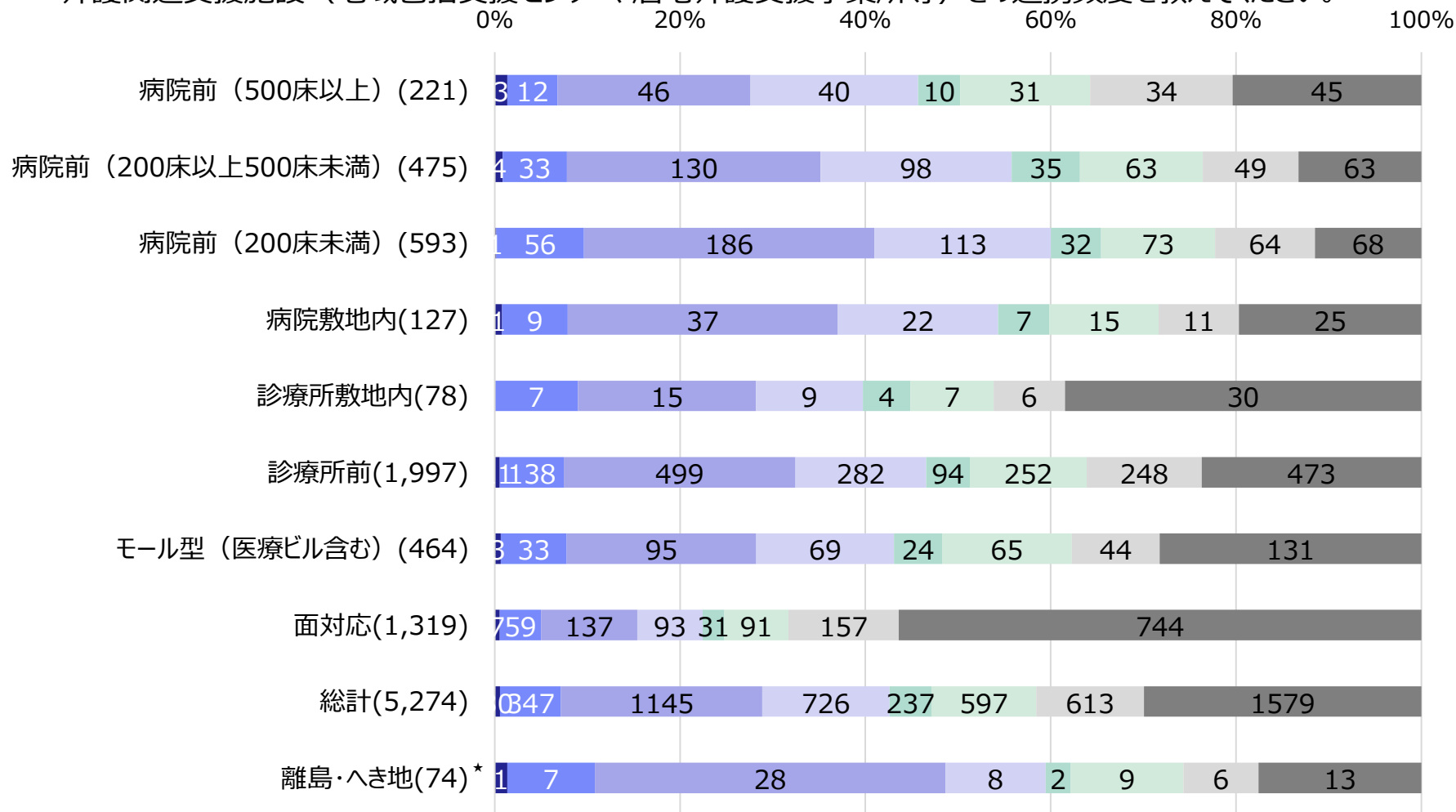
介護関連支援施設との連携頻度② 地域支援体制加算別

■ 介護関連支援施設（地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等）との連携頻度を教えてください。



介護関連支援施設との連携頻度③ 立地別

■ 介護関連支援施設（地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等）との連携頻度を教えてください。



■ 毎日

■ 数ヶ月に1～数回

■ 直近はないが過去に経験はある

■ 週に1～数回

■ 半年に1～数回

■ 経験なし

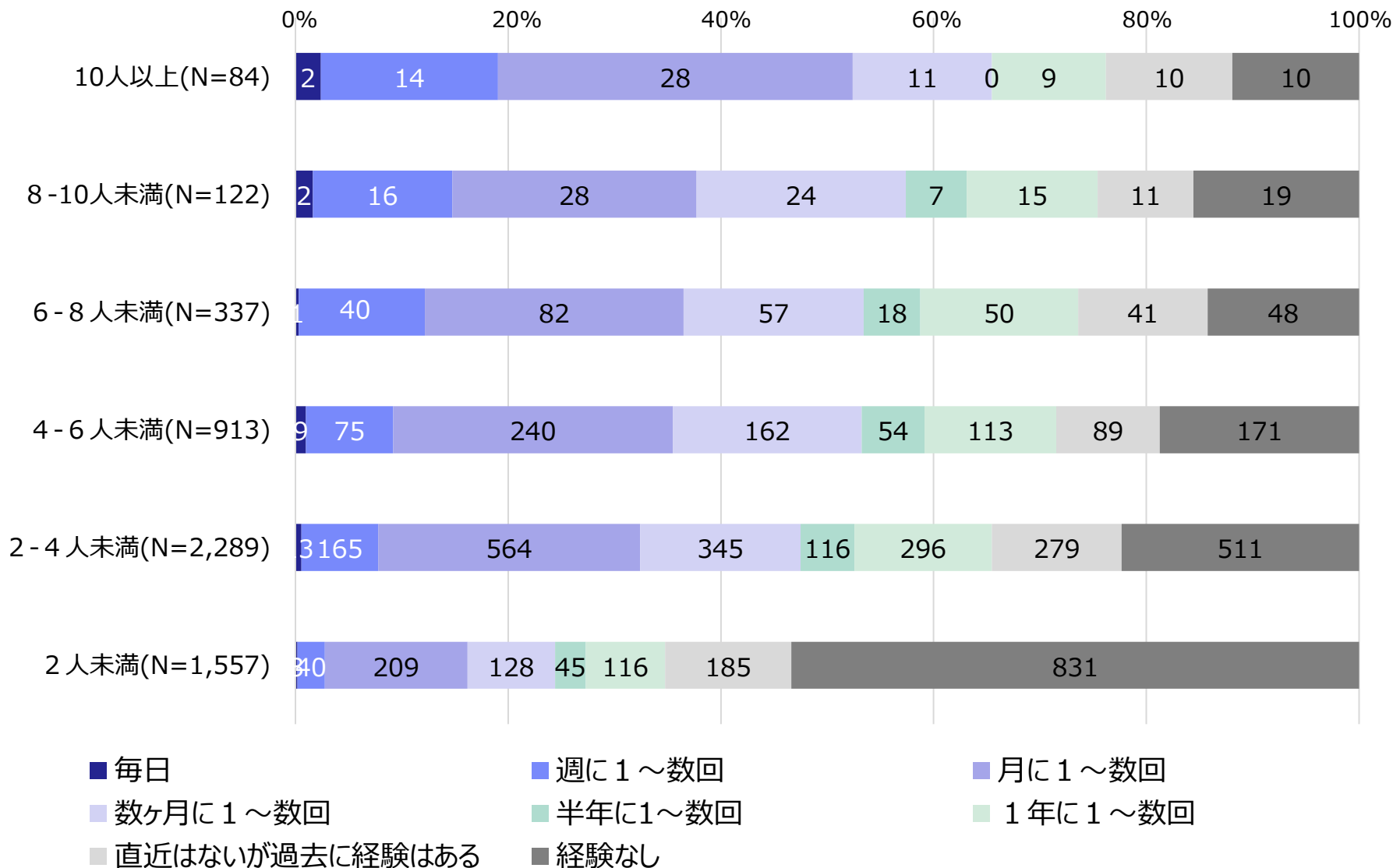
■ 月に1～数回

■ 1年に1～数回

▶ * 自局が離島もしくはへき地に所在すると回答した薬局

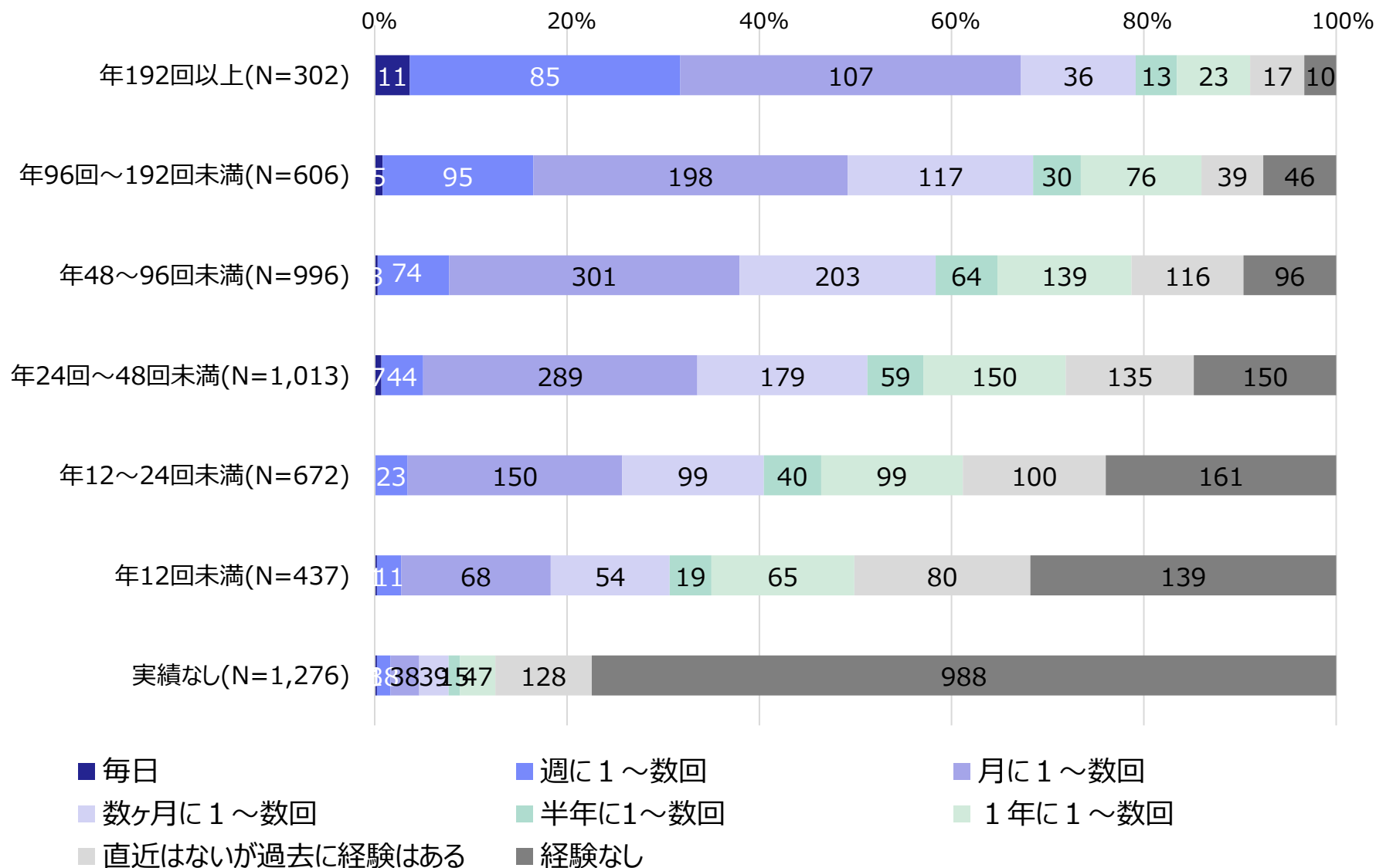
介護関連支援施設との連携頻度④ 薬剤師人数別

■ 介護関連支援施設（地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等）との連携頻度を教えてください。



介護関連支援施設との連携頻度⑤ 単一建物診療患者が一人の場合の在宅訪問回数別

■ 介護関連支援施設（地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等）との連携頻度を教えてください。

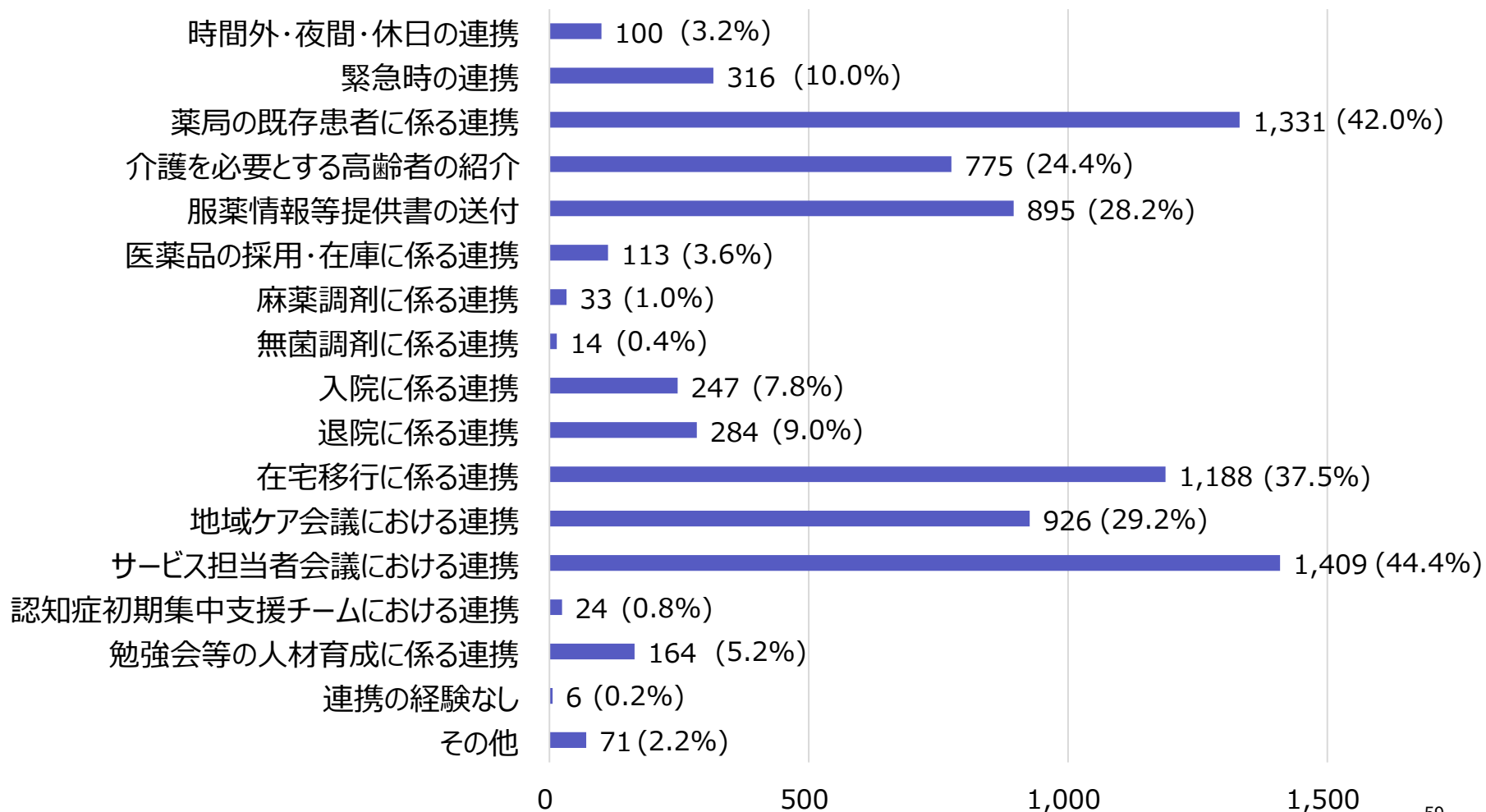


介護関連支援施設との連携内容

介護関連支援施設とは「地域ケア会議・サービス担当者会議における連携」「在宅移行に係る連携」「服薬情報等提供書の送付」「介護を必要とする高齢者の紹介」の回答が多く、シームレスな医療を支える連携実態が伺えた。

■ 介護関連支援施設（地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等）との連携内容（複数回答可）

（N=直近1年に連携実績があると回答した3,172薬局）



調査内容

調査内容

ー調査概要ー

- 目的：薬局サービス及び多職種連携の実態と課題等に関する調査研究
- 対象：1 薬局 1 回答 回答所要時間約 20 分
- 内容：
 - ・ 薬局機能等に係る実態（所在地、立地、営業時間、24 時間対応、認定有無、ICT サービス、人員体制等）：16 問
 - ・ 薬局の実績：11 問（マイナ保険証受付、電子処方箋、リフィル、オンライン服薬指導等の実績）
 - ・ 医療提供施設（病院の地域連携室、他薬局等）や介護関係施設（訪問看護ステーション、地域包括支援センター等）等との連携の実態：12 問
 - ・ 健康サポート薬局のメリットと課題等：7 問 ※健康サポート薬局のみ回答
 - ・ 面処方箋応需の実態と応需した際の課題：6 問
- 方法：会員企業窓口担当者より管轄薬局に WEB フォームをご案内ください。
WEB フォーム <https://forms.gle/xuWfqWpGQ9MfbVA6t>
- 回答期日：2023 年 12 月 18 日～2024 年 1 月 31 日
- 実施主体：一般社団法人日本保険薬局協会 薬局機能創造委員会
- 倫理審査：日本薬局学会倫理審査委員会 受付番号 23005

【アンケートポリシー】

調査に関して、WEB フォームの構築及び回答データの蓄積は、外部に委託し、当協会と受託者は秘密保持契約を締結しています。受託者は回答会社名や、回答薬局名、回答者名等、個社や個人が特定できる情報を削除し、それらが含まれていないことを確認したうえで、データが当協会事務局へ提供され分析が行われます。データ集計、分析、報告書の作成、情報発信の過程において、ご回答いただいた個社及び回答者の情報が当協会内外に漏れることはございません。また、当調査の報告書は NPhA ホームページへの公開を予定しており、その他、学会発表等の学術活動、行政や医療業界団体への情報提供等の業界活動として活用される可能性がございます。

本調査の目的及びアンケートポリシーにご賛同いただける場合にご回答をお願いいたします。回答後に回答データの削除を希望される場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。なお、ご回答いただけない場合であっても何ら不利益を被ることはございません。

【問い合わせ先】

一般社団法人 日本保険薬局協会 事務局 石井 僚
〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-12-2 朝日ビルディング 4 階
TEL：03-3243-1075 メール：ryo.ishii.jg7@ainj.co.jp

ー2023 年度冬の管理薬剤師アンケート（1 薬局 1 回答）の内容ー

※「★」は必須回答設定の設問となります。

■薬局機能及び体制についてお伺いします

★問 1. 貴店の所在する都道府県を教えてください。

01 北海道 02 青森県 03 岩手県 04 宮城県 05 秋田県 06 山形県 07 福島県 08 茨城県 09 栃木県 10 群馬県 11 埼玉県 12 千葉県 13 東京都 14 神奈川県 15 新潟県 16 富山県 17 石川県 18 福井県 19 山梨県 20 長野県 21 岐阜県 22 静岡県 23 愛知県 24 三重県 25 滋賀県 26 京都府 27 大阪府 28 兵庫県 29 奈良県 30 和歌山県 31 鳥取県 32 島根県 33 岡山県 34 広島県 35 山口県 36 徳島県 37 香川県 38 愛媛県 39 高知県 40 福岡県 41 佐賀県 42 長崎県 43 熊本県 44 大分県 45 宮崎県 46 鹿児島県 47 沖縄県

★問 2. 貴店の所在地の郵便番号を教えてください。（半角整数 ハイフンなし）例：1030027
●●●●●●●●

★問 3. 貴店の所在地は離島もしくはへき地に該当しますか？ ※へき地は調剤基本料 1 の注 1 のただし書きで「医療を提供しているが医療資源の少ない地域」に規定されている地域と捉えてください。

☐ 離島・へき地に該当する ☐ 該当しない

★問 4. 貴店の開局時期を教えてください。

☐ 開局して 1 年未満（2023 年 1 月～2023 年 12 月の開局）

☐ 開局して 1～3 年未満（2021 年 1 月～2022 年 12 月の開局）

☐ 開局して 3～5 年未満（2019 年 1 月～2020 年 12 月の開局）

☐ 開局して 5～10 年未満（2014 年 1 月～2018 年 12 月の開局）

☐ 開局して 10 年以上（2013 年 12 月以前の開局）

★問 5. 貴店の立地形態について教えてください。

・ 病院前（500 床以上） ・ 病院前（200 床以上 500 床未満） ・ 病院前（200 床未満）
・ 診療所前 ・ 病院敷地内 ・ 診療所敷地内 ・ モール型（医療ビル含む） ・ 面対応
・ その他（ ）

★問 6. 貴店が所属する薬局グループ全体の薬局数について教えてください。

・ 1 薬局 ・ 2～5 薬局 ・ 6～19 薬局 ・ 20～99 薬局 ・ 100～299 薬局 ・ 300 薬局以上

★問 7. 営業時間について教えてください。

① 「平日 1 日 8 時間以上開局かつ土日いずれかの開局かつ週 45 時間以上開局」を満たしていない。

② 「平日 1 日 8 時間以上開局かつ土日いずれかの開局かつ週 45 時間以上開局」を満たし

調査内容

ている。

- ③ ②を満たし、かつ、年中無休である
- ④ ②を満たし、かつ、24時間営業である
- ⑤ ②を満たし、かつ、年中無休かつ24時間営業である

★問8. 24時間調剤・在宅対応体制（地域支援体制加算の施設基準）の有無を教えてください。

- ・自薬局にて体制あり
- ・同じ薬局グループの近隣薬局との連携にて体制あり
- ・他薬局グループの近隣薬局との連携にて体制あり
- ・体制なし

★問9. 認定取得や届出について教えてください（複数回答可）

- ・地域連携薬局
- ・専門医療機関連携薬局
- ・健康サポート薬局
- ・なし

★問10. 貴店は無菌製剤処理設備を有していますか？（複数選択可）

- ・無菌調剤室（クリーンルーム）
- ・クリーンベンチ
- ・安全キャビネット
- ・他薬局との無菌調剤室の共同利用契約あり（貸し出す側）
- ・他薬局との無菌調剤室の共同利用契約あり（借りる側）
- ・なし

★問11. 貴店のICTを活用したサービスを教えてください。（複数選択可）

- ☐ 電子処方箋受付体制
- ☐ 電子版お薬手帳
- ☐ 患者とのチャット機能があるサービス
- ☐ 処方箋画像送信機能があるサービス
- ☐ オンライン服薬指導機能（音声のみは除く）があるサービス
- ☐ オンライン診療とオンライン服薬指導とが連動されたサービス（Pharms,curon,SOKUYAKU等）
- ☐ その他（ ）

問12. 2023年11月時点の貴店の人員体制について教えてください。（※常勤換算）

※1週間の勤務時間のすべてを勤務する者の数。32時間未満の者は32時間で除した数とする。

★問12-1. 薬剤師の配属人員

- ・1人未満
- ・1人-2人未満
- ・2人-3人未満
- ・3人-4人未満
- ・4人-5人未満
- ・5人-6人未満
- ・6人-7人未満
- ・7人-8人未満
- ・8人-9人未満
- ・9人-10人未満
- ・10人-12人未満
- ・12人-14人未満
- ・14人-16人未満
- ・16人-18人未満

- ・18人-20人未満
- ・20人以上

★問12-2. かかりつけ薬剤師の要件を満たしている薬剤師の在籍数

- ・0人
- ・1人
- ・2人
- ・3人
- ・4人
- ・5人
- ・6人
- ・7人
- ・8人
- ・9人
- ・10人
- ・11人以上

★問12-3. 直近3カ月（2023年9月～11月）においてかかりつけ薬剤師指導料の実績がある薬剤師の在籍数

- ・0人
- ・1人
- ・2人
- ・3人
- ・4人
- ・5人
- ・6人
- ・7人
- ・8人
- ・9人
- ・10人
- ・11人以上

★問12-4. 直近3カ月（2023年9月～11月）において在宅訪問薬剤管理の実績がある薬剤師の在籍数

- ・0人
- ・1人
- ・2人
- ・3人
- ・4人
- ・5人
- ・6人
- ・7人
- ・8人
- ・9人
- ・10人
- ・11人以上

★問12-5. 健康サポート薬局研修を修了、かつ、薬局実務経験5年以上を満たしている薬剤師の在籍数

- ・0人
- ・1人
- ・2人
- ・3人
- ・4人
- ・5人
- ・6人
- ・7人
- ・8人
- ・9人
- ・10人
- ・11人以上

■薬局の実績についてお伺いします

問13. 2023年11月時点の貴店における調剤基本料及び地域支援体制加算について教えてください。

★問13-1. 貴店の処方せん集中度について教えてください。

※処方せん集中度とは、貴店の調剤基本料を算定する際の値とお考えください。

- ・30%未満
- ・30-40%未満
- ・40-50%未満
- ・50-60%未満
- ・60-70%未満
- ・70-80%未満
- ・80-90%未満
- ・90-95%未満
- ・95%以上

★問13-2. 調剤基本料を教えてください。

- ・調剤基本料1
- ・調剤基本料2
- ・調剤基本料3-イ
- ・調剤基本料3-ロ
- ・調剤基本料3-ハ
- ・特別調剤基本料

★問13-3. 地域支援体制加算を教えてください。

- ・加算1
- ・加算2
- ・加算3
- ・加算4
- ・加算なし

調査内容

問 14. 貴店の月間処方せん受付回数（2023 年 11 月実績）について教えてください。

★問 14-1. 2023 年 11 月の月間処方せん受付回数を教えてください。（半角整数 単位:回）

例：2345

●●●●

★問 14-2. 問 14-1 のうちマイナンバーカード（マイナ保険証）の持参確認や、受付での利用の声掛けを実施したおおよその割合を教えてください。

☐実施なし ☐10%未満 ☐10-50%未満 ☐50-90%未満 ☐90%以上

★問 14-3. 問 14-1 のうちマイナ保険証受付を実施したおおよその割合を教えてください。

☐実績なし ☐0-1%未満 ☐1-3%未満 ☐3-5%未満 ☐5-10%未満
☐10-15%未満 ☐15-20%未満 ☐20-30%未満 ☐30-40%未満 ☐40-50%未満
☐50%以上

★問 14-4. 問 14-1 のうち電子処方箋が原本となる受付回数を教えてください。※電子処方箋による受付がない場合は「0」と回答ください。（半角整数 単位：回）例：10

●●●●

★問 14-5. 問 14-1 のうちリフィル処方箋による受付回数を教えてください。※リフィル処方箋による受付がない場合は「0」と回答ください。（半角整数 単位：回）例：10

●●●●

★問 14-6. 2023 年 11 月の服薬管理指導料 4（情報通信機器を用いた服薬指導を行った場合）の算定回数を教えてください。（半角整数 単位:回）※算定実績がない場合は「0」と回答ください。例:123

●●●

問 15. 貴店における在宅訪問について教えてください。※医療・介護保険合わせてカウントください。

★問 15-1. 直近 1 年間の在宅訪問回数を教えてください。※施設訪問含む。

・実績なし ・年 12 回未満 ・年 12～24 回未満 ・年 24 回～48 回未満
・年 48～96 回未満 ・年 96 回～192 回未満 ・192 回以上

★問 15-2. 問 15-1 のうち単一建物診療患者が一人の場合の在宅訪問回数を教えてください。

・実績なし ・年 12 回未満 ・年 12～24 回未満 ・年 24 回～48 回未満
・年 48～96 回未満 ・年 96 回～192 回未満 ・192 回以上

■医療提供施設や介護関係施設等との連携についてお伺いします

★問 16-1. 医療機関の地域連携室（それに類似する部署）との連携頻度を教えてください。

※担当者との面会や電話等の情報通信機器を用いたやり取りの頻度と捉えてください。

☐毎日 ☐週に 1～数回 ☐月に 1～数回 ☐数ヶ月に 1～数回 ☐半年に 1～数回
☐1 年に 1～数回 ☐直近はないが過去に経験はある ☐経験なし

★問 16-2. 連携の内容について教えてください。（複数回答可）

☐時間外・夜間・休日の連携 ☐緊急時の連携
☐薬局の既存患者に係る連携 ☐新規患者に係る連携（紹介等）
☐服薬情報等提供書の送付 ☐医薬品の採用・在庫に係る連携
☐麻薬調剤に係る連携 ☐無菌調剤に係る連携
☐入院に係る連携 ☐退院に係る連携 ☐在宅移行に係る連携
☐地域ケア会議における連携 ☐サービス担当者会議における連携
☐認知症初期集中支援チームにおける連携 ☐勉強会等の人材育成に係る連携
☐連携の経験なし ☐その他

問 16-3. 問 16-2 の連携の中で印象に残っている具体的な事例があれば教えてください、また「その他」を選択された方は具体的な内容を教えてください。（フリーコメント 任意回答）

★問 17-1. 他薬局との連携頻度を教えてください。※担当者との面会や電話等の情報通信機器を用いたやり取りの頻度と捉えてください。同一グループ内の日常的な業務連絡は除いてください。

☐毎日 ☐週に 1～数回 ☐月に 1～数回 ☐数ヶ月に 1～数回 ☐半年に 1～数回
☐1 年に 1～数回 ☐直近はないが過去に経験はある ☐経験なし

★問 17-2. 連携の内容について教えてください。（複数回答可）

☐時間外・夜間・休日の連携 ☐緊急時の連携
☐薬局の既存患者に係る連携 ☐新規患者に係る連携（紹介等）
☐服薬情報等提供書の送付 ☐医薬品の採用・在庫に係る連携
☐麻薬調剤に係る連携 ☐無菌調剤に係る連携

調査内容

☐入院に係る連携 ☐退院に係る連携 ☐在宅移行に係る連携
☐地域ケア会議における連携 ☐サービス担当者会議における連携
☐認知症初期集中支援チームにおける連携 ☐勉強会等の人材育成に係る連携
☐連携の経験なし ☐その他

問 17-3、問 17-2 の連携の中で印象に残っている具体的な事例があれば教えてください、
また「その他」を選択された方は具体的な内容を教えてください。(フリーコメント 任意
回答)

★問 18-1、訪問看護ステーションとの連携頻度を教えてください。※担当者との面会や電話等の情報通信機器を用いたやり取りの頻度と捉えてください。
☐毎日 ☐週に1～数回 ☐月に1～数回 ☐数ヶ月に1～数回 ☐半年に1～数回
☐1年に1～数回 ☐直近はないが過去に経験はある ☐経験なし

★問 18-2、連携の内容について教えてください。(複数回答可)
☐時間外・夜間・休日の連携 ☐緊急時の連携
☐薬局の既存患者に係る連携 ☐介護を必要とする高齢者の紹介
☐服薬情報等提供書の送付 ☐医薬品の採用・在庫に係る連携
☐麻薬調剤に係る連携 ☐無菌調剤に係る連携
☐入院に係る連携 ☐退院に係る連携 ☐在宅移行に係る連携
☐地域ケア会議における連携 ☐サービス担当者会議における連携
☐認知症初期集中支援チームにおける連携 ☐勉強会等の人材育成に係る連携
☐連携の経験なし ☐その他

問 18-3、問 18-2 の連携の中で印象に残っている具体的な事例があれば教えてください、
また「その他」を選択された方は具体的な内容を教えてください。(フリーコメント 任意
回答)

★問 19-1、介護関連支援施設（地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等）との連携
頻度を教えてください。※担当者との面会や電話等の情報通信機器を用いたやり取りの頻
度と捉えてください。
☐毎日 ☐週に1～数回 ☐月に1～数回 ☐数ヶ月に1～数回 ☐半年に1～数回
☐1年に1～数回 ☐直近はないが過去に経験はある ☐経験なし

★問 19-2、連携の内容について教えてください。(複数回答可)

☐時間外・夜間・休日の連携 ☐緊急時の連携
☐薬局の既存患者に係る連携 ☐介護を必要とする高齢者の紹介
☐服薬情報等提供書の送付 ☐医薬品の採用・在庫に係る連携
☐麻薬調剤に係る連携 ☐無菌調剤に係る連携
☐入院に係る連携 ☐退院に係る連携 ☐在宅移行に係る連携
☐地域ケア会議における連携 ☐サービス担当者会議における連携
☐認知症初期集中支援チームにおける連携 ☐勉強会等の人材育成に係る連携
☐連携の経験なし ☐その他

問 19-3、問 19-2 の連携の中で印象に残っている具体的な事例があれば教えてください。
また「その他」を選択された方は具体的な内容を教えてください。(フリーコメント 任意
回答)

■健康サポート薬局についてお伺いします ※問 20-26 は健康サポート薬局の届出薬局の
方のみ回答ください。

問 20、健康サポート薬局に供給することが求められる「基本的な48薬効群」について、直
近1年間に於いて販売実績がないカテゴリーを教えてください。(複数選択可)

☐1 かぜ薬（内用） ☐2 解熱鎮痛薬 ☐3 催眠鎮静薬 ☐4 睡眠防止薬
☐5 鎮うん薬（乗物酔防止薬、つわり用薬含む） ☐6 小児鎮静薬（小児五疳薬等）
☐7 その他の精神神経用薬 ☐8 ヒスタミンH2受容体拮抗剤含有薬 ☐9 制酸薬
☐10 健胃薬 ☐11 整腸薬 ☐12 制酸・健胃・消化・整腸を2つ以上標榜するもの
☐13 胃腸鎮痛鎮けい薬 ☐14 止瀉薬 ☐15 瀉下薬（下剤） ☐16 洗腸薬
☐17 強心薬（センソ含有製剤等） ☐18 動脈硬化用薬（リノール酸、レシチン主薬製剤等）
☐19 その他の循環器・血液用薬 ☐20 鎮咳去痰薬 ☐21 含嗽薬
☐22 内用痔疾用剤、外用痔疾用剤 ☐23 その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬
☐24 ビタミン主薬製剤等 ☐25 その他の滋養強壮保健薬 ☐26 婦人薬
☐27 その他の女性用薬 ☐28 抗ヒスタミン薬主薬製剤 ☐29 その他のアレルギー用薬
☐30 殺菌消毒薬（特殊絆創膏を含む） ☐31 しもやけ・あかざれ用薬
☐32 化膿性疾患用薬 ☐33 鎮痛・鎮痒・収れん・消炎薬（バップ剤を含む）
☐34 みずむし・たむし用薬 ☐35 皮膚軟化薬（吸出しを含む）
☐36 毛髪用薬（脱毛、養毛、ふけ、かゆみ止め用薬等） ☐37 その他の外皮用薬
☐38 一般点眼薬、人工涙液、洗眼薬 ☐39 抗菌性点眼薬
☐40 アレルギー点眼薬 ☐41 鼻炎用内服薬、鼻炎点鼻薬
☐42 口腔咽喉薬（せき、たんを標榜しないトローチ剤を含む） ☐43 口内炎用薬

調査内容

☐44 歯痛・歯槽膿漏薬 ☐45 禁煙補助剤 ☐46 漢方製剤等 ☐47 消毒薬 ☐48 殺虫薬

問 21. 「基本的な 48 薬効群」のうちよく売れるカテゴリー5つ選択ください。※金額ではなく販売頻度で捉えてください。販売実績が多い場合は感覚的な回答でも構いません。

☐1 かぜ薬（内用） ☐2 解熱鎮痛薬 ☐3 催眠鎮静薬 ☐4 睡眠防止薬
☐5 鎮うん薬（乗物酔防止薬、つわり用薬含む） ☐6 小児鎮静薬（小児五疳薬等）
☐7 その他の精神神経用薬 ☐8 ヒスタミン H2 受容体拮抗剤含有薬 ☐9 制酸薬
☐10 健胃薬 ☐11 整腸薬 ☐12 制酸・健胃・消化・整腸を2つ以上標榜するもの
☐13 胃腸鎮痛鎮けい薬 ☐14 止瀉薬 ☐15 瀉下薬（下剤） ☐16 洗腸薬
☐17 強心薬（センソ含有製剤等） ☐18 動脈硬化用薬（リノール酸、レシチン主薬製剤等）
☐19 その他の循環器・血液用薬 ☐20 鎮咳去痰薬 ☐21 含嗽薬
☐22 内用痔疾用剤、外用痔疾用剤 ☐23 その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬
☐24 ビタミン主薬製剤等 ☐25 その他の滋養強壮保健薬 ☐26 婦人薬
☐27 その他の女性用薬 ☐28 抗ヒスタミン薬主薬製剤 ☐29 その他のアレルギー用薬
☐30 殺菌消毒薬（特殊絆創膏を含む） ☐31 しもやけ・あかぎれ用薬
☐32 化膿性疾患用薬 ☐33 鎮痛・鎮痒・収れん・消炎薬（パップ剤を含む）
☐34 みずむし・たむし用薬 ☐35 皮膚軟化薬（吸出しを含む）
☐36 毛髪用薬（発毛、養毛、ふけ、かゆみ止め用薬等） ☐37 その他の外皮用薬
☐38 一般点眼薬、人工涙液、洗眼薬 ☐39 抗菌性点眼薬
☐40 アレルギー用点眼薬 ☐41 鼻炎用内服薬、鼻炎用点鼻薬
☐42 口腔咽喉薬（せき、たんを標榜しないトローチ剤を含む） ☐43 口内炎用薬
☐44 歯痛・歯槽膿漏薬 ☐45 禁煙補助剤 ☐46 漢方製剤等 ☐47 消毒薬 ☐48 殺虫薬

問 22. 健康サポート薬局であることや、健康サポート機能を発揮することの収益面でのメリットを教えてください。（複数回答可）

☐増患につながった ☐主応需医療機関以外からの処方箋応需が増えた
☐在宅実績につながった ☐OTC 売上が増えた
☐衛生材料及び介護用品等の売上が増えた ☐健康食品・サプリメント等の売上が増えた
☐その他保険外サービスの売上が増えた ☐収益面のメリットはない

問 23. 問 22 で選択された収益面でのメリットについて、具体的にどのような状況でどの程度、収益に貢献しているか教えてください。（フリーコメント 任意回答）

問 24. 健康サポート薬局であることや、健康サポート機能を発揮することの収益面以外のメリットを教えてください。（複数回答可）

☐地域における薬局の認知度が上がった
☐患者や地域住民の薬局に対する満足度が向上した
☐患者との会話の幅が広がった ☐薬局職員の成長、意識向上につながった
☐地域の医療提供施設との連携が増えた ☐地域の介護関係施設との連携が増えた
☐薬剤師会、医師会等の業界団体との連携が増えた
☐自治体等の行政機関との連携が増えた
☐特になし ☐その他

問 25. 問 24 で選択された収益面以外のメリットの中で印象に残っている具体的な事例があれば教えてください。また「その他」を選択された方は具体的な内容を教えてください。（フリーコメント 任意回答）

問 26. 健康サポート薬局に係る特出すべき課題や要望事項があれば教えてください。（フリーコメント 任意回答）

■面処方箋を応需した際の対応についてお伺いします

調査目的：リフィル処方箋や電子処方箋が普及した先に各薬局における面処方箋（日頃応需機会が少ない医療機関の処方）の応需機会が増えることを見越して、現時点の面処方箋対応における課題調査を目的としています。

面処方箋：本調査では「受付回数が月5回以下」となる医療機関の処方箋とします。

問 27. 2023 年 11 月の処方箋受付の中で、応需した全医療機関数を教えてください。（半角整数 単位:医療機関）※同一医療機関の診療科違いは合わせて一つとカウントください。おおよその数でも構いません。例:23

●●●

問 28. 2023 年 11 月の処方箋受付の中で、「受付回数が5回以下」の医療機関数を教えてください。（半角整数 単位:医療機関）※おおよその数でも構いません。実績がない場合は「0」と回答ください。例:5

●●●

問 29. 面処方箋を持参される患者は次のうちどのような患者が多いですか？

☐定期利用患者が多い
☐不定期利用患者（3 か月以上継続来局なし）が多い
☐新規患者が多い

調査内容

☐特に傾向なし

問 30. 面処方箋を応需した場合、それ以外の場合と比べて薬局機能及び薬剤師職能を果たすことに難しさは感じますか？

☐とても感じる ☐やや感じる ☐あまり感じない ☐まったく感じない

問 31. 問 30 で「とても感じる」「やや感じる」と回答した方に伺います。薬局機能及び薬剤師職能を果たすことが難しい理由を教えてください。（複数選択可）

☐医療機関との連携の作法がわからないため ☐処方意図がわからないため

☐薬局の採用薬以外（在庫していない医薬品）が処方されるため

☐処方薬を揃えることに負荷がかかるため

☐入力や監査等の調剤工程により負荷がかかるため

☐患者情報が不十分な（十分に聞けない）ケースが多いため

☐一度きりの応需となる（継続応需とならない）ケースが多いため

☐その他

問 32. 問 31 で「その他」を選択された方は具体的な内容を教えてください。また、具体的に困ったエピソードがあれば教えてください。（フリーコメント 任意回答）

回答者情報

※いただいたご回答、ご意見に関して、お問い合わせさせていただく場合はございますが、会社名や薬局名が許可なく、NPhA 内外に公開されることはございません。

問. 所属会社名

問. 薬局名

問. 薬局の電話番号（ハイフンなし）

以上となります。ご協力ありがとうございました。



Nippon Pharmacy Association

日本保険薬局協会